

平成 28 年度

市民アンケート実施結果 報 告 書

平成 28 年 8 月

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室

目 次

I	実施概要	1
II	回収状況	3
III	調査の総括	4
IV	設問別集計結果	
1.	共働について	12
2.	地域コミュニティについて	14
3.	公共交通について	16
4.	公園の環境について	18
5.	住みごちについて	20
6.	愛着について	22
7.	市街地の整備について	23
8.	「まちなか」への住み替えについて	26
9.	コンパクトなまちづくりについて	32
10.	運動の実施状況について	33
11.	スポーツツーリズムについて	35
12.	男女共同参画の状況について	37
13.	地域情報化について	39
14.	地域医療について	41
15.	子育て支援について	44
16.	新エネルギーについて	48
17.	コモッセの利用状況について	51
18.	移住について	55
19.	市の政策について	58
20.	自由意見	64
資料	平成28年度市民アンケート回答票	72

I 実施概要

1 実施目的

本市では、平成23年度から32年度を計画期間とする「第6次鹿角市総合計画（以下、「総合計画」と呼びます。）」において、市の将来のあるべき姿として、「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」を将来都市像として定め、その実現を目指しています。この調査は、総合計画の推進を図るため、市が導入している行政評価制度の外部評価の一環として、総合計画を構成する各施策の進捗状況を成果指標として確認するほか、施策の効果とニーズ（需要）を調査・把握するとともに、市民の意識や意見等を集約し、今後の施策推進に活用することを目的としています。

2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1. あなた自身について	性別、年代、居住地区、世帯構成、居住期間、住居形態、子育て状況の確認	—
2. 共動について	共動の共感度の把握	市民共動課
3. 地域コミュニティについて	社会活動、地域活動への参加頻度の把握	市民共動課
4. 公共交通について	バス等の利用頻度と不便を感じる方の割合の把握	市民共動課
5. 公園の環境について	公園整備状況に対する満足度の把握	都市整備課
6. 住みごごちについて	鹿角市の住みごごちに対する満足度の把握	総合戦略室
7. 愛着について	鹿角市に愛着を持っている方の割合の把握	総合戦略室
8. 市街地の整備について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	総合戦略室
9. 「まちなか」への住み替えについて	「まちなか」への住み替えを希望する方の割合とその理由、住み替えが可能な条件の把握	総合戦略室
10. コンパクトなまちづくりについて	コンパクトなまちづくりが必要だと思う方の割合の把握	総合戦略室
11. 運動の実施状況について	運動や生活活動の頻度とその時間の把握	スポーツ振興課
12. スポーツツーリズムについて	スポーツ大会に関わった人の割合とスポーツツーリズムに対する意見の把握	総合戦略室
13. 男女共同参画の状況について	ワーク・ライフ・バランスの認知度、地域内の共同参画状況の把握	市民共動課
14. 地域情報化について	インターネット利用状況の把握	総務課
15. 地域医療について	かかりつけ医を持っている割合の把握	いきいき健康課
16. 子育て支援について	子育て支援の満足度と不満要因の把握	福祉課
17. 新エネルギーについて	新エネルギーの関心度と知りたい情報の把握	政策企画課
18. コモッセの利用状況について	芸術鑑賞した割合とコモッセの利用状況の把握	生涯学習課
19. 移住について	移住者や移住高齢者との交流に対する関心度の把握	総合戦略室
20. 市の政策について	施策の効果と施策に対する市民ニーズを調査し、施策評価と優先度等の検討に活かす	総合戦略室
21. 自由記入	—	—

3 実施期間

平成 28 年 5 月 30 日（月）～6 月 15 日（水）まで

4 実施対象

平成 28 年 5 月 28 日時点で住民基本台帳に登載されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢 18 歳から 74 歳までの市民 700 人。抽出にあたっては、性別、年齢及び地域条件を考慮し均衡を図ったほか、平成 25 年度から 27 年度までの市民アンケート調査対象者を除いています。

5 実施方法

- （１）配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- （２）回収 職員による回収及び郵便（受取人払い）による回収

Ⅱ 回収状況

1 回収率

70.4%（493 人／700 人） ※平成 27 年度の回収率 62.4%（437 人／700 人）

2 回答者の属性

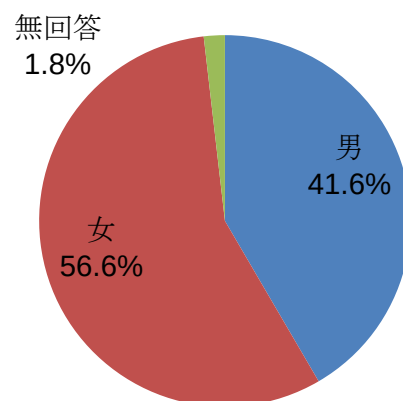
市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は次のとおりです。構成比（※1）は、その区分の対象者（回答者）が全対象者（回答者）のうち何%を占めているかを表しています。回収率（※2）は、その区分の対象者数のうち何%が回答を寄せたかを表しています。

※1 構成比 = その区分に属する対象者数（回答者数） ÷ 全対象者数（全回答者数）

※2 回収率 = その区分に属する回答者数 ÷ その区分に属する対象者数

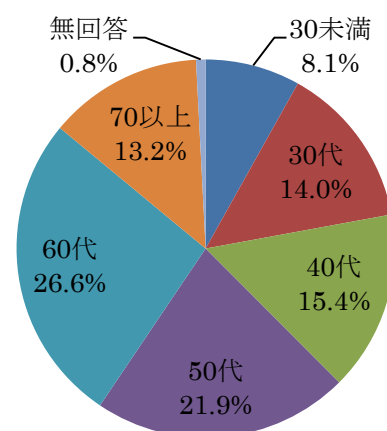
（1）男女別

	対象者数		回答率		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
男	331	47.3%	205	41.6%	61.9%
女	369	52.7%	279	56.6%	75.6%
無回答			9	1.8%	
計	700	100.0%	493	100.0%	70.4%



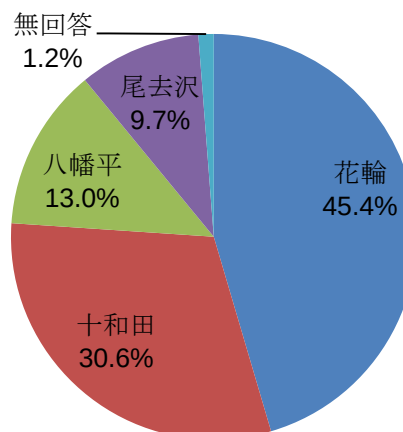
（2）年代別

	対象者数		回答率		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
30 歳未満	82	11.7%	40	8.1%	48.8%
30 代	101	14.4%	69	14.0%	68.3%
40 代	120	17.1%	76	15.4%	63.3%
50 代	140	20.0%	108	21.9%	77.1%
60 代	186	26.6%	131	26.6%	70.4%
70 歳以上	71	10.1%	65	13.2%	91.6%
無回答			4	0.8%	
計	700	100.0%	493	100.0%	70.4%



（3）地区別

	対象者数		回答率		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
花輪	322	46.0%	224	45.4%	69.6%
十和田	225	32.1%	151	30.6%	67.1%
八幡平	92	13.1%	64	13.0%	69.6%
尾去沢	61	8.7%	48	9.7%	78.7%
無回答			6	1.2%	
計	700	100.0%	493	100.0%	70.4%



※各設問における項目選択の割合（%）は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

Ⅲ 調査の総括

[Redacted text block]

Ⅲ 調査の総括

1. 共動について

共動共感度	80.9%	⇒詳細 P12
--------------	--------------	---------

「共動」は、第6次総合計画の基本理念として、様々な施策の中に取り入れています。

具体的には、自治会活動を通じた支援、地域づくり協議会による市民センターの運営、各種事業の企画段階からの市民の参画といったものがあり、その活動は高い評価を得ていることから、市民の間には十分浸透していると考えられます。

2. 地域コミュニティについて

社会活動・地域活動の参加割合	67.5%	⇒詳細 P14
-----------------------	--------------	---------

基準値である46.8%（秋田県県民意識調査）を今回も大きく上回っており、地域コミュニティへの参加は県の平均に比べ大きく進んでいると言えます。

しかし、若年層の参加率が前年より低くなっていることから、現在の活動の中心となっている世代はもちろんですが、若年層の参加につながる社会・地域活動を支援し、地域コミュニティの活性化を図っていくことが重要です。

3. 公共交通について

公共交通に不便を感じる市民の割合	16.8%	⇒詳細 P16
-------------------------	--------------	---------

9割以上の方が自家用車を日常の移動手段としていると考えられ、利用時間や場所に制限のない自家用車と比べて制限の多い公共交通は不便と感じている方が多くなっています。

バスや鉄道の不便を解消するため、運行本数の増便や利用したい時間帯に走らせてほしいという声が多いものの、利用者の減少とともに運行本数を縮小せざるを得なかった経緯から、増便は難しい状況にあります。公共交通を必要とする方は各地域に分散しており、広範囲な需要をカバーするため、予約型デマンド運行や地域主体の乗合交通の取組を進めるなど、持続可能な公共交通の運行確保が必要と考えられます。

引き続き、利便性の向上を図るとともに、利用促進のための情報提供や啓発活動により市民の関心を高め、地域に必要な公共交通を維持していきます。

4. 公園の環境について

公園の環境に満足している市民の割合	59.6%	⇒詳細 P18
-------------------	--------------	---------

平成 22 年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した設備や遊具等の更新を計画的に進めているほか、公園管理においては、地元自治会や老人クラブ等と協力しながら、適切な維持管理に努めており、満足度は概ね 6 割となりました。

満足度を維持増加させるため、既存の公園ストックの機能や配置を見直しながら、幅広い年代の方々が安心して利用できる公園づくりを進めていきます。

5. 住みごちについて

住みごちに満足している割合	55.2%	⇒詳細 P20
---------------	--------------	---------

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は前年と比べてわずかながら 0.5 ポイント高くなったものの、目標値である 60.0%を下回る結果となりました。

住みごちについては、福祉や雇用、コミュニティなどを含む総合的な指標であることから、本市の持つ魅力を十分発揮したまちづくりと計画的な社会基盤の整備を進め、満足度の向上に努めます。

6. 愛着について

鹿角に愛着を持っている割合	77.3%	⇒詳細 P22
---------------	--------------	---------

目標値である 68.0%を上回る結果となりました。

今後も鹿角に愛着を持ち続けてもらうための手段のひとつとして、地域にある「モノ」や「コト」などを生かし、磨き輝かせることで鹿角ブランドを確立していくことが重要です。このため、市民のイメージや価値の認識を共有する場を創出しながら地域で大事にされている多くの魅力を地域ぐるみで編集し、鹿角ならではの独自の価値やふるさとへの誇りを高め、市外の方が訪れたくなる魅力的な地域づくりを進めていきます。

7. 市街地の整備について

中心市街地の環境に満足している市民の割合	59.0%	⇒詳細 P23
----------------------	--------------	---------

中心市街地活性化プランを策定し、「まちなか」のにぎわい創出と活性化を目指しています。

花輪市街地の環境に 59.0%の方が概ね満足と回答しており、前年を 6.3 ポイント上回っています。その理由としては交流拠点となるコモッセの整備の効果が表れたものと推測します。今後も中心市街地の活性化に向け、駅前広場などのハード整備とともに、にぎわい創出のためのソフト事業も取り入れながら、市の中心としての魅力や快適性・利便性、交通アクセスの向上に取り組んでいきます。

8. 「まちなか」への住み替えについて

⇒詳細 P26

花輪市街地（まちなか）の空き家の活用などの観点から「まちなか」への住み替え需要を調査したところ、「まちなか」への住み替えを希望する方は全体の約10%強で、「まちなか」以外に住む方の8割は、「生まれ育った土地だから」などの理由で、現在の居住地に住み続けるとしており、地域コミュニティの維持に向けて明るい材料と言えます。

一方、「まちなか」への住み替えを希望する方は、主に買い物や通院などでの利便性の向上や除雪の労力軽減を期待しており、この傾向は特に女性に強いものの、女性ほど、主として経済的な理由から、その希望を実現できそうにないと考えていることがわかりました。

住み替え意向に関し、年代による極端な違いは見られませんでした。また、「まちなか」への住み替え希望を実現できないことによる日常生活上の不便の程度は、年代や居住環境によって違うと思われることから、その不便さを解消する方策について、住み替え以外の手法も含め、さらに分析と検討を進めます。

9. コンパクトなまちづくりについて

⇒詳細 P32

市内面積が広く、人口減少が進む本市では、今後も市内全域で同様のサービスを楽しむことは難しいため、一定の都市機能がコンパクトに集積した中心市街地を維持していくとともに、中心市街地地区以外に住む市民にも、その都市機能を十分に享受できるような、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

コンパクトなまちづくりが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方が、全体の約76%という結果であり、多くの市民が将来人口を見据え、コンパクト化していく取組が必要であると感じているようです。

しかし、具体的な取組が現段階では明示されていないことから、無回答も13.2%あり、回答としては「必要である」としながらも、身近な社会基盤整備としての具体策を考えた場合に、意見に変化が生じてくる可能性があります。地域ごとの市民ニーズを踏まえながら、より具体的なコンパクトなまちづくりへの理解と合意形成を得ることが課題と考えられます。

10. 運動の実施状況について

週1回以上の頻度で運動する市民の割合	57.6%
--------------------	--------------

⇒詳細 P33

日常的なスポーツ活動を促すためのきっかけづくりとして、生活活動動作が健康づくりと密接な係わりがあるという意識を醸成するため、市広報やスポーツイベントを通して啓発に努めてきたところ、平成25年度から実施率が50%を超え、平成27年度の目標とした47%を上回ることができました。例年、40代の働き盛り世代の実施率が40%前後と低い状況にあるものの、近年はわずかながら増加している点は、市民総参加型のチャレンジデーへの参加や広報等を活用した継続的な啓発活動の効果が出ているものと推測できます。

地区別では、尾去沢地区が45.8%と最も低い数値となっていますが、前年は50%を超えていたことから、引き続き、地域のスポーツクラブなどと連携し、運動やスポーツ活動に対する意識の醸成に努めます。

1 1. スポーツツーリズムについて

⇒詳細 P35

スポーツの持つ力と恵まれた施設環境を活かした新たな地域活性化のスタイルを確立するため、スポーツツーリズムの推進に取り組むことに対し支持すると答えた割合は 68.2%となりました。

一方で、61.1%がスポーツイベントに関わったことがないという結果もあったことから、地域を挙げたスポーツツーリズムを実現するため、スポーツをする、観る、支える人の拡大や関係者の参画について検討していきます。

1 2. 男女共同参画の状況について

ワーク・ライフ・バランス認知度

23.5%

⇒詳細 P37

「ワーク・ライフ・バランス」の認知度については、23.5%となっており、前年（23.8%）とほぼ同様の割合となっています。年代別でも、すべての年代で知らなかった割合が前年よりも減少したものの6割を超えており、依然として全体の認知度が低いため、周知・啓発を図ることが必要です。

男女の地位の平等感については、全体で 69.2%の方が「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と答えており、前年（65.9%）とほぼ同様の割合となっていることから、男性の方が優遇されていると感じている現状は変わっていません。そのため、引き続き、性別に関わりなく個性や能力を発揮できる社会形成に向け、周知や啓発に取り組んでいきます。

1 3. 地域情報化について

インターネットを利用している市民の割合

58.6%

⇒詳細 P39

地域情報化の状況把握と今後の施策への反映のため、インターネット利用について調査したところ、インターネット人口普及率（インターネットを利用していると回答した割合）は、58.6%（前年の調査結果では 56.1%）となりました。

また、直近3年間の推移をみると、30代と60代の割合がほぼ固定化している状況にありますが、40代から50代の割合が順調に伸びてきており、近年、スマートフォンの利用が急速に拡大していることに伴い、全体的には堅調に増加しています。

1 4. 地域医療について

かかりつけ医を持っている市民の割合

52.5%

⇒詳細 P41

地域医療の充実は、市民の「安心」「安全」に直接結びつく最も重要な課題であり、そのための医療体制の構築については、医療機関だけに頼るのではなく市の医師確保対策と合わせ、市民が「かかりつけ医」を持つことによる一次医療体制の確立などに取り組んでいかなければなりません。

今回は、限られた医療機関を有効に活用して適正な受診と自身の健康管理に結び付けているかを把握するため、かかりつけ医について調査しましたが、「決めている」と回答した方が 52.5%と過半数を超え、ある程度浸透しているものの、前年より 13.3ポイント減少しています。

15. 子育て支援について

子育て支援の満足度

55.8%

⇒詳細 P44

「子育てしやすいまちとを感じるか」との設問に対し、プラス評価となる「感じる」「どちらかといえば感じる」が 55.8%、マイナス評価となる「感じない」「どちらかといえば感じない」が 26.4% となり、プラス評価が 29.4 ポイント高くなりました。前年と比較して、プラス評価は 9.6 ポイント増加しており、子育て支援の充実が図られてきた成果と捉えています。

一方、マイナス評価の理由として、「経済的支援」「遊ぶ場や機会」「職場の理解や制度」「医療体制」が主に挙げられており、課題と感じられていることがわかりました。

平成 28 年度からは、ファーストベビー祝い金、放課後児童クラブ開所時間の延長など様々な子育て支援策を展開しており、今後はその周知に努めていきます。

16. 新エネルギーについて

⇒詳細 P48

新エネルギーの認知度については太陽光と風力が 6 割超、バイオマスと小水力が 3 割程度となり、関心度はどのエネルギーも 3～4 割程度となりました。

新エネルギービジョン策定時に同項目で調査した平成 22 年 9 月時点と比較すると、認知度においては小水力を除き 10 ポイント程度低下、関心度は軒並み 30 ポイント程度の低下となりました。

全体的に新エネルギーに対して注目、関心が薄れてきたことがうかがえます。その要因としては、技術の一般化に伴い注目する機会が少なくなってきたことによる関心度の低下、また「知っている」といえるレベルの向上による認知度の低下などの要因が考えられます。

また、普及への取組方法については、「経済的メリットの提示」を選んだ方が全体の 56%と、他の方法に比べ多くの方に支持されました。

市では、理解促進と普及を図るため、関心のある方の参加を募りながら新エネルギー講座を開催していますが、認知度や関心を高めるよう、導入によるメリットなどを含めた形で広く啓発する方法についても検討していきます。

17. コモッセの利用状況について

1年間に芸術鑑賞に親しんだ割合

38.1%

⇒詳細 P51

昨年、芸術鑑賞を行った方は 38.1%と社会教育中期計画に掲げた目標値 30%を上回る結果となりました。また、そのうちコモッセでの鑑賞割合が 75.5%と高いことから、コモッセが鑑賞機会の提供の場となっていることがうかがえます。

コモッセで芸術鑑賞をしなかった理由としては「公演が希望するものでなかった」という回答が多いことから、利用者のニーズを把握しながら、魅力的な公演等の提供を行うとともに、気軽に足を運んでいただける施設として、情報発信を工夫する必要があります。

18. 移住について

⇒詳細 P55

移住しやすい環境を整備し、移住に結びつく情報発信やイベントを通じてU I J ターンを促進するとともに、移住予備群となりえる交流人口の拡大を目指しています。

今回は、移住者と市民の交流をテーマにアンケートを実施した結果、移住者との交流により新しい価値感や刺激が生まれるとして 65.9%の方が移住者が地域活動に参加することにより地域活性化が図られると回答しています。

また、元気な高齢者の移住を好意的に捉えている方は 46.0%、移住してくる高齢者と交流したいと答えた方は 38.7%となりました。新しい高齢者の知恵の享受や人口増加にはつながるとしながらも、社会保障費などの負担増を懸念する声や交流の仕方が大事といった意見が聞かれたことから、セカンドライフを鹿角市で過ごしたい方をどのように受け入れるのかを考える必要があります。

19. 市の施策について

⇒詳細 P58

- ・市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるもの
- ・市が進めている取組の中で、もっと力を入れて欲しいと感じるもの

効果が得られていると感じられるものとして高い評価を得た施策は、市民福祉の充実と地域資源を生かした賑わいづくりの取組でした。

また、もっと力を入れて欲しいと感じる施策で多く選ばれた中で、「雇用の安定」については若い人の働く場の確保と職場環境や雇用体制の改善、「地域医療体制の充実」については診療科の不足などが理由として挙げられています。このことから、市民一人ひとりが安心と活力を感じられる取組を強化していく必要があります。

どちらの設問も上位5位はほとんど例年と変わっていないため、効果が得られていると感じるものについては継続して成果が表れているものと考えますが、もっと力を入れて欲しいと感じるものについては、改善に向けた取組が必要です。これらの施策について、今後も引き続き重点的かつ戦略的に取り組んでいきます。

【 効果が得られていると感じるもの 】

	H 2 7	H 2 6	H 2 5
第1位	子育て支援の充実	子育て支援の充実	子育て支援の充実
第2位	健康づくりの推進	健康づくりの推進	高齢者福祉の充実
第3位	高齢者福祉の充実	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進
第4位	スポーツ環境の充実	スポーツ環境の充実	スポーツ環境の充実
第5位	観光の振興	観光の振興	観光の振興

【 もっと力を入れて欲しいと感じるもの 】

	H 2 7	H 2 6	H 2 5
第1位	雇用の安定	雇用環境の充実	雇用環境の充実
第2位	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実
第3位	商店街の活性化	学校教育の充実	商店街の活性化
第4位	地域産業の活性化	商店街の活性化	高齢者福祉の充実
第5位	観光の振興	観光の振興	子育て支援の充実

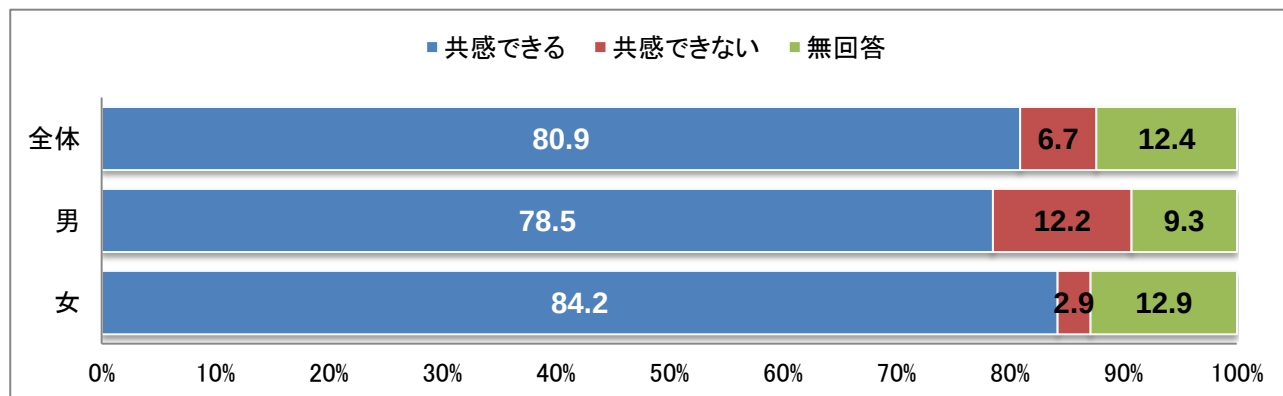
IV 設問別集計結果

1 共動について

設問② 市が提唱している共動について、あなたは共感できますか。

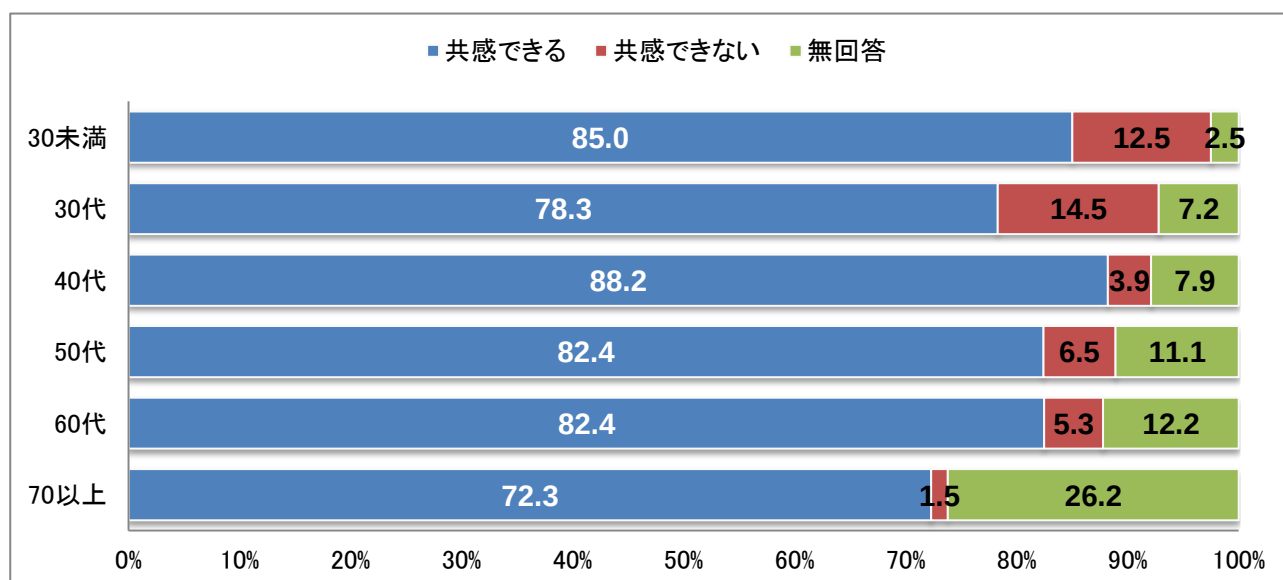
①全体／男女別

[単位：％]



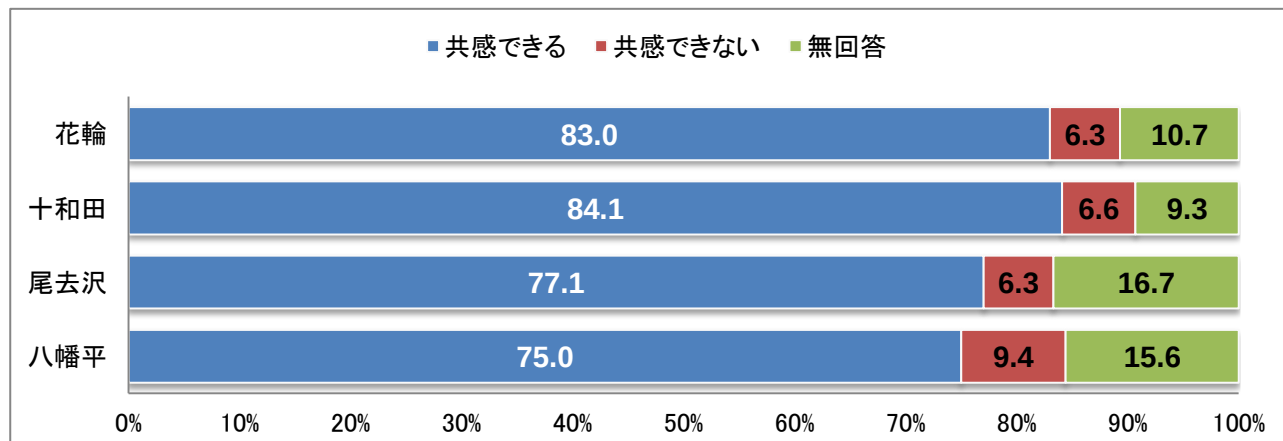
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

共動に共感できるかどうかについては、80.9%が共感できるとしています。

前年を 5.6 ポイント上回っており、平成 23 年度から約 7 割以上の方が共感できると回答していることから、多くの市民に理解されていることがわかります。

共感できないとした割合は、6.7%と前年を 2.5 ポイント下回っています。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

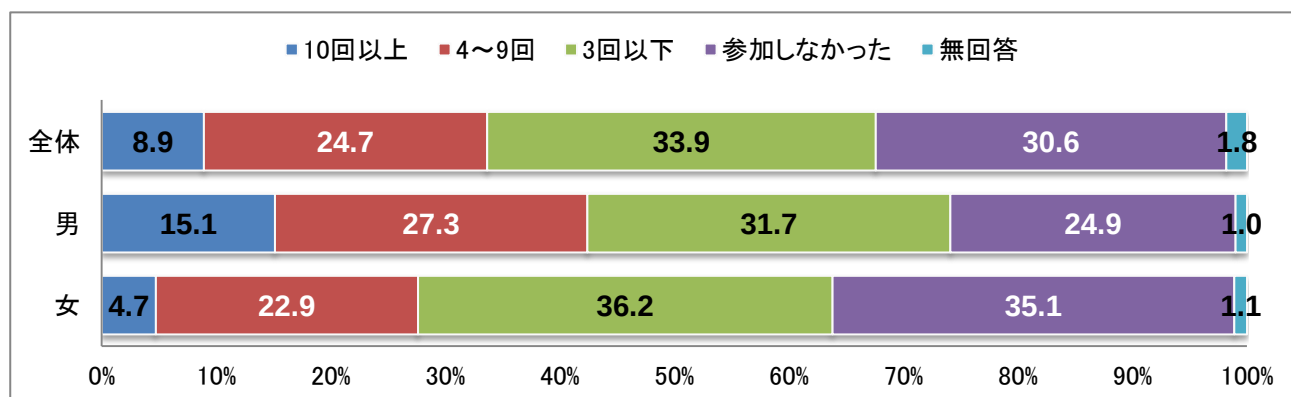
成果指標	基準値	実績値 (H27)	目標値 (H27)
共動共感度	66.7%	80.9%	70.0%

2 地域コミュニティについて

設問③ あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動など）にどの程度参加しましたか。

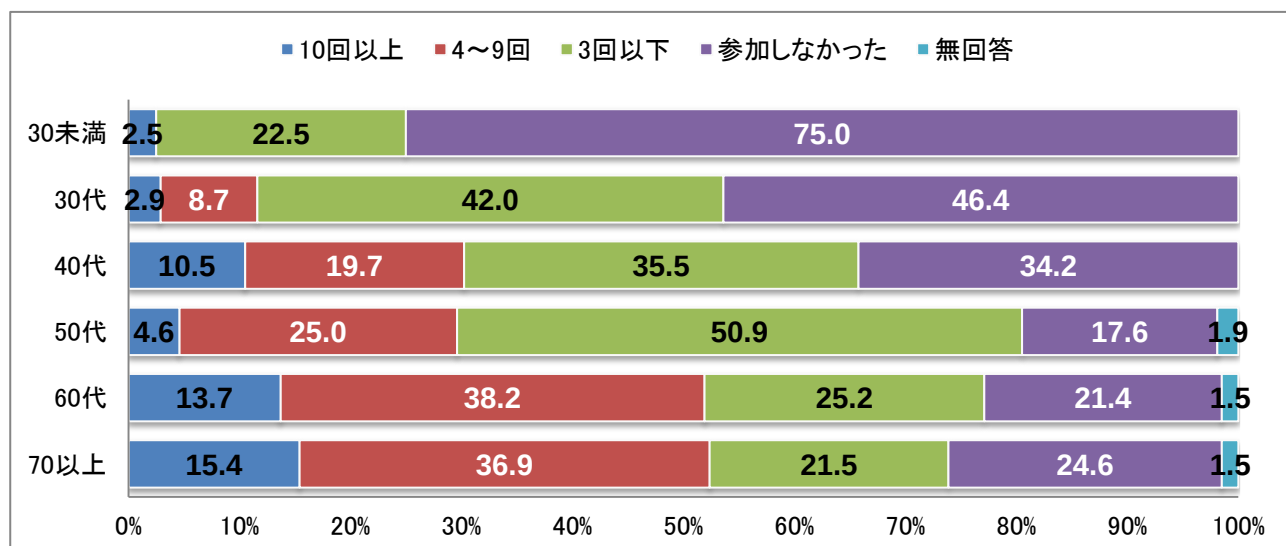
①全体／男女別

〔単位：％〕



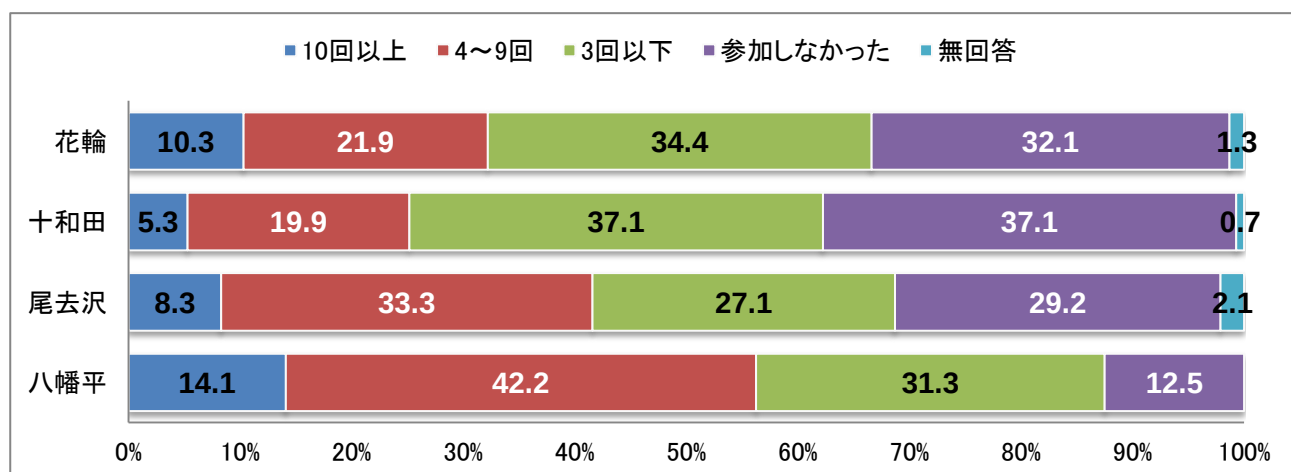
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

市民が昨年1年間に社会活動や地域活動へ参加した割合は、67.5%となり、前年(70.5%)を3.0ポイント下回っています。

男女別でみると、参加しなかった割合が、男性は24.9%に対し女性が35.1%と、女性が10.2ポイント上回っています。

年代別でみると、参加した割合は30歳未満を除く全ての世代で基準値である46.8%を上回っていますが、30歳未満で「参加しなかった」と答えた方は、前年(43.8%)を大きく上回る75.0%となっています。

地区別でみると、八幡平地区が他地区と比べ、社会活動や地域活動に参加した割合がとて大きくなくなっています。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

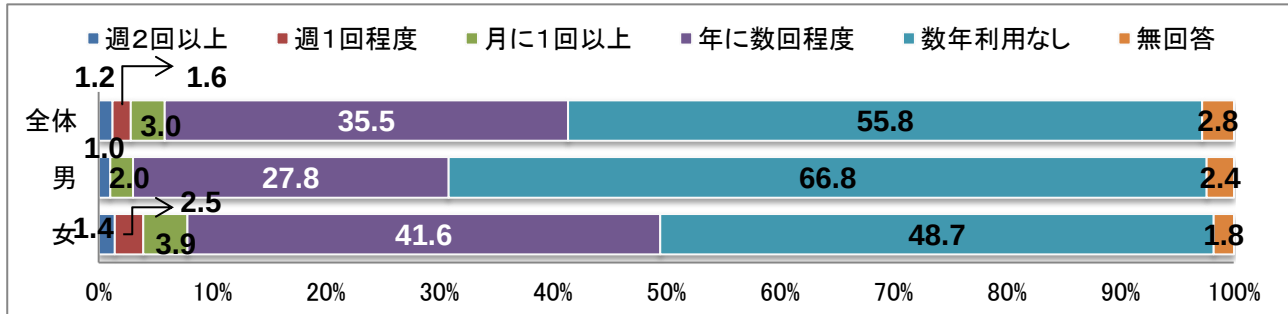
成果指標	基準値	実績値(H27)	目標値(H27)
社会活動や地域活動(ボランティア活動・自治会活動など)に参加した市民の割合	46.8%	67.5%	65.0%

3 公共交通について

設問④-1 バス（予約型乗合タクシー含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度として当てはまるものを一つ選んでください。

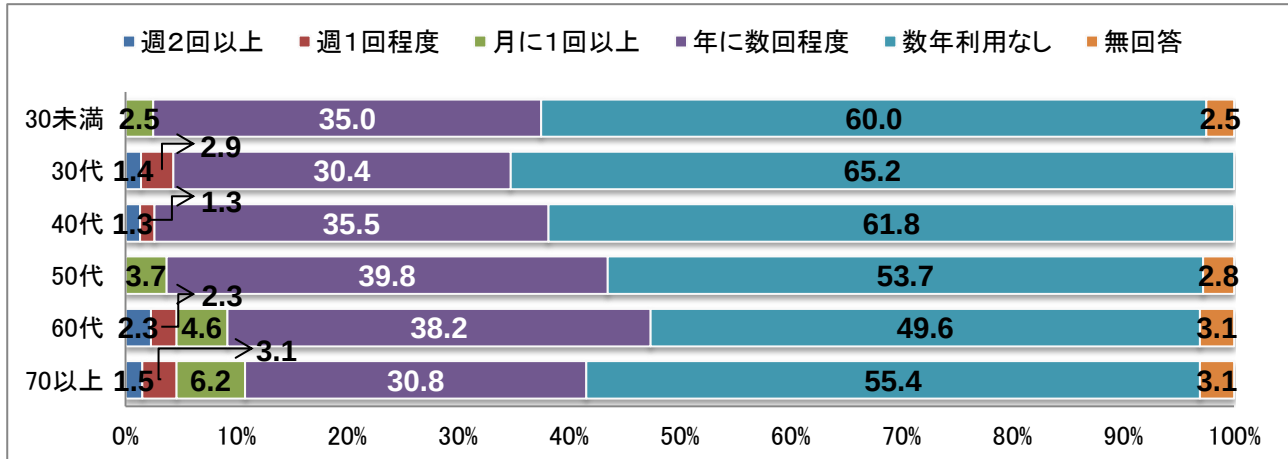
①全体／男女別

〔単位：％〕



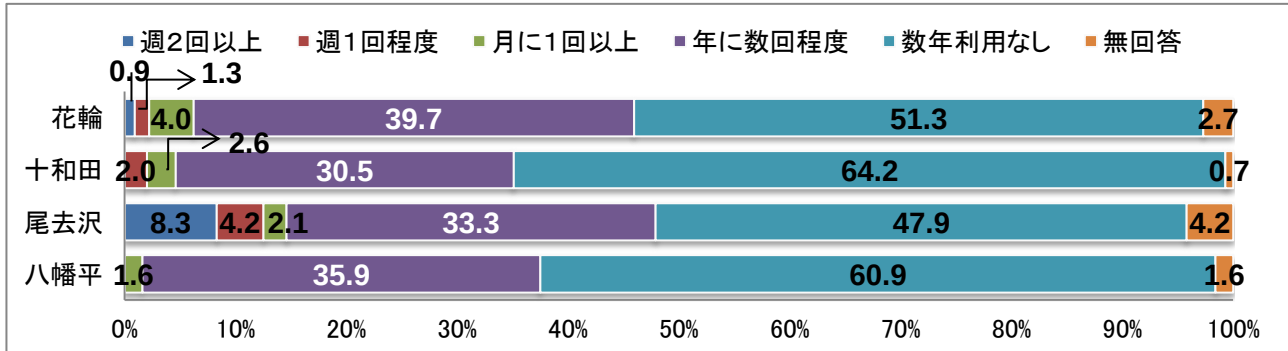
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

公共交通機関を数年間利用したことがないと回答した方が 55.8% となり、年に数回利用と回答した方を含め 9 割以上が自家用車を日常の移動手段としていていると考えられます。

年代別では、年に数回利用と回答した方と利用したことがないと回答した方の割合は、どの年代でも差は見られない状況となっています。

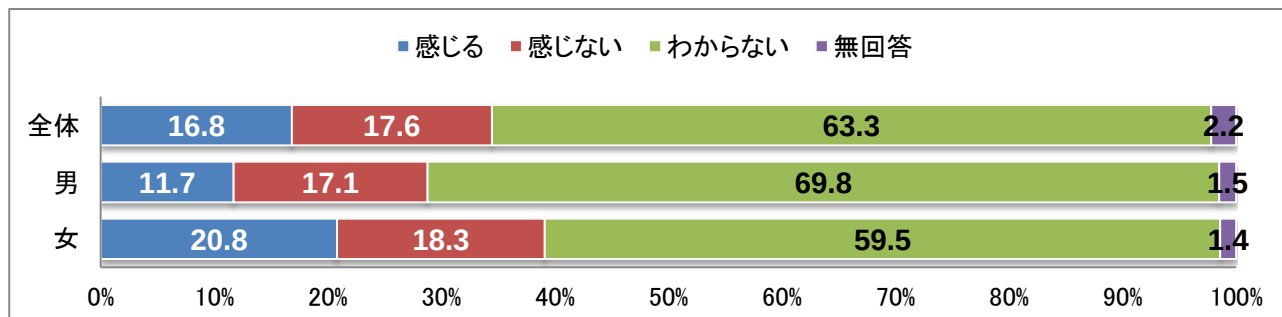
月 1 回以上の利用者をみると、全体では 5.8% にとどまっていますが、60 代以上の女性が多く利用しており、地区別では尾去沢地区が最も多く、八幡平地区が最も少なくなっています。

週 2 回以上の利用者は 1.2% と大変少ないものの、延べ利用数としては大きな需要と捉えています。

設問④-2 あなたは、普段の生活の中で、バスや鉄道などの公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

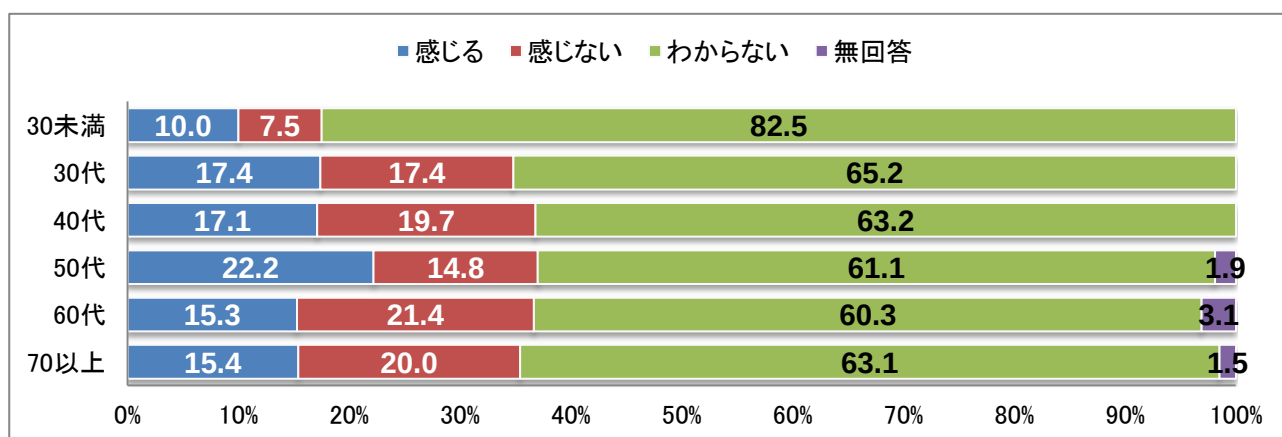
①全体／男女別

〔単位：％〕



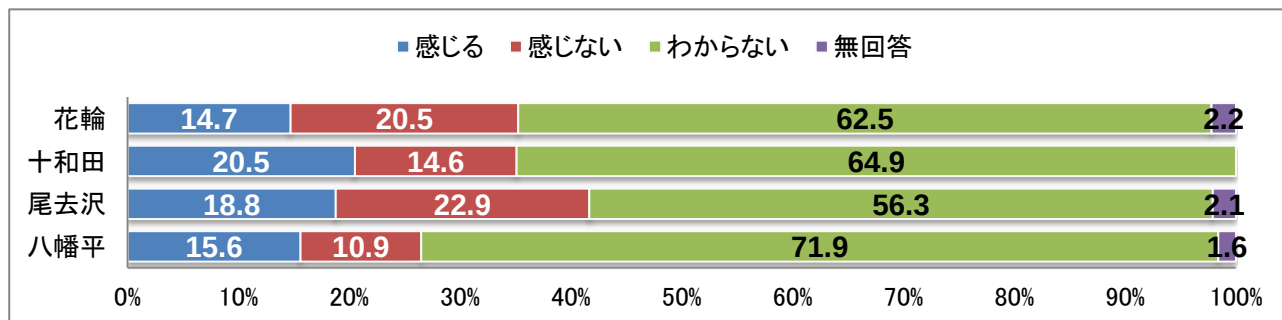
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

公共交通に不便を感じると回答した割合は16.8%で、理由としてはバス、鉄道とも「本数が少ない」「時間が合わない」が圧倒的に多く、他に土・日運行が無いことや乗り換えの不便さが挙げられています。不便を感じる方の割合は年代別、地区別でも大きな差は見られない状況となっています。また、公共交通が不便かどうか分からないとの回答が63.3%と依然として大変高く、利用しないため関心が向けられていないことがうかがえます。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

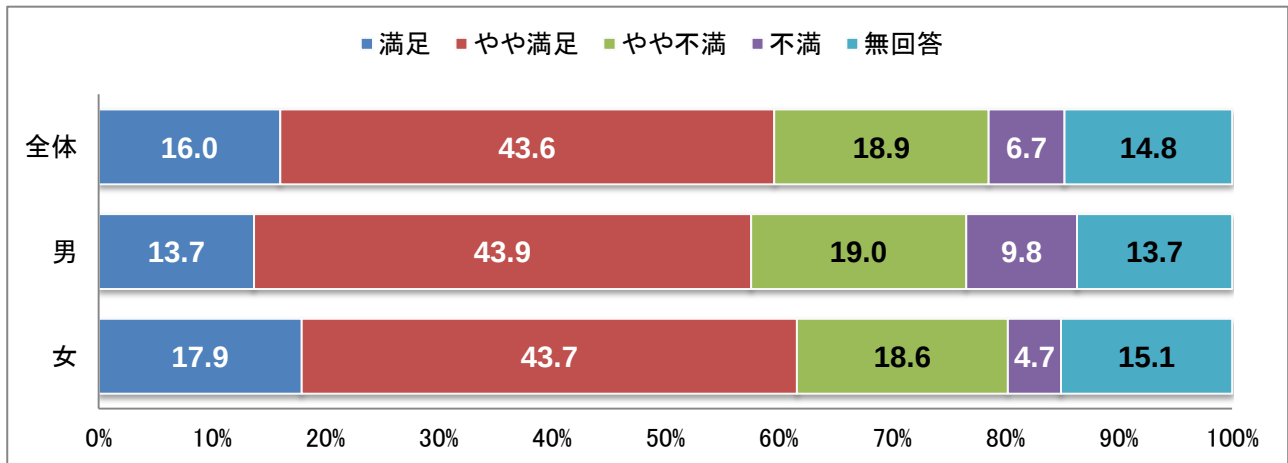
成果指標	基準値	実績値 (H27)	目標値 (H27)
公共交通に不便を感じる市民の割合	24.6%	16.8%	19.5%

4 公園の環境について

設問⑤ あなたは、市内の公園の整備状況に満足していますか。

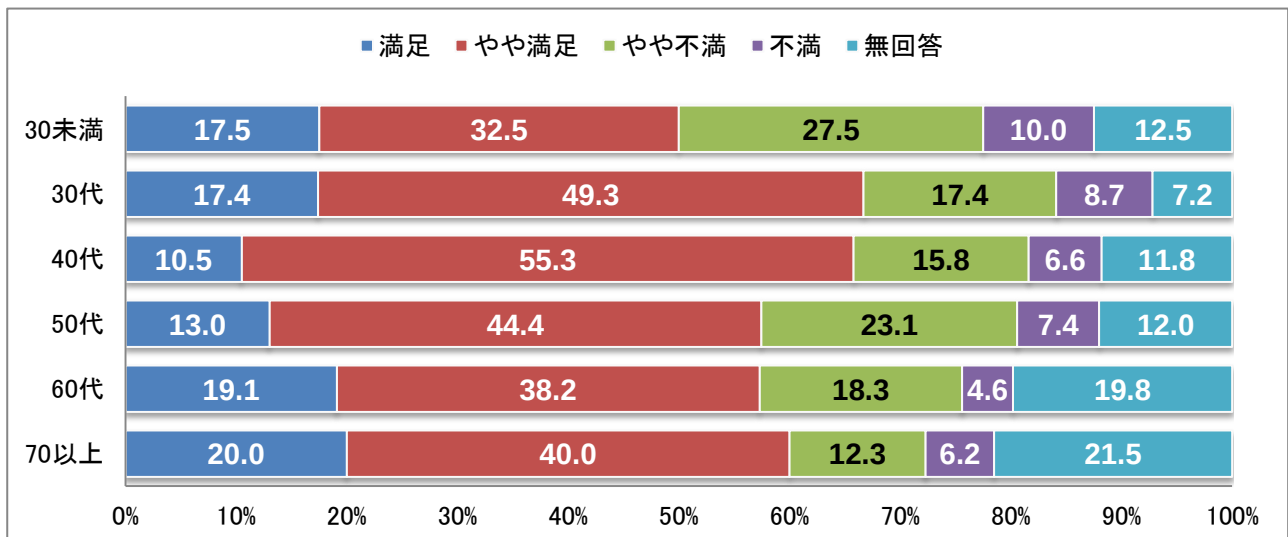
①全体／男女別

〔単位：％〕



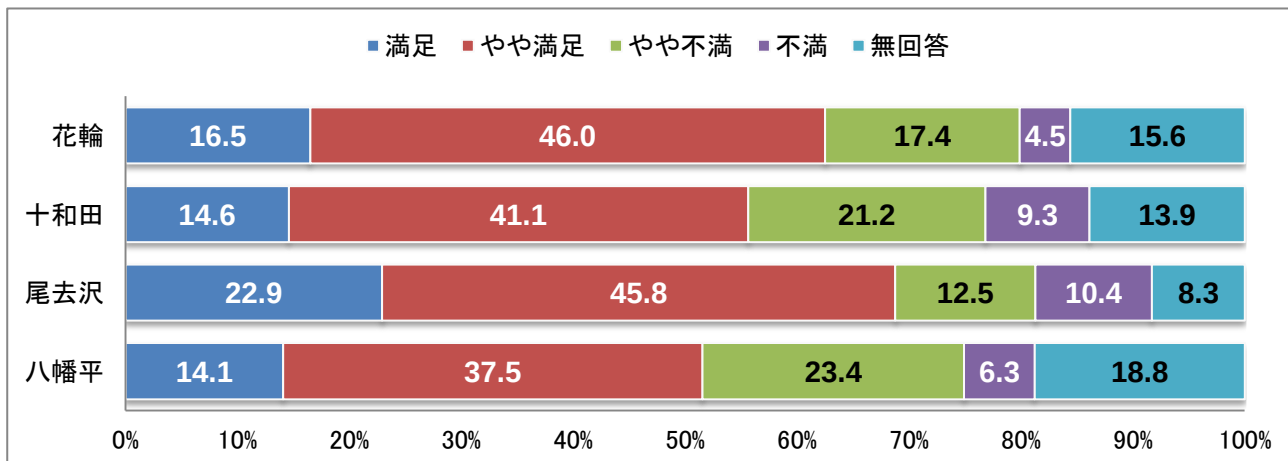
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

「満足」「やや満足」と答えた方の割合は 59.6%と前年と比べ 6.3 ポイントの減となっていますが、子育て世代となる 30 代では 66.7%の方が、40 代では 65.8%の方が概ね満足と回答しています。

「やや不満」「不満」と答えた方の割合は 25.6%と前年と比べ 4.3 ポイント増加しています。

年代別でみると、30 歳未満において 37.5%の方が「やや不満」「不満」と回答しています。

また、地区別では八幡平地区において 29.7%、十和田地区において 30.5%の方が「やや不満」「不満」と回答しています。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

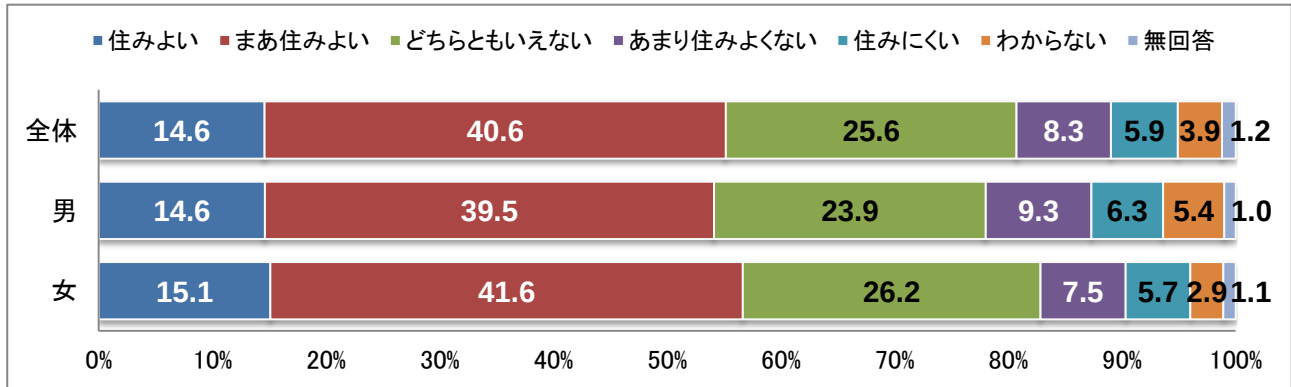
成果指標	基準値	実績値 (H27)	目標値 (H27)
公園の環境に満足している市民の割合	56.7%	59.6%	71.0%

5 住みごころについて

設問⑥ あなたにとって、鹿角市の住みごころはどうですか。

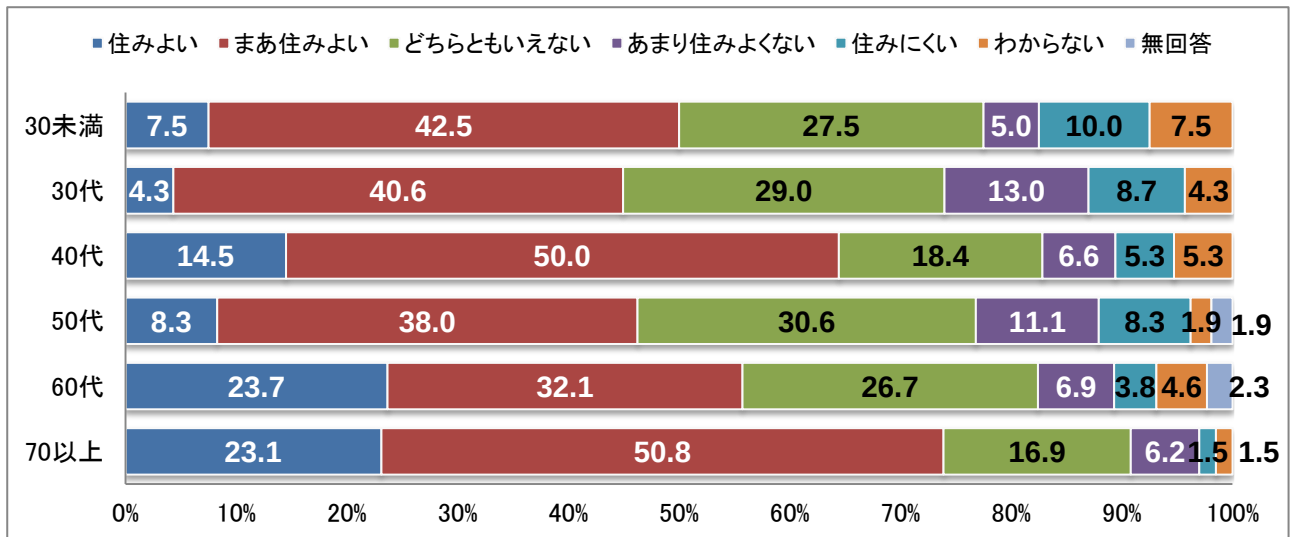
①全体／男女別

〔単位：％〕



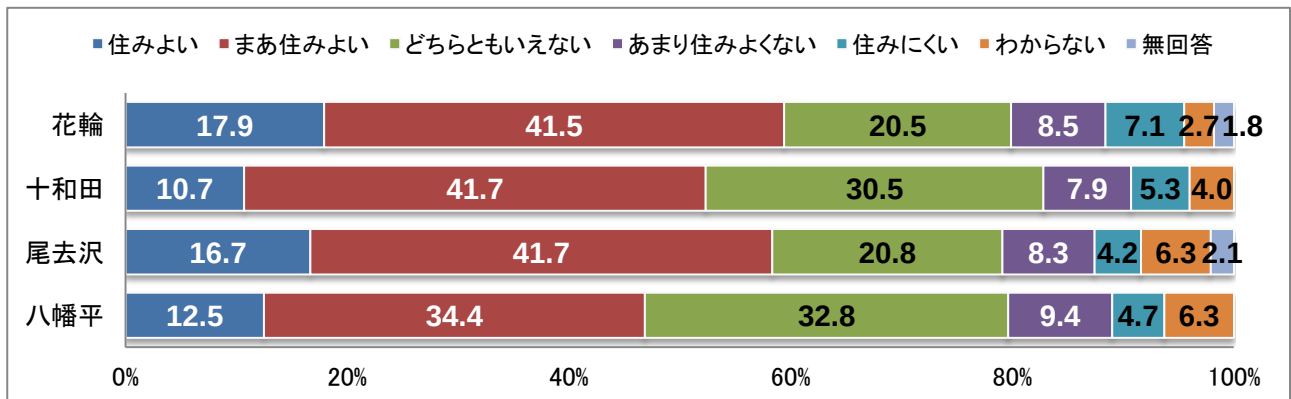
②年代別

〔単位：％〕



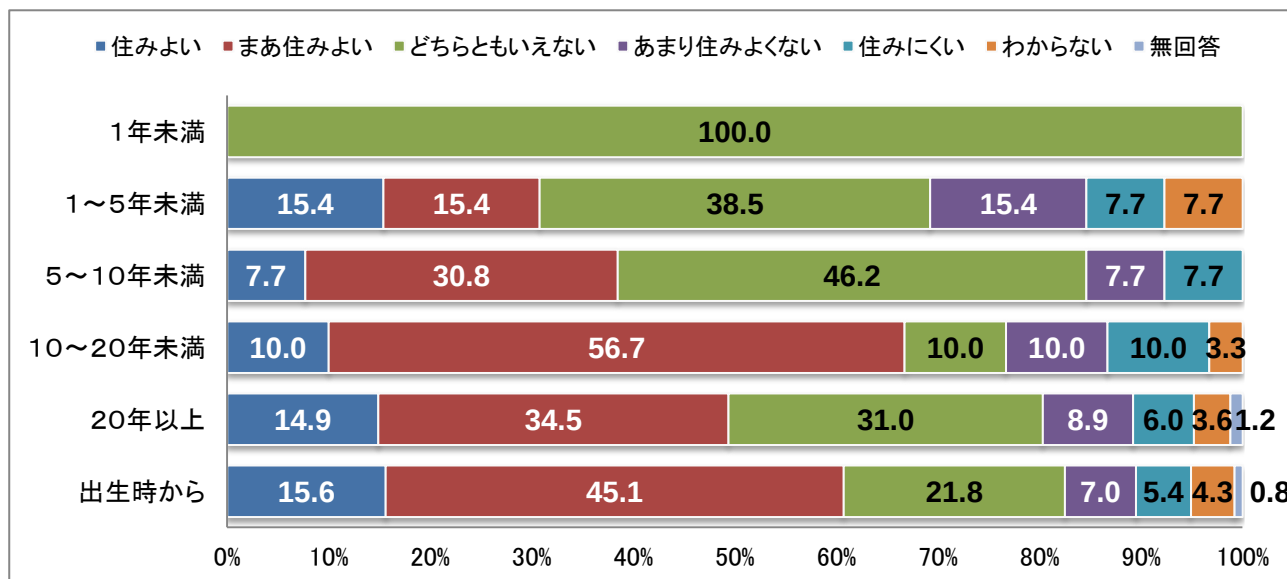
③地区別

〔単位：％〕



④住んでいる期間別

〔単位：％〕



⑤分析結果

「住みよい」「まあ住みよい」と回答された方は55.2％であり、「あまり住みよくない」「住みにくい」の14.2％を大きく上回っています。

年代別では70歳以上の73.9％を筆頭に、40代、60代からは6割近くの方が「住みよい」「まあ住みよい」と回答していますが、30代、50代では5割を下回っており、年代間で捉え方に若干の差が見られます。

地区別では、花輪、十和田、尾去沢地区において、5割を超える方が「住みよい」「まあ住みよい」と回答される中、八幡平地区では5割を下回っています。前年と比較すると尾去沢地区では約14ポイント増加していますが、十和田、八幡平地区では減少しており、特に十和田地区では約15ポイント減少しています。

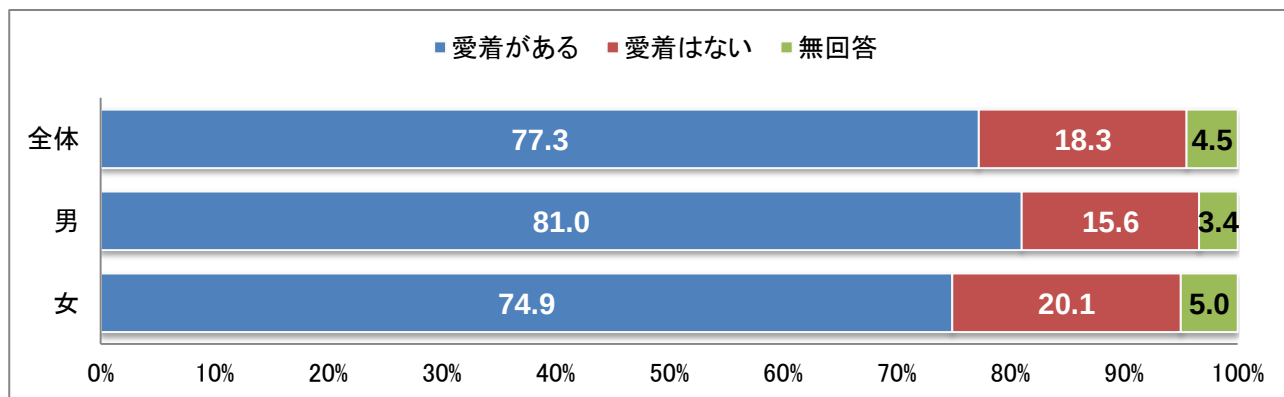
住んでいる期間別では、10年以上住んでいる方は5割を超える方が「住みよい」「まあ住みよい」と回答していますが、10年未満の方からは4割を下回る結果となっています。住んでいる期間が短いほど、住みごこちに満足している方は減少傾向にあります。

6 愛着について

設問⑦ あなたは、鹿角市に愛着を持っていますか。

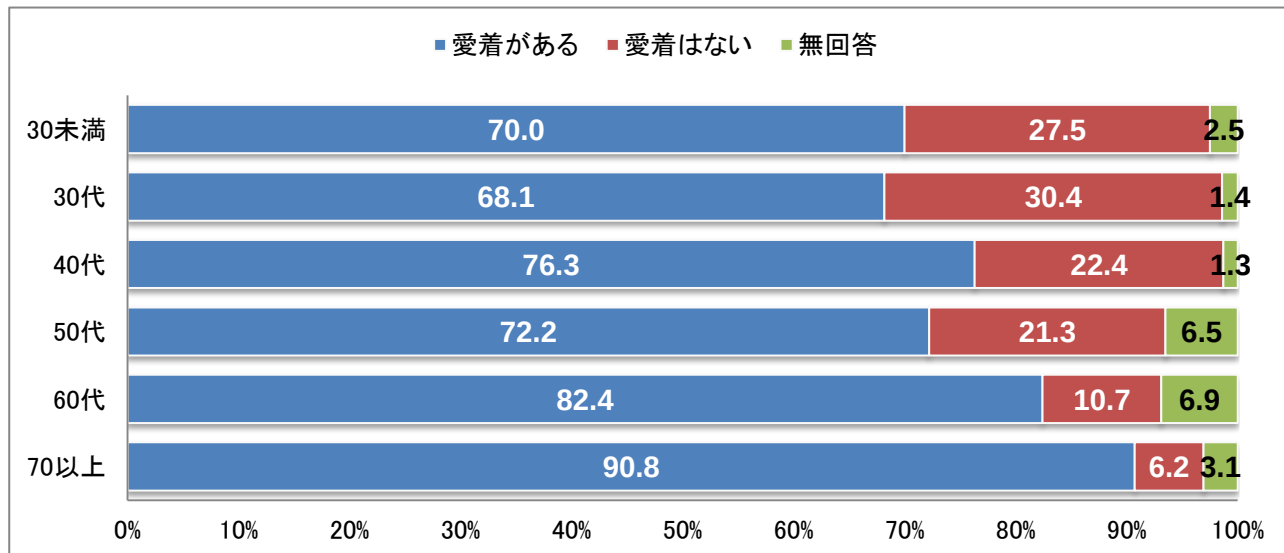
①全体／男女別

〔単位：％〕



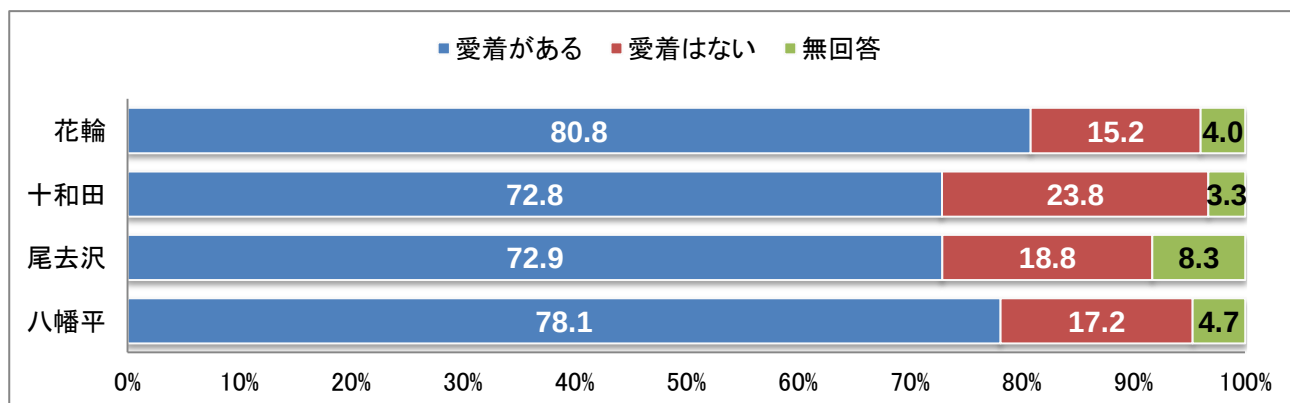
②年代別

〔単位：％〕



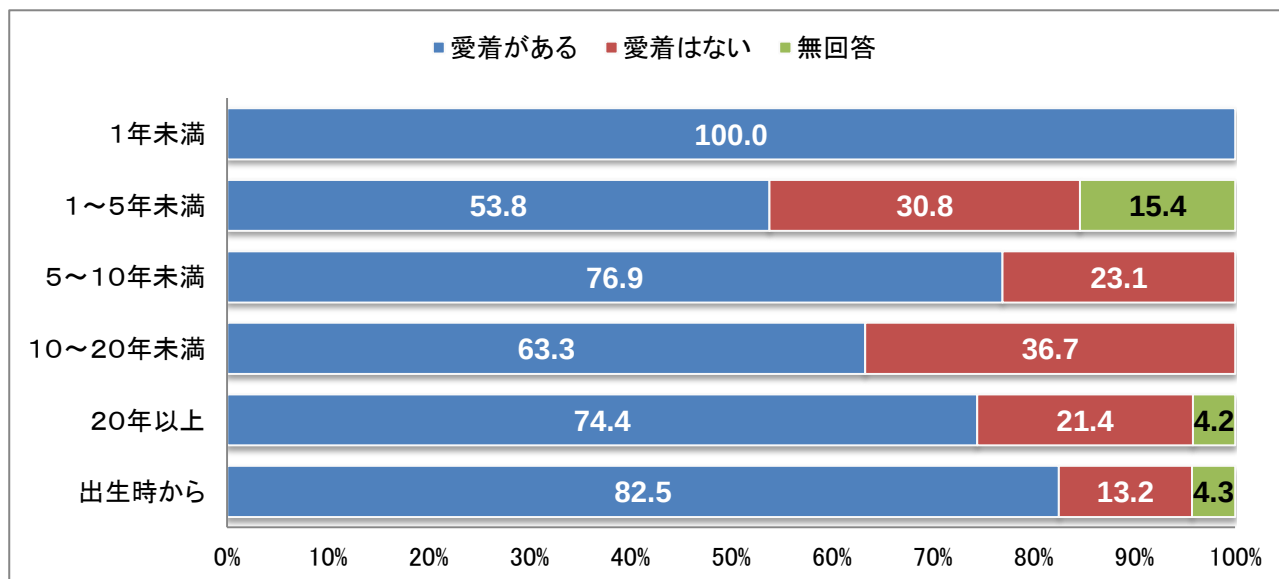
③地区別

〔単位：％〕



④住んでいる期間別

[単位：％]



⑤分析結果

鹿角市に愛着がある方は 77.3% となっています。

年代別でみると、70 歳以上では 90.8% の方が愛着を持っていますが、年代が低くなるにつれて愛着が薄くなる傾向にあることがわかります。

地区別でみると、花輪、八幡平地区は約 8 割の方が愛着を持っていますが、十和田、尾去沢地区は約 73% と地域ごとに若干の差があることがわかります。

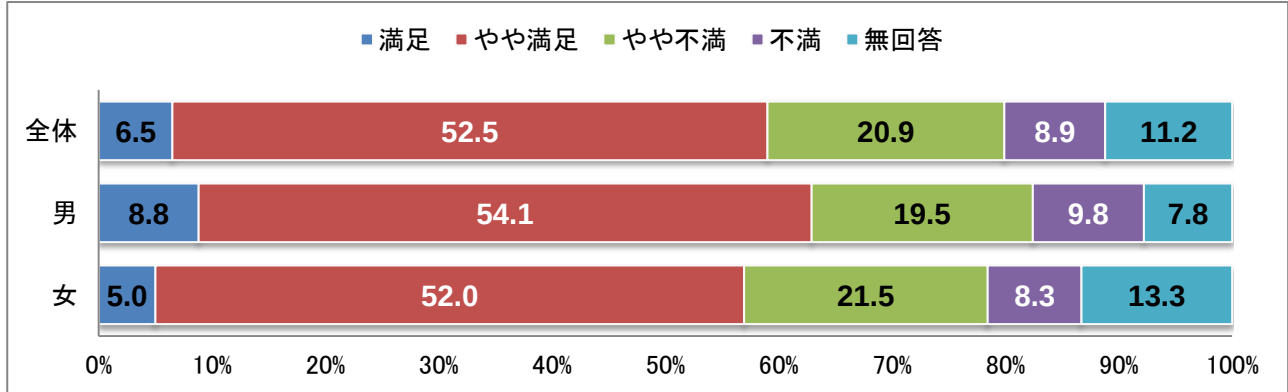
住んでいる期間別でみると、愛着がある方は 1～5 年未満が最も低く 6 割を下回っているものの、出生時から住んでいる方の 8 割以上が愛着を持っているということがわかりました。

7 市街地の整備について

設問⑧ あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

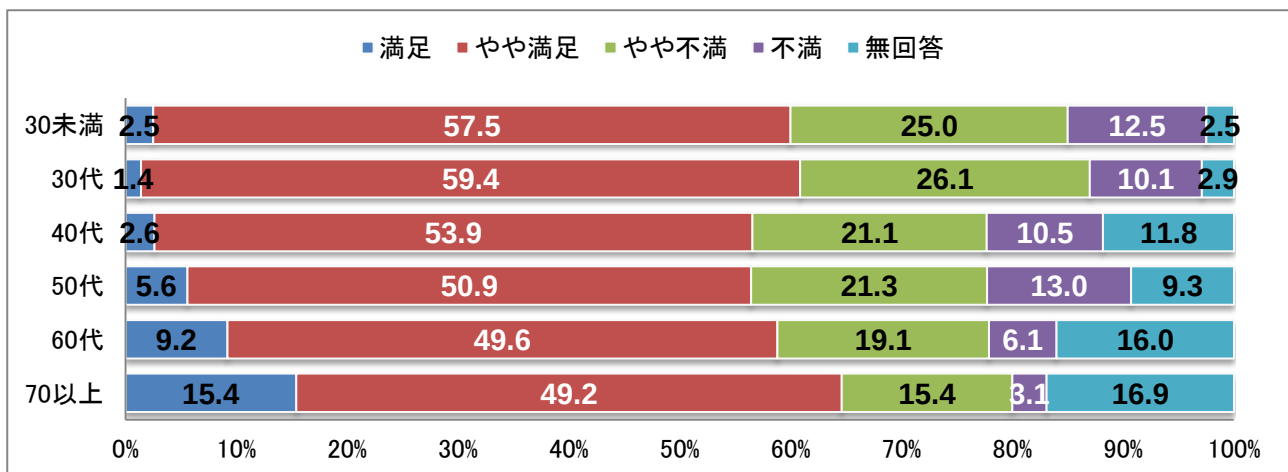
①全体／男女別

〔単位：％〕



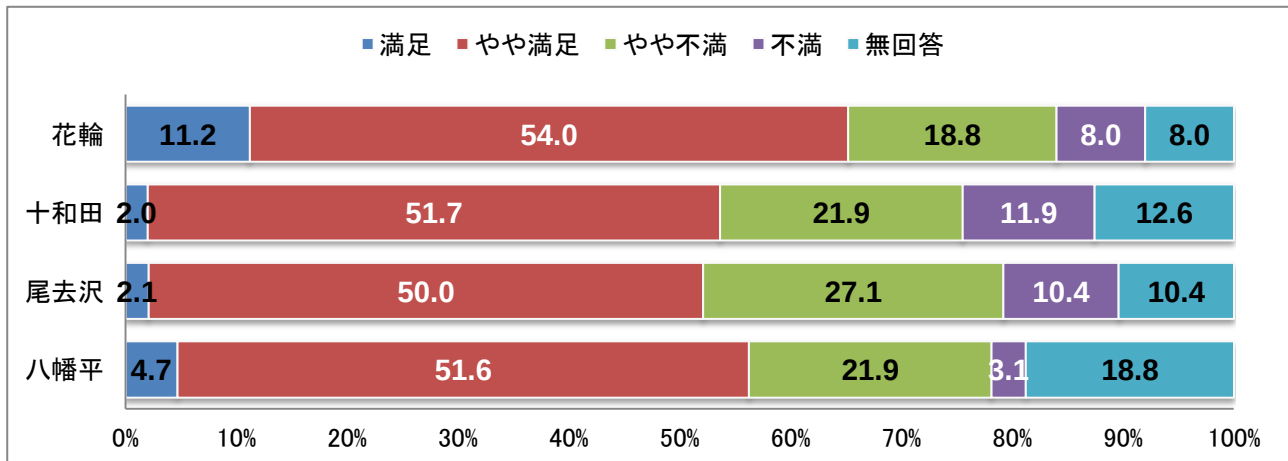
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

花輪市街地の「満足」「やや満足」とする満足度は 59.0%と前年よりも 6.3 ポイント増加しました。

年代別で「やや不満」「不満」と回答された方は、30 歳未満の 37.5%が最も高く、30 代の 36.2%、50 代の 34.3%と続いており、60 歳以上の方とは約 10 ポイントの差があります。概ね不満と回答した割合は減少傾向にあるものの、「交通の不便さ」「駐車場の少なさ」のほか、「活気がない」「若い人が集まる場所がない」といった理由が挙げられており、特に若年層の満足度が低い結果となっています。

地区別にみると、花輪地区では 65.2%の方が「満足」「やや満足」と回答している中、その他の地区では約 55%と 10 ポイント以上の差があり、中心市街地の利用形態の差が満足度に表れたものと推測されます。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

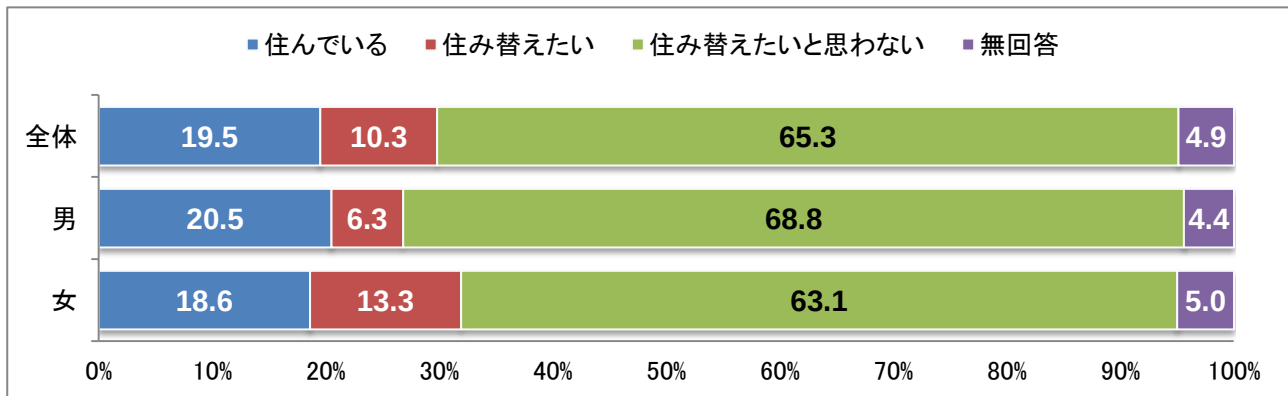
成果指標	基準値	実績値 (H27)	目標値 (H27)
中心市街地の環境に満足している 市民の割合	20.2%	59.0%	55.0%

8 「まちなか」への住み替えについて

設問⑨-1 あなたは将来、「まちなか」に住み替えたいと思いますか。ここでいう「まちなか」とは花輪市街地をいいます。

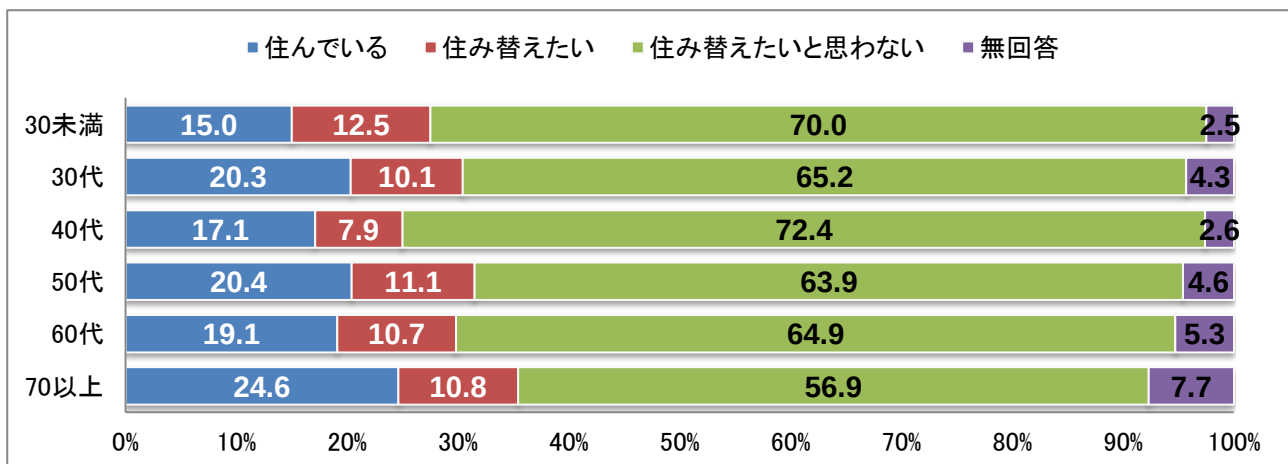
①全体／男女別

[単位：％]



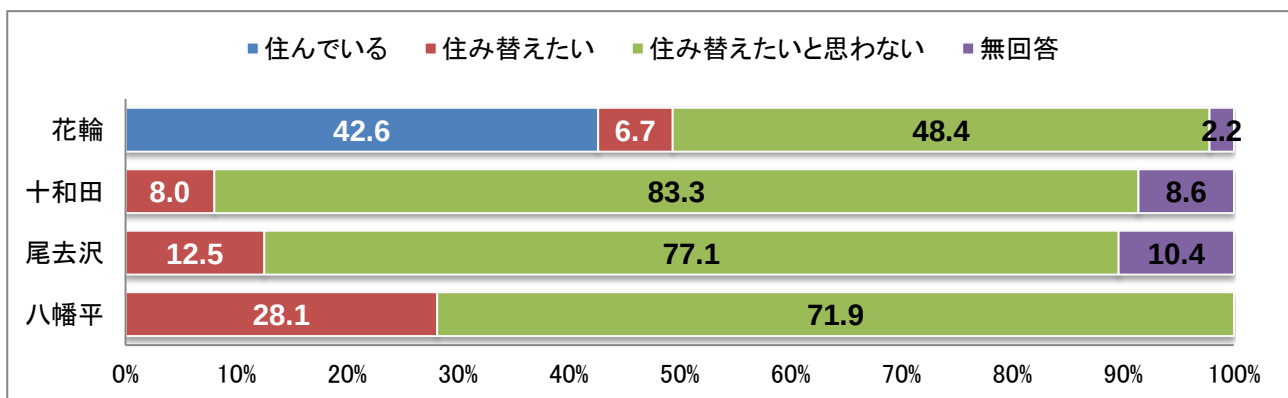
②年代別

[単位：％]



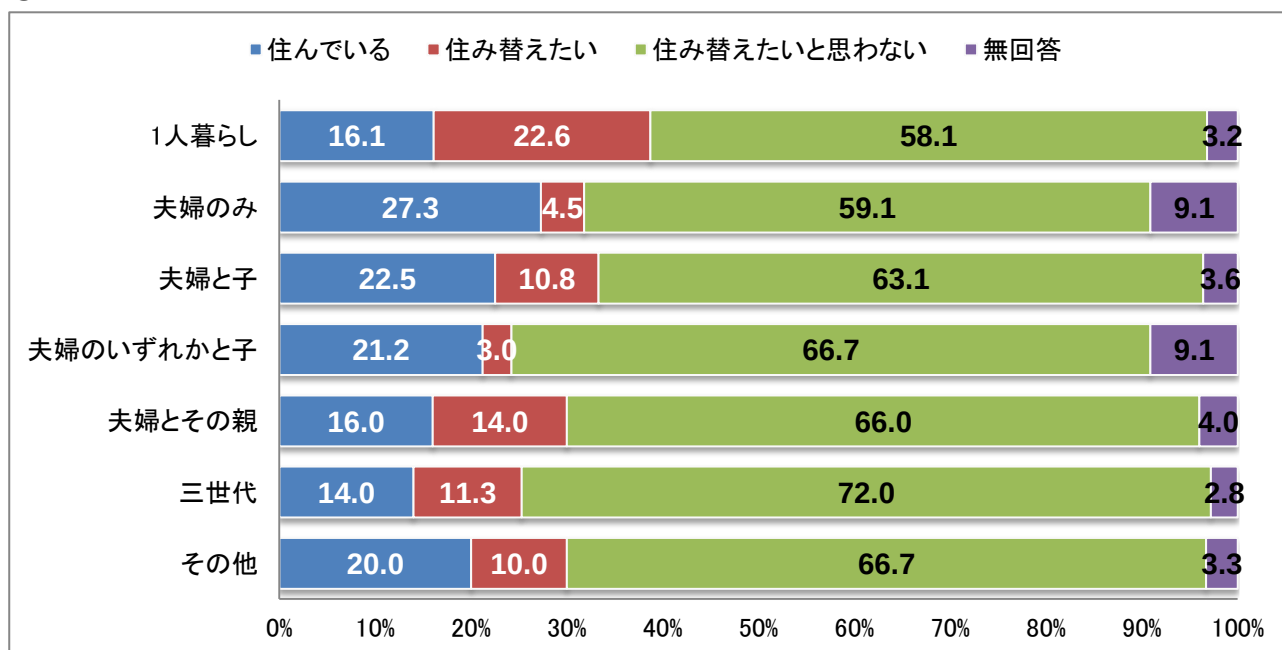
③地区別

[単位：％]



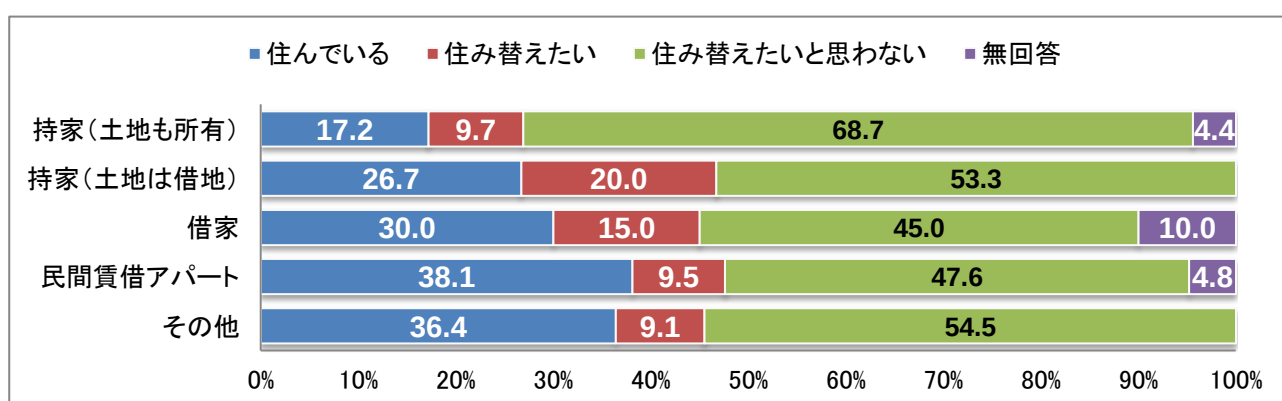
④世帯構成別

[単位：％]



⑤住居形態別

[単位：％]



⑥分析結果

「まちなか」に住み替えたいと回答した割合は全体の 10.3%（まちなかに住んでいる人を除くと 12.9%）で、「まちなか」以外に住む方の 8 割以上が住み替えたいとは思わないと回答しています。

男女別では、男性は住み替え希望を持つ方が女性の半以下で、年代別では、40 代で低くなっています。

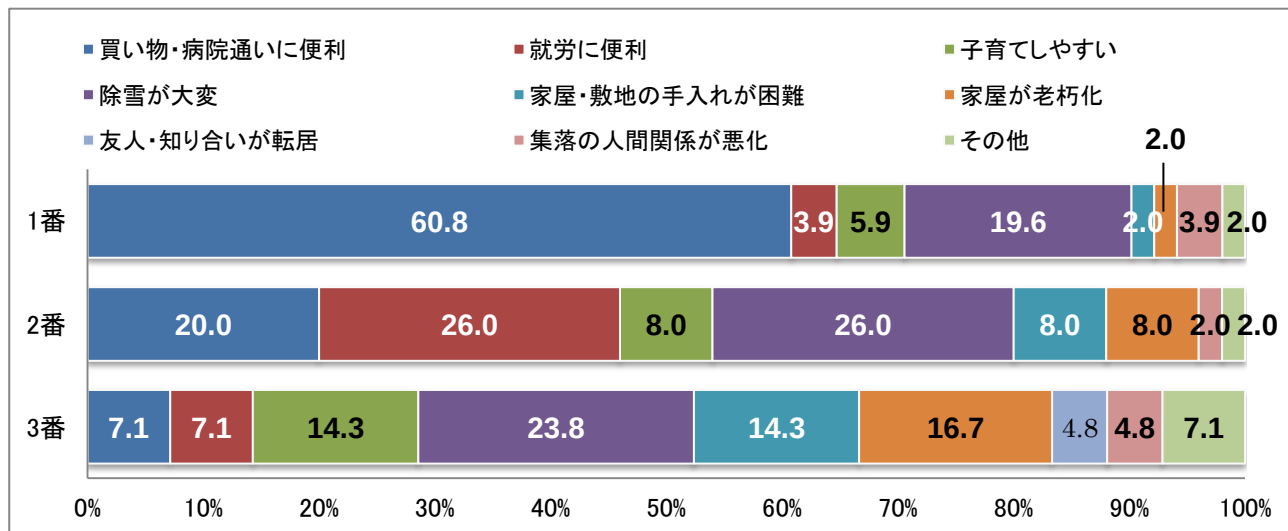
地区別には、八幡平地区で住み替え意向が強く、十和田地区で低い傾向にあります。

また、世帯構成別では、1 人暮らし世帯と母子・父子世帯で住み替え意向が強く、住居別では借家や家の敷地が借地の場合に住み替え意向が強い傾向にあります。

設問⑨-2 設問⑨-1で「2. 住み替えたい」を選んだ方におたずねします。住み替えたいと思う理由は何ですか。下表の1～10から順に3つまで選び、□に番号を記入してください。
 ※【「まちなか」に不動産を所有しているから】を選択した方はいなかったため、グラフから除外

①全体

〔単位：％〕

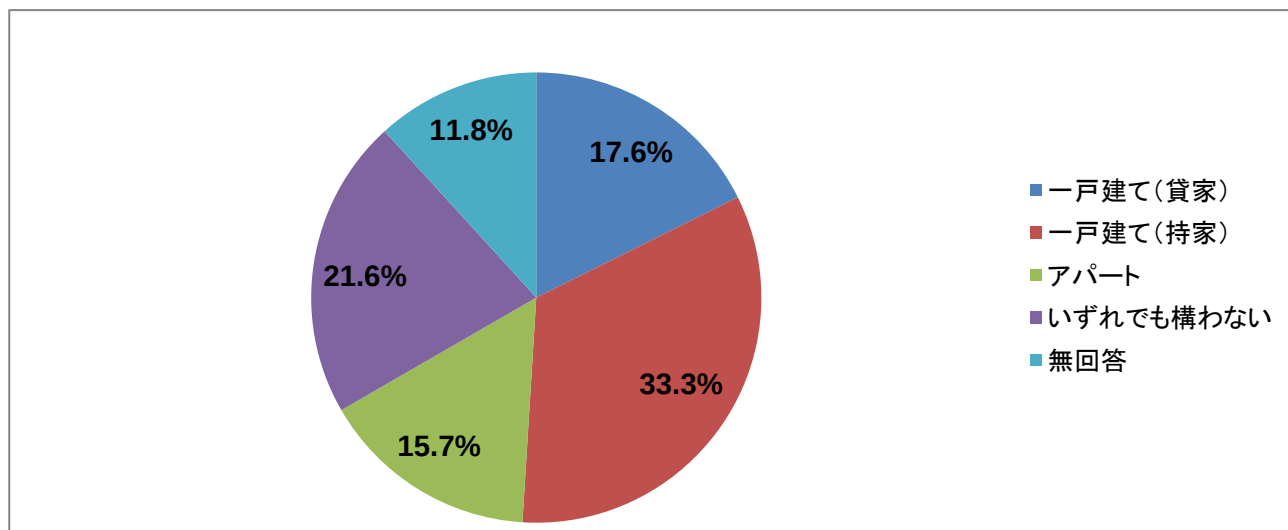


②分析結果

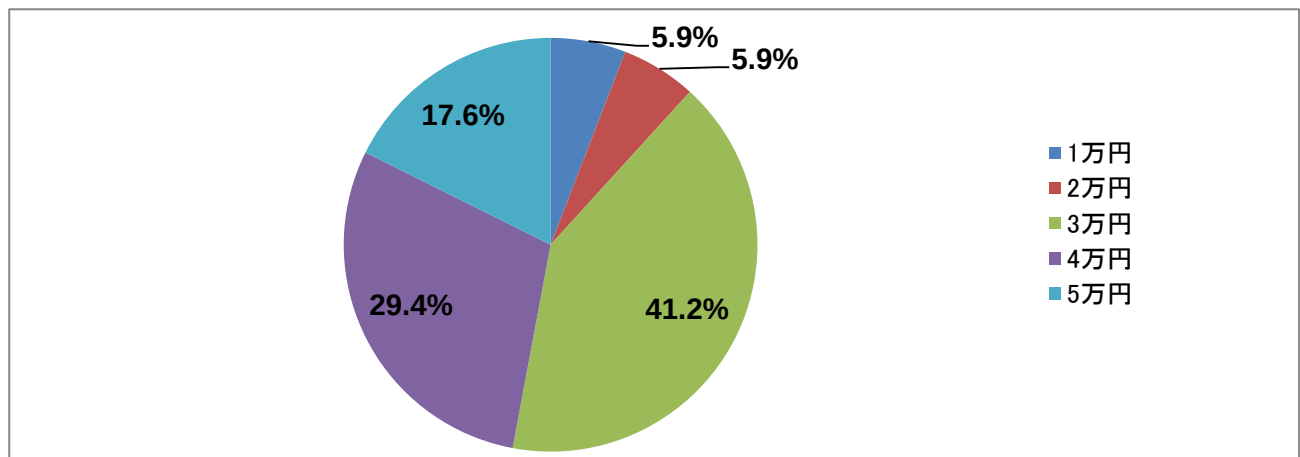
「まちなか」に住み替えたい理由を順に3つまで選んでもらいましたが、約88%の方が「買い物・病院通いに便利」と答え、続いて「除雪が大変」が回答者の約70%、「就労に便利」が約37%となっています。上位3つの理由に年代的な違いはあまり見られませんでした。

設問⑨-3 設問⑨-1で「2. 住み替えたい」を選んだ方におたずねします。住み替える場合、下表の1と2についてあてはまるものそれぞれ1つに○をつけてください。また、希望する家賃や価格を記入ください。

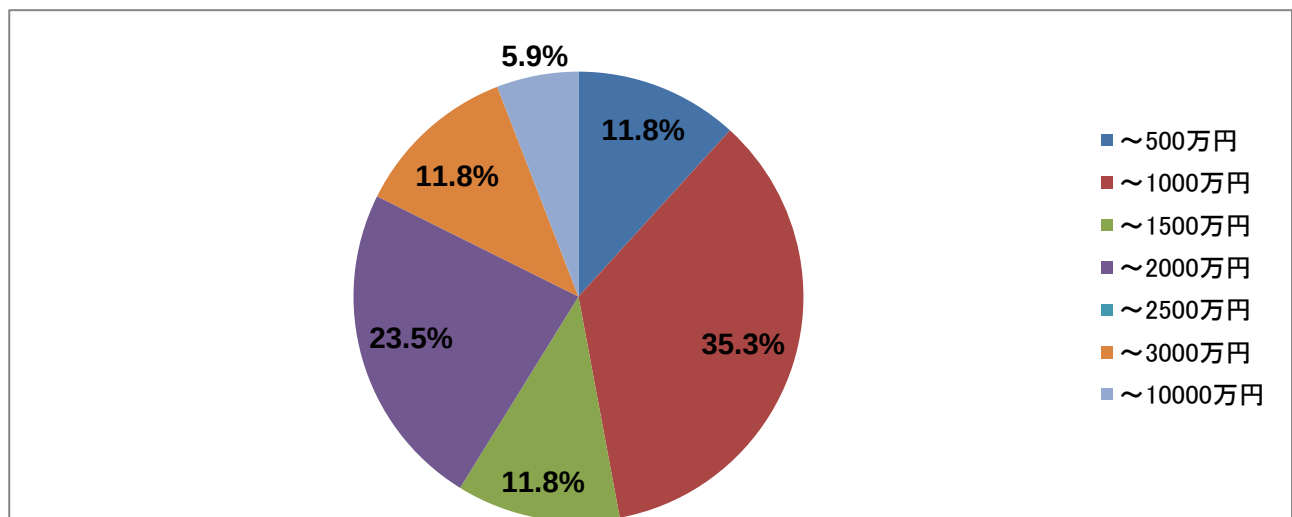
①住み替えたい住居の種類



②希望する家賃（アパート、貸家の場合）



③希望する価格（持家の場合）



④分析結果

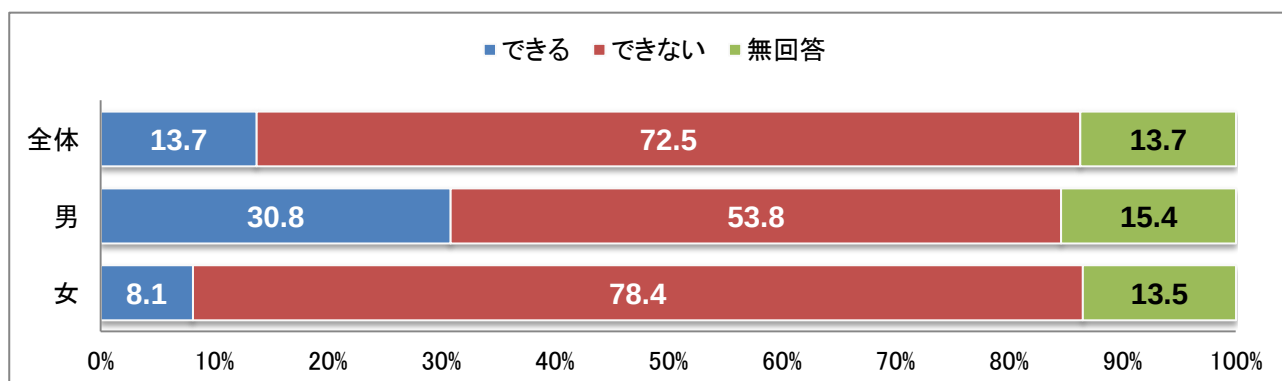
「まちなか」への住み替えにあたって希望する住居の種類は、一戸建ての持家、一戸建ての貸家、アパートの順に多く、年代や世帯構成による違いがあまり見られませんでした。

また、アパート、貸家の場合の希望する家賃については月3万円程度が最も多く、持ち家の場合の希望する購入価格は1,000万円程度が最も多くなっています。

設問⑨-4 ⑨-1で「2. 住み替えたい」を選んだ方におたずねします。「まちなか」への住み替えの希望は実現できそうですか。

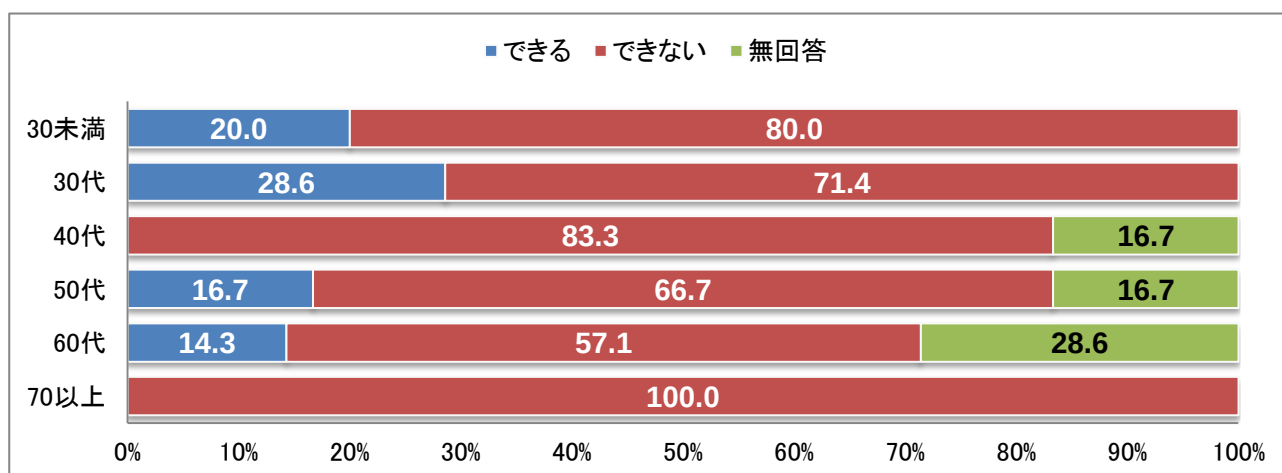
①男女別

〔単位：％〕



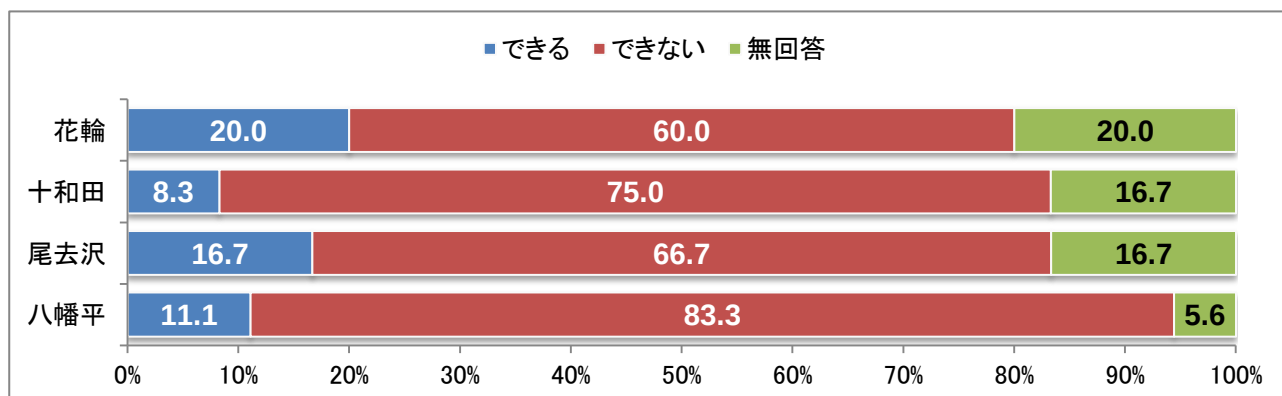
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

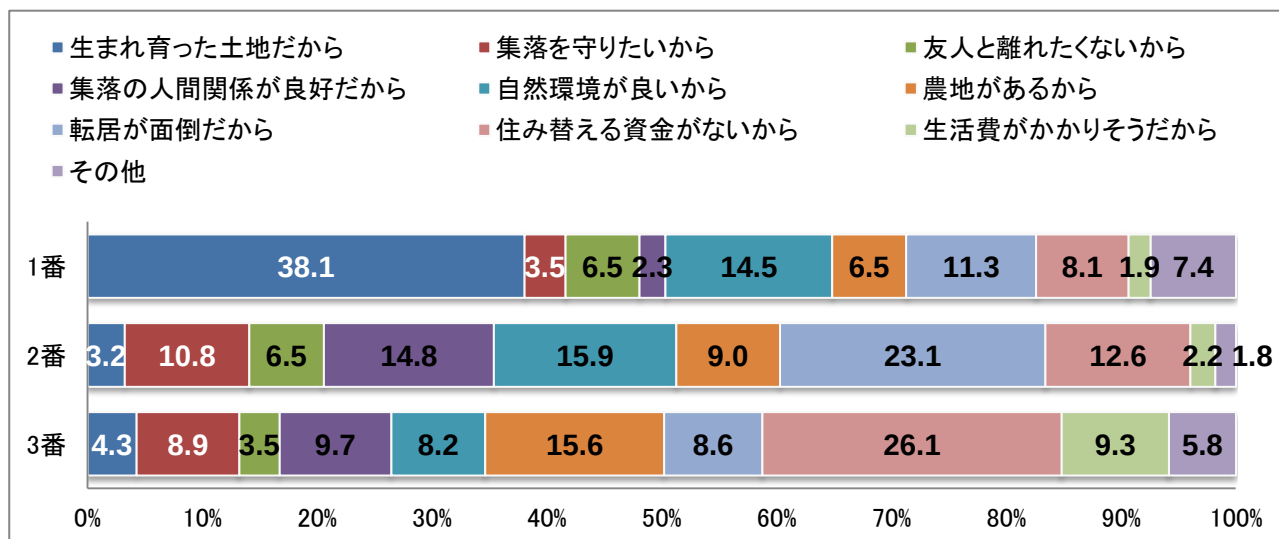
「まちなか」への住み替えの意向を持つ方が、その希望を実現できそうかたずねたところ、実現できると答えた割合は13.7%でした。

男女別では、男性が30%を超えたのに対し、女性は8%にとどまり、年代別では40代と70歳以上で0%となっています。地区別では、八幡平地区と十和田地区で低く、実現できない理由としては「経済的な理由」が6割を超え、次いで「家や財産の承継」を挙げる方が多くなっています。

問⑨-5 設問⑨-1で「3. 住み替えたいとは思わない」を選んだ方におたずねします。住み替えたいとは思わない理由は何ですか。下表の1～10から順に3つまで選び、□に番号を記入してください。

①全体

〔単位：％〕



②分析結果

「まちなか」に住み替えたいとは思わない理由で最も多く挙げられたのは、「生まれ育った土地だから」で4割以上の方が選択しています。次いで、「自然環境が良いから」を1番の理由に挙げる方が多くなっています。

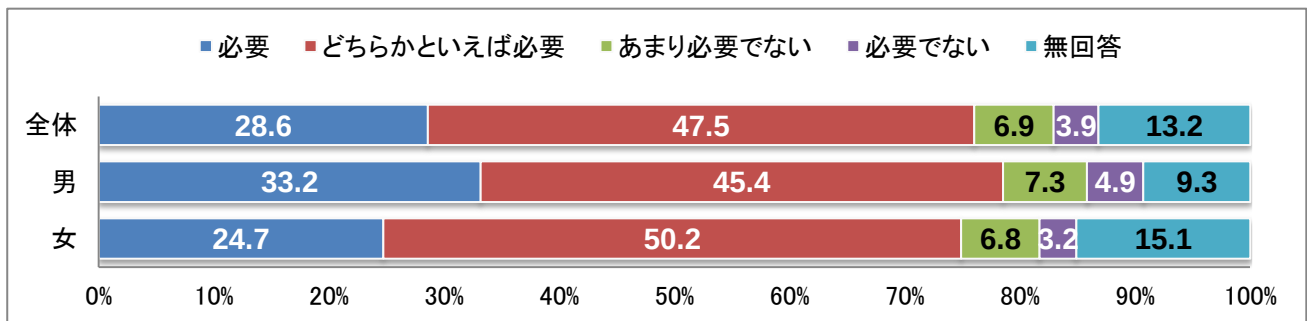
一方、3つまで挙げてもらった合計では、「住み替える資金がないから」と「転居が面倒だから」も4割近い方が選択しています。また、その他の理由としては、30代以下を中心に、「どこに住んでも同じ」という回答が多く見られました。

9 コンパクトなまちづくりについて

問⑩ あなたは、コンパクトなまちづくりを進めることについてどう思いますか。

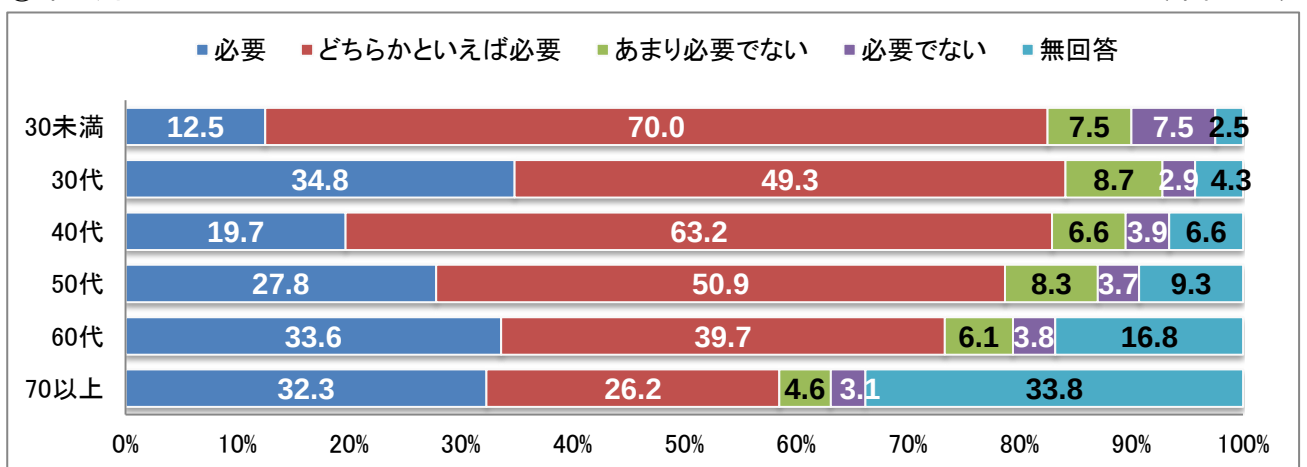
①全体／男女別

〔単位：％〕



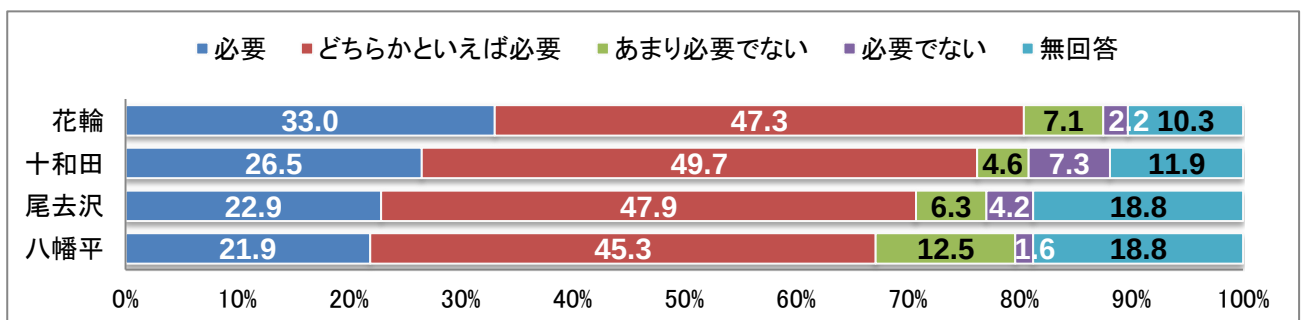
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

コンパクトなまちづくりが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方は、全体の 76.1％であり、多くの市民がコンパクトで持続可能なまちづくりの必要性を感じている結果となりました。

年代別でみると、「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方は 30 歳未満、30 代、40 代では 8 割を超えているのに対し、70 歳以上では 6 割程度にとどまり、無回答が多くなっています。

地区別では大きな差はありませんが、八幡平地区では比較的「あまり必要でない」と感じている人が多くなっています。

必要でない理由としては、都市機能が集中することにより災害時の不安や市内全域にサービスが行き届かなくなるのではというデメリットのほか、賑わい格差が生じるなど地域コミュニティへの不安が挙げられました。

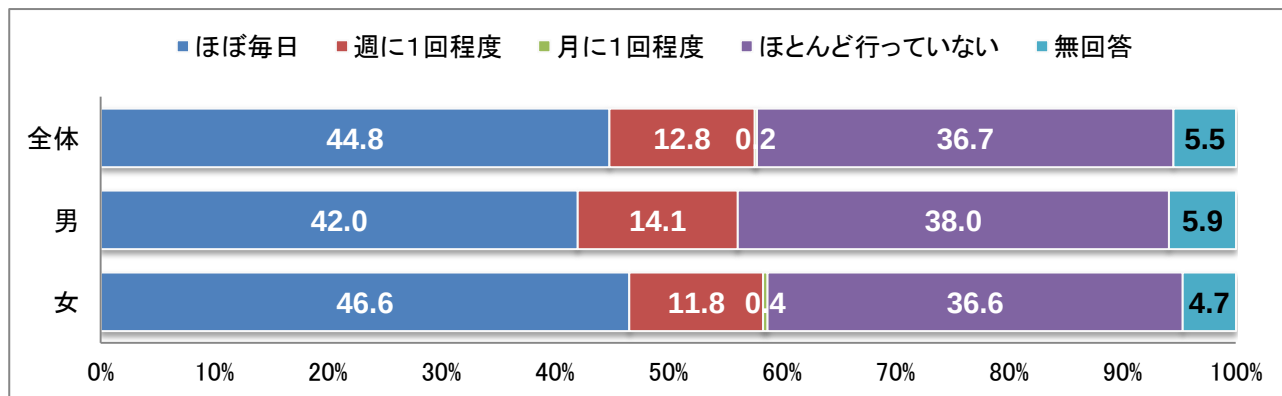
10 運動の実施状況について

設問⑪ あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。

また、1回あたりの運動時間はどのくらいですか。

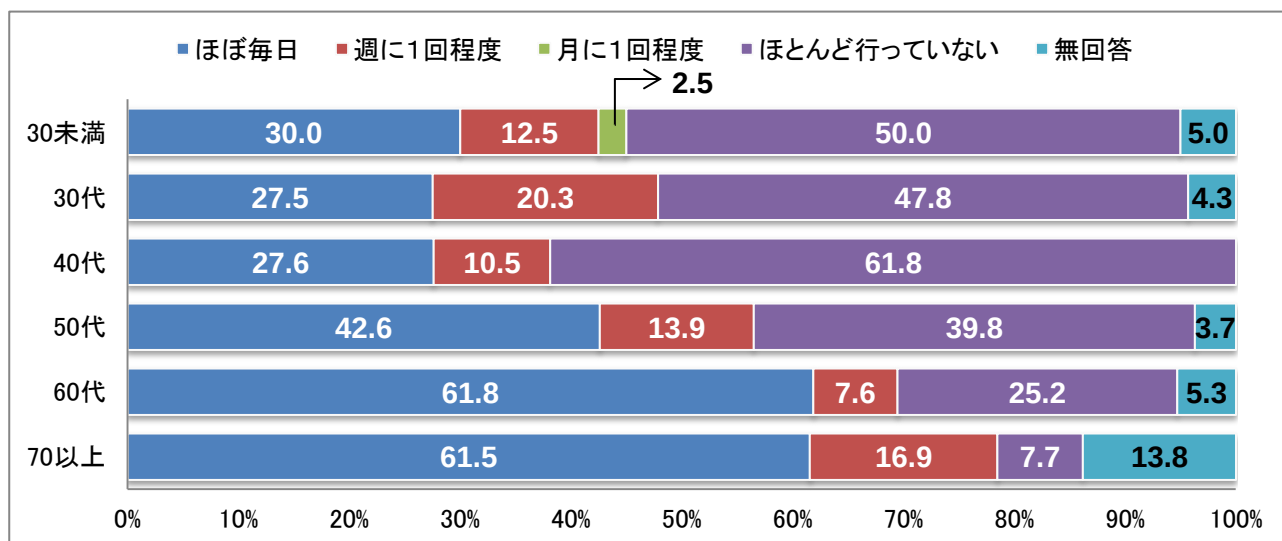
①全体／男女別

〔単位：％〕



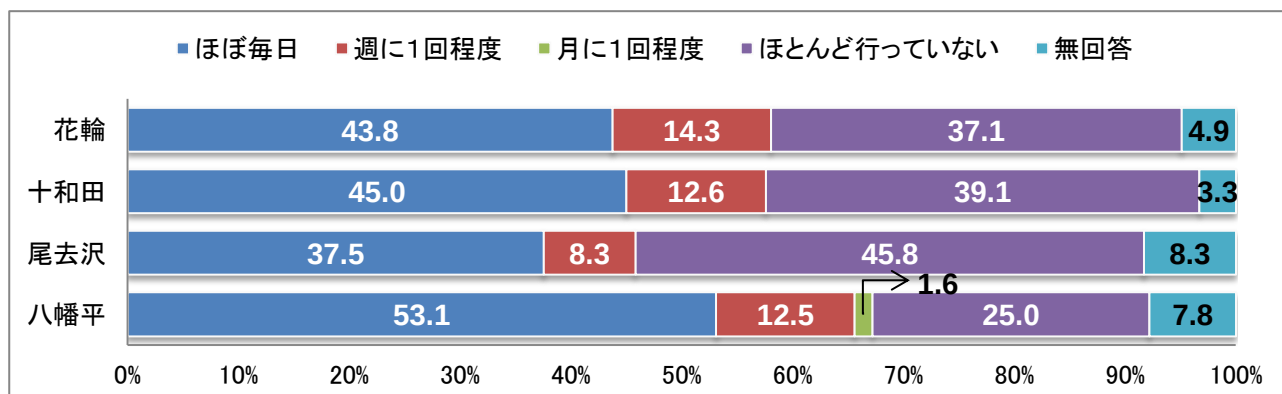
②年代別

〔単位：％〕

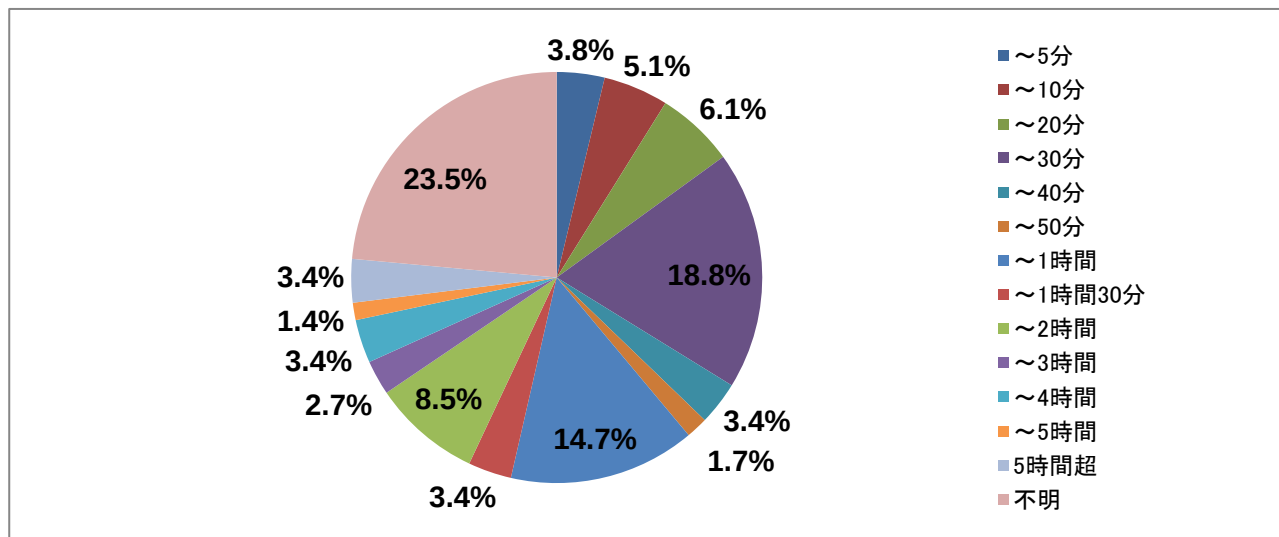


③地区別

〔単位：％〕



④ 1 回あたりの運動時間



⑤分析結果

週 1 回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、平成 25 年度から 50%を超えており、今年度は 57.6%となりました。

内容としてはウォーキング、散歩、ラジオ体操への取組が多数を占めていますが、家事や農作業などの日常生活により運動をしているとした回答も多く、日常的な生活活動動作でも運動を意識して取り組むことで健康づくりにつながる、という意識が醸成されてきているものと考えられます。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

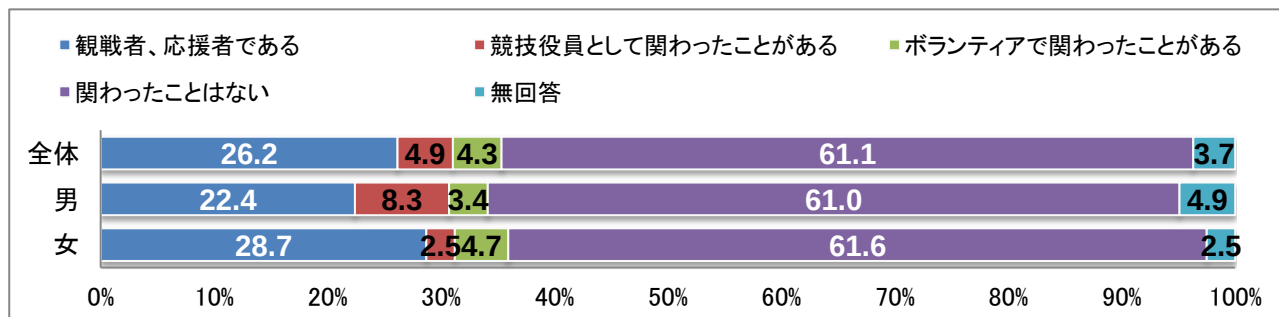
成果指標	基準値	実績値 (H27)	目標値 (H27)
週 1 回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合	34.6%	57.6%	47.0%

11 スポーツツーリズムについて

問12-1 あなたは、市外から参加者が集まるスポーツ大会が開催されたとき、主にどのように関わっていますか。

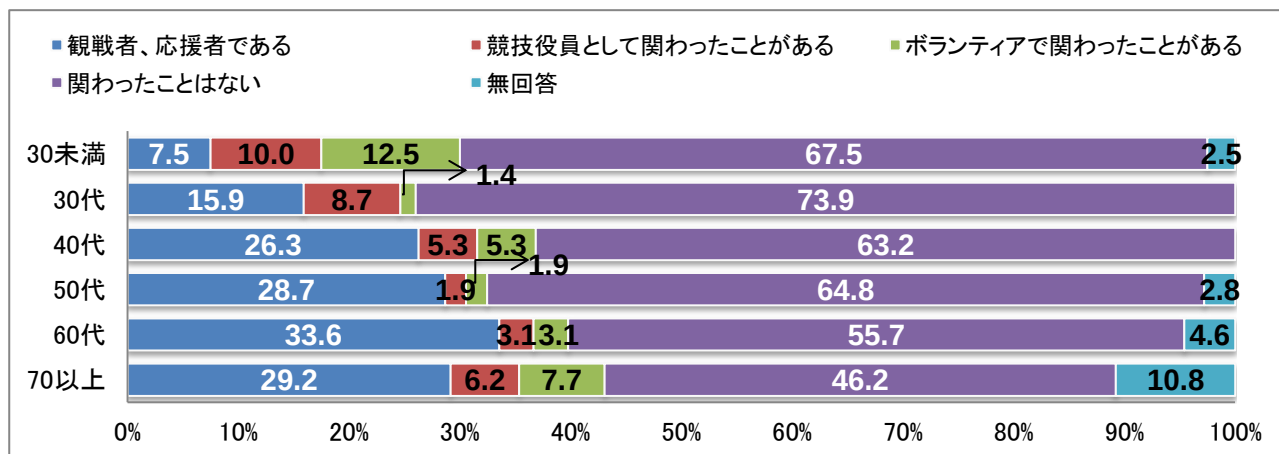
①全体／男女別

〔単位：％〕



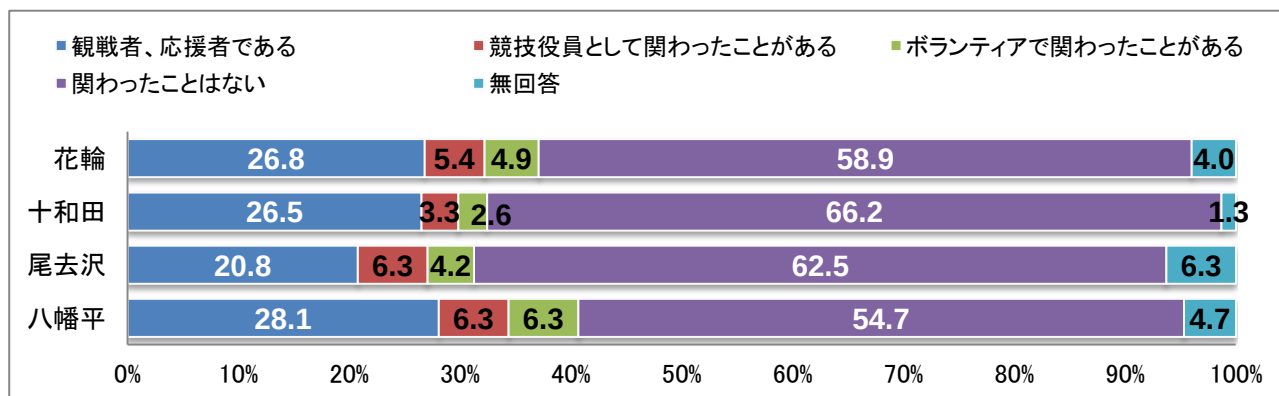
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

本市の恵まれたスポーツ環境を活かしたまちづくりを推進するため、市外から参加者が集まるスポーツ大会が開催されたとき、主にどのように関わっているかがあったところ、「競技役員」や「ボランティア」など、直接的に運営に関わった割合は 9.2%で、「観戦者、応援者」は 26.2%となり、いずれかで関わりのあった市民の割合は 35.4%となりました。

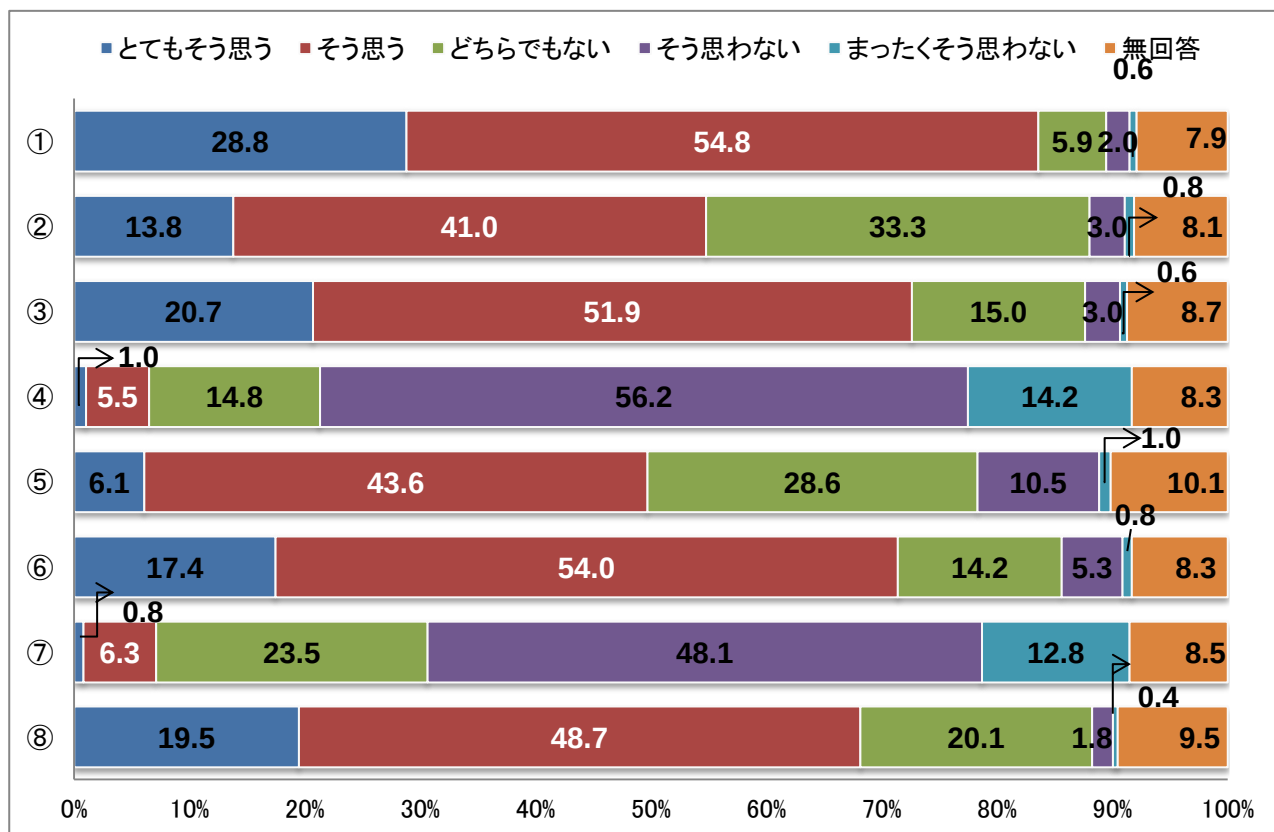
年代別では、30歳以下の若年層で競技役員として関わっている割合が比較的高いことや、年代が上がるにつれ観戦者、応援者の割合が高くなる傾向が見られます。

問12-2 次の①～⑧に対するあなたの考えについて、あてはまるものを選んでください。

①	全国からスポーツ大会等の参加者や関係者、応援者が来ることは鹿角にメリットがあると思う
②	全国から訪れるスポーツ選手や関係者、応援者に対して好感を持っている
③	訪れるスポーツ選手等と交流することは、市民にとって市外の文化や社会に触れることができる貴重な経験であると思う
④	スポーツツーリズムは、地域の住みやすさを損なうと思う
⑤	スポーツツーリズムは、都市としての環境の水準を維持すると思う
⑥	スポーツツーリズムは、鹿角市のイメージを向上させると思う
⑦	スポーツツーリズムは、地域のもめごとにつながると思う
⑧	鹿角市がスポーツツーリズムを推進することを支持する

①全体／男女別

〔単位：％〕



②分析結果

「全国からスポーツ大会等の参加者や関係者、応援者が来ることは鹿角にメリットがあると思う」について「とてもそう思う」「そう思う」答えた方は83.6%、「そう思わない」「まったくそう思わない」と答えた方は2.6%となりました。また、約7割の方が市のイメージ向上や、訪れるスポーツ選手と交流することで、市外の文化や社会に触れる貴重な経験になると答えています。

一方で、「地域の住みやすさを損なうと思う」「地域にもめごとにつながると思う」というマイナスの影響については6割以上が「そう思わない」「まったくそう思わない」と答えています。

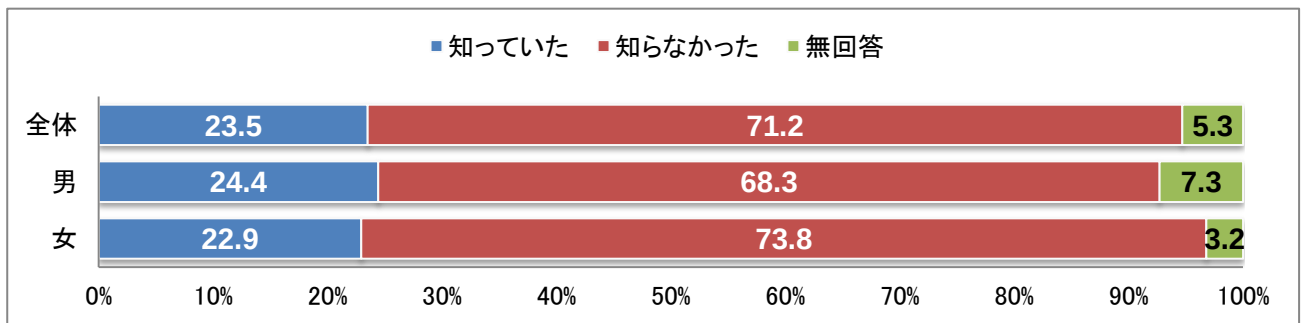
「スポーツツーリズムを推進することを支持する」と答えた方は68.2%であったことから、スポーツツーリズムによる効果の認知が肯定的に捉えられていることがわかります。

12 男女共同参画の状況について

問13-1 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていましたか。

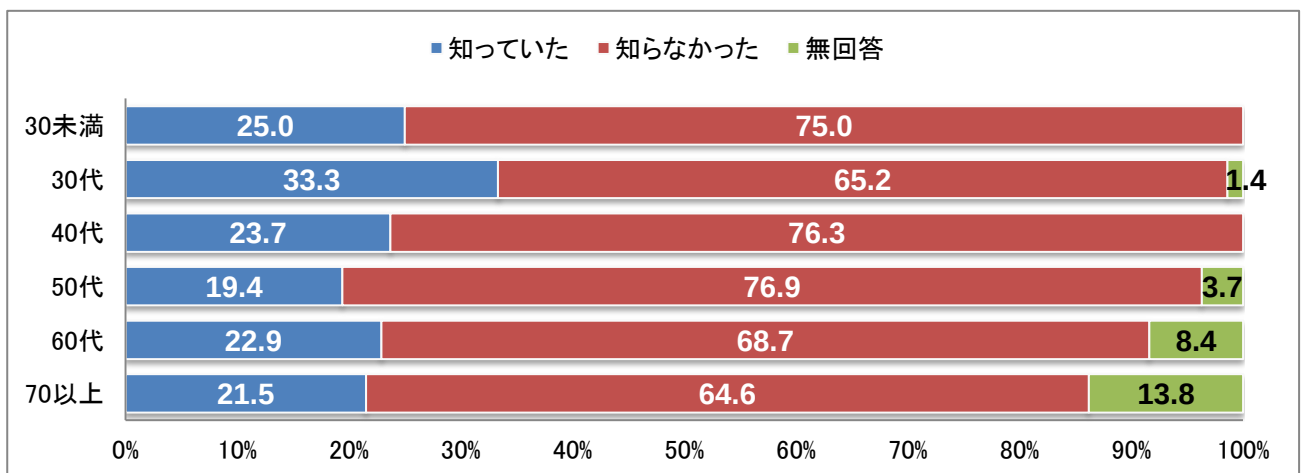
①全体／男女別

[単位：％]



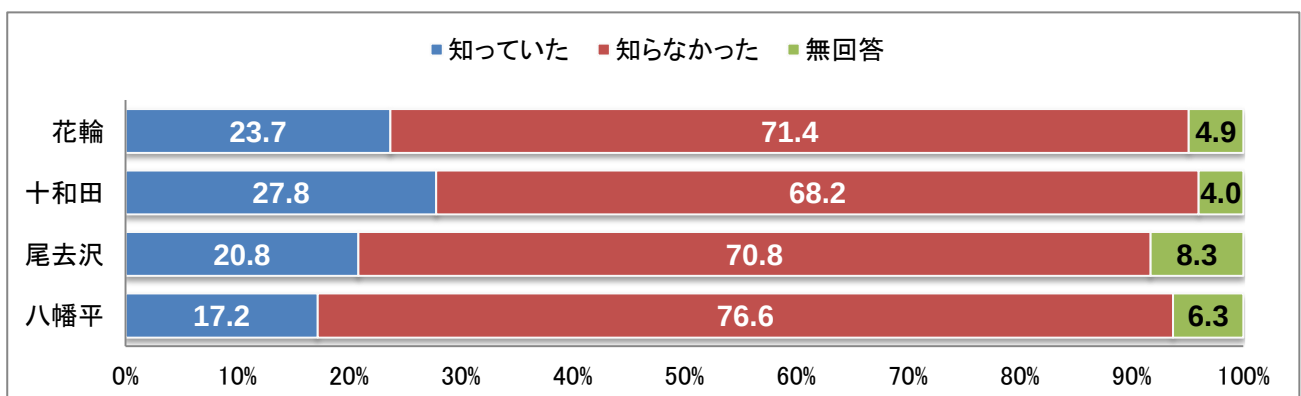
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

「ワーク・ライフ・バランス」を知っている方の割合は、23.5%と前年（23.8%）とほぼ同じ状況です。

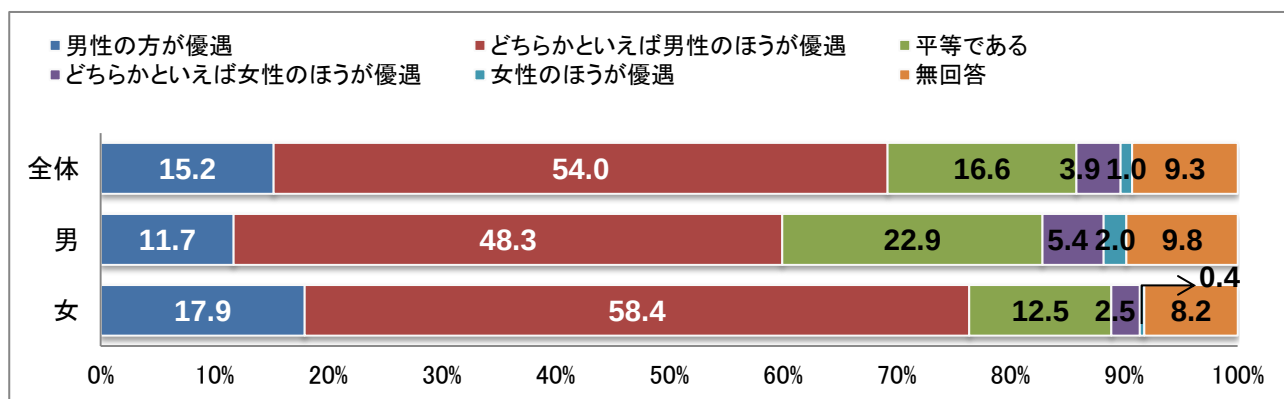
男女別では、大きな違いは見られませんでした。

年代別では、19.4%から33.3%とバラつきがあり、全ての年代で知らなかった割合が6割を超えています。

問⑬-2 あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

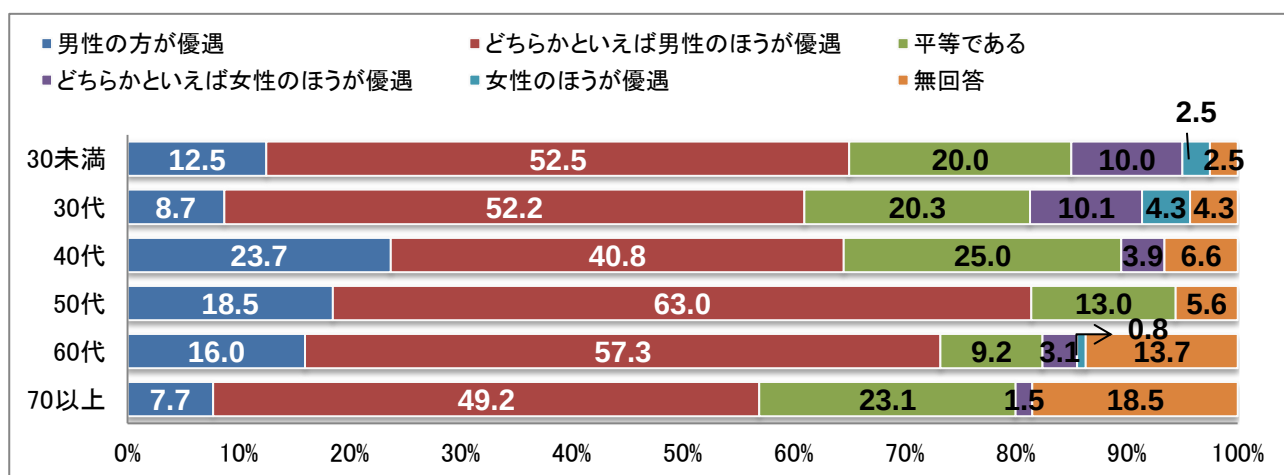
①全体／男女別

〔単位：％〕



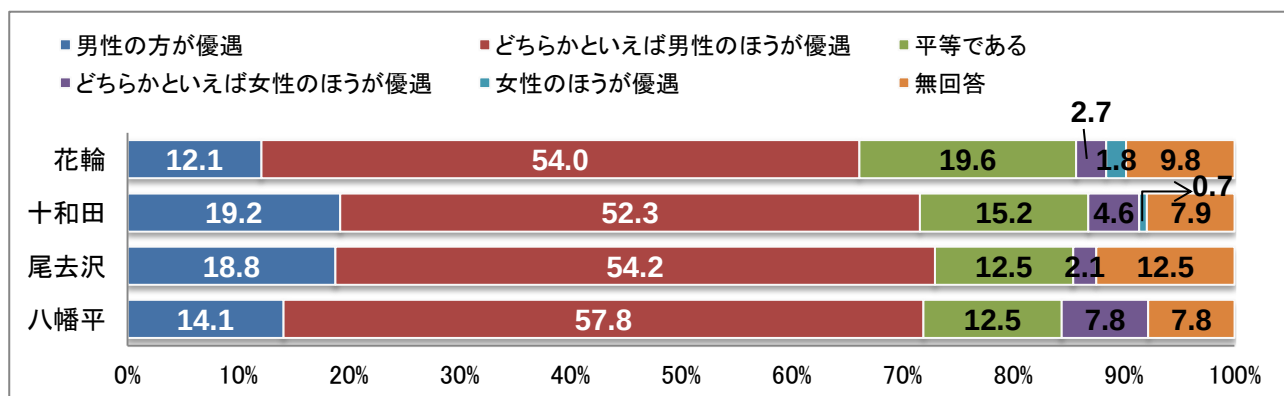
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

「男女の地位が平等である」と答えた方の割合は、16.6%と前年の調査（19.0%）と同様に少ない状況です。「男性が優遇されている」と答えた方は、「どちらかといえば男性が優遇されている」も含めると 69.2%と高い状況になっています。

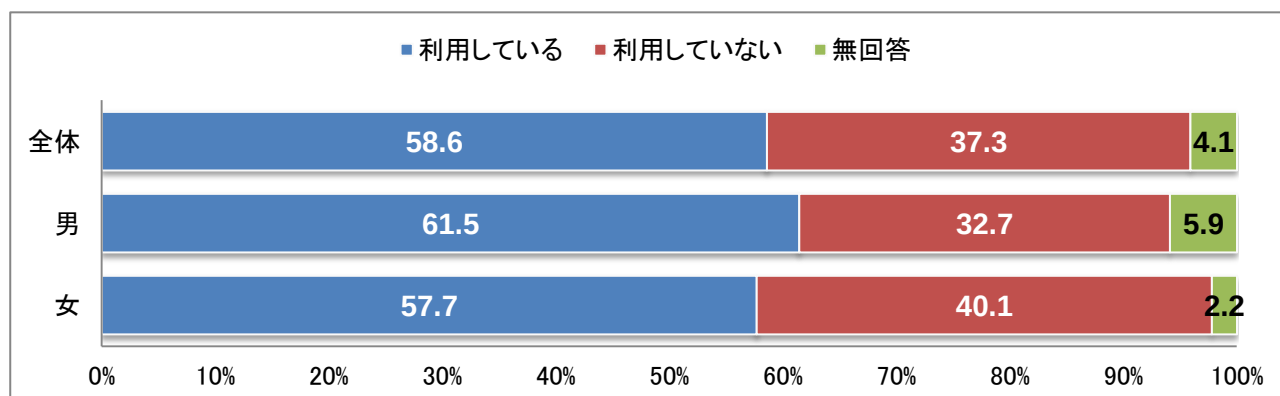
年代別でみると、30歳未満で「男女の地位が平等である」と答えた方が、20.0%と前年と比べて 14.4ポイント下回っていることから、若年層について男女共同参画に関する知識や学習機会の必要性が高いと考察されます。

13 地域情報化について

設問⑭ あなたはインターネットを利用していますか。

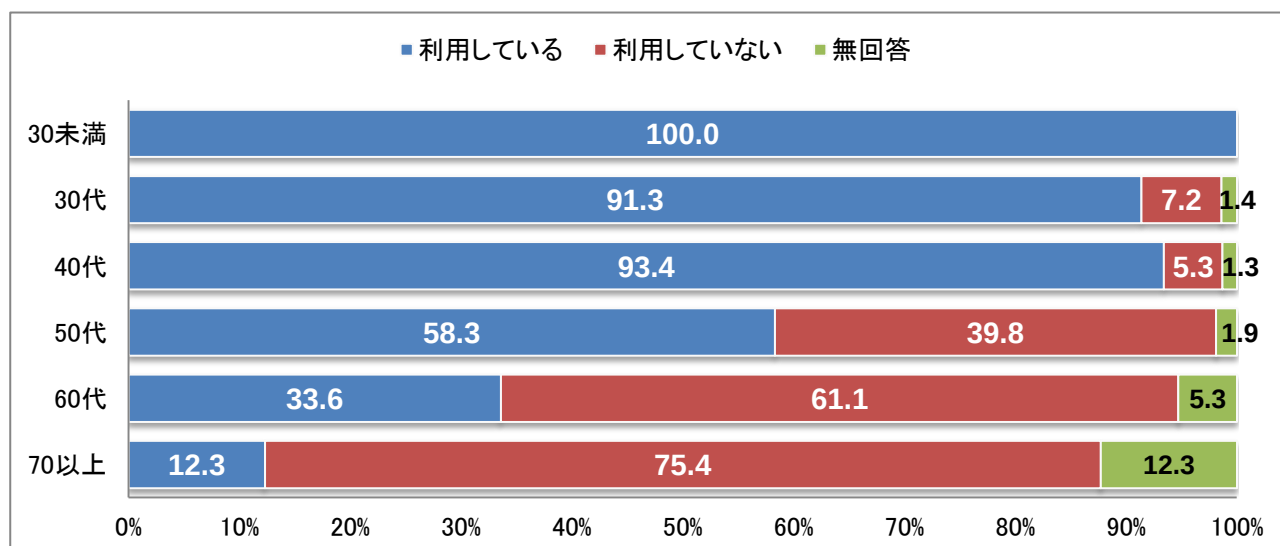
①全体／男女別

〔単位：％〕



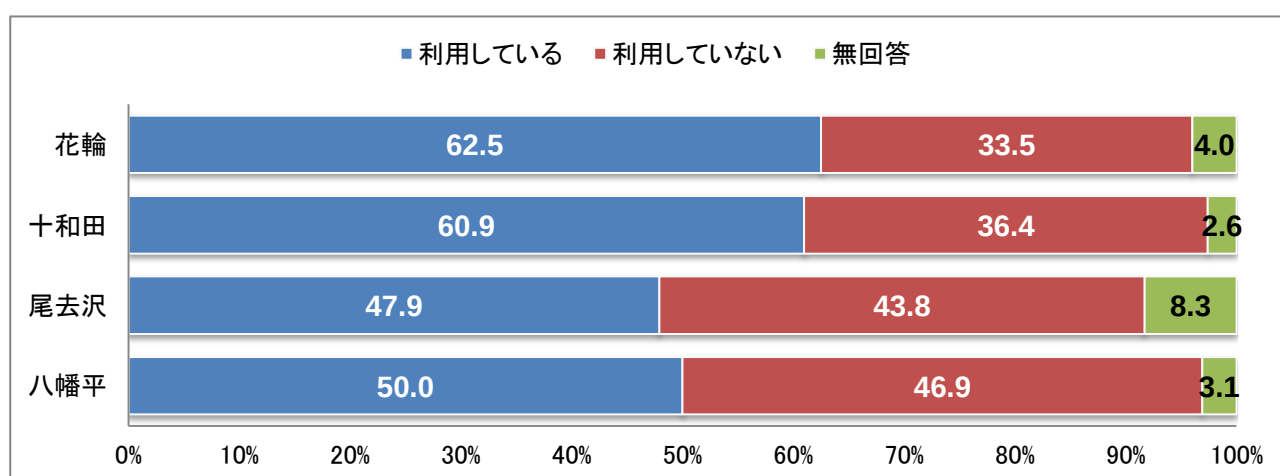
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

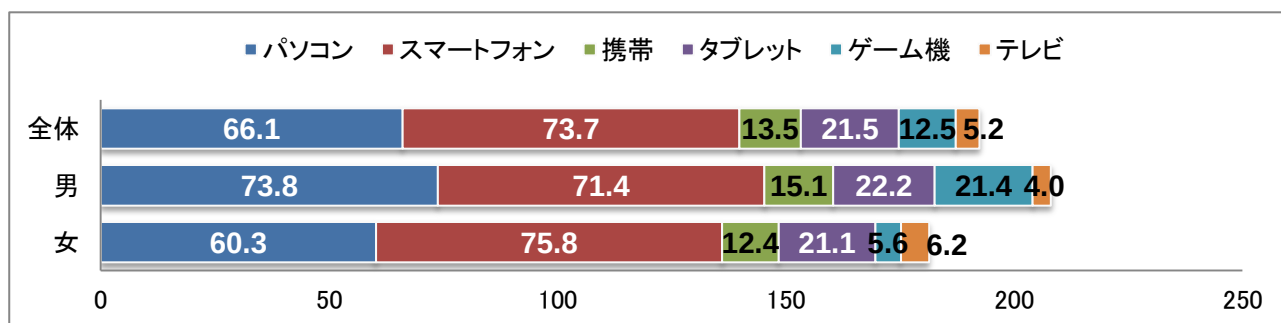
〔単位：％〕



◆利用している場合の利用機器（すべて回答）

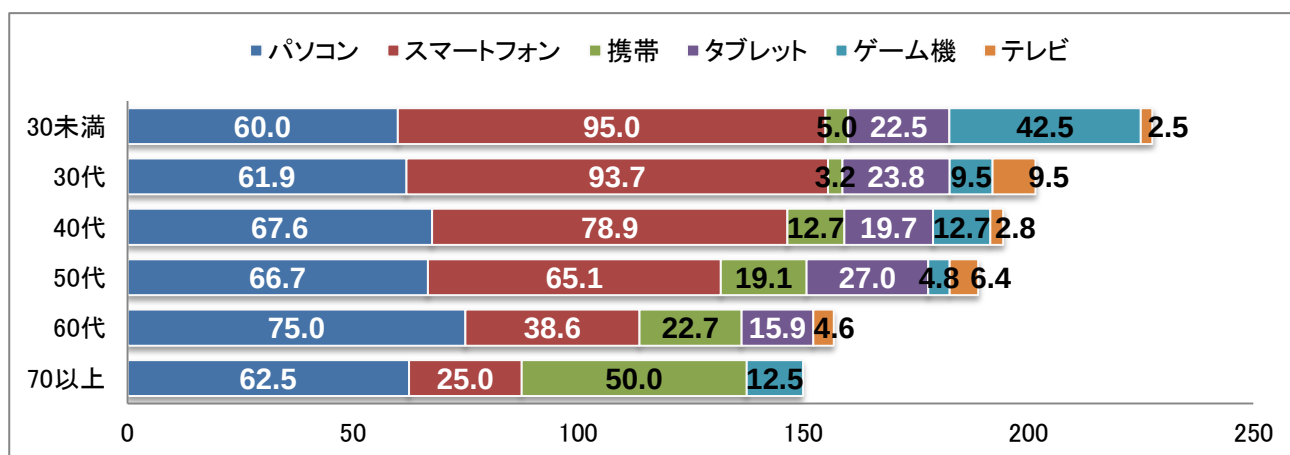
①全体／男女別

〔単位：％〕



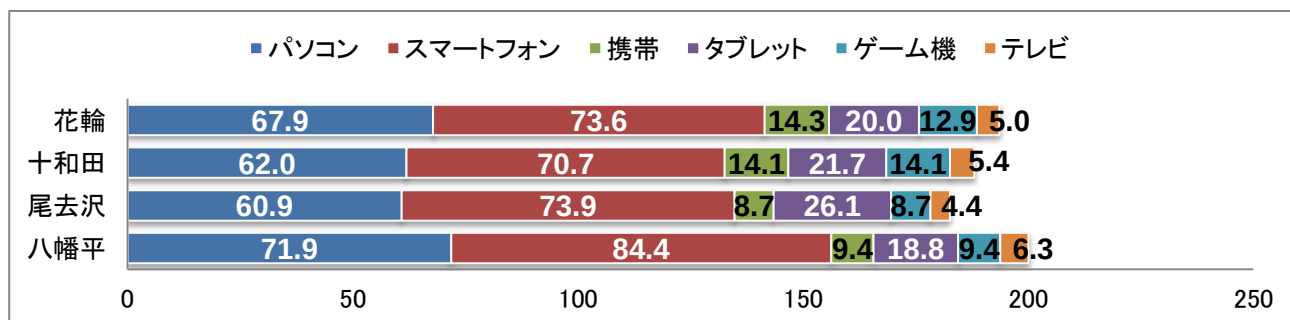
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

インターネットを利用しているとの回答は全体で 58.6% となっており、これを年代別でみると、30 歳未満で 10 割、30 代及び 40 代で 9 割強、50 代で 6 割弱の方が利用していますが、60 代以上では 4 割を下回る状況となっています。

また、利用機器は、スマートフォンが前年から 20.6 ポイント、タブレットは 7.3 ポイント高くなっています。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

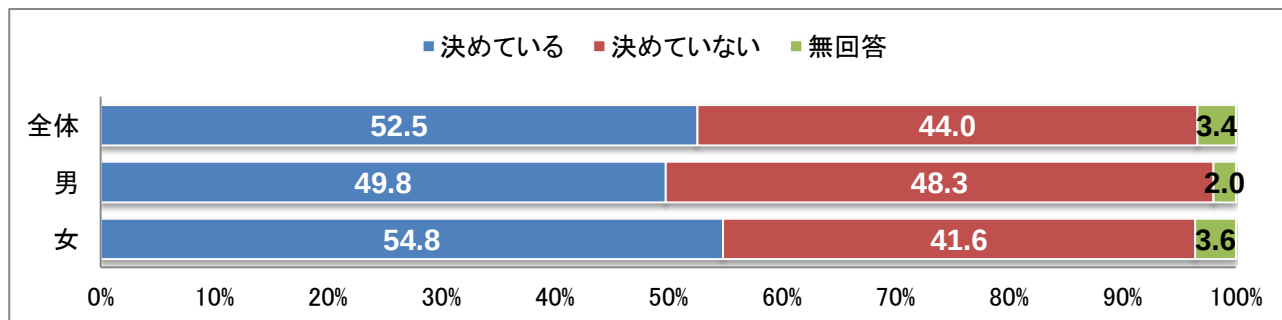
成果指標	基準値	実績値 (H27)	目標値 (H27)
インターネット人口普及率	53.9%	58.6%	60.0%

14 地域医療について

問15-1 あなたは、「かかりつけ医（歯科医を除く、検診及び予防接種を含む）」を決めていますか。
「かかりつけ医」とは、特定の病気の専門医ではなく、日頃からちょっとした病気のときに、決まって診てもらっているお医者さんのことです。

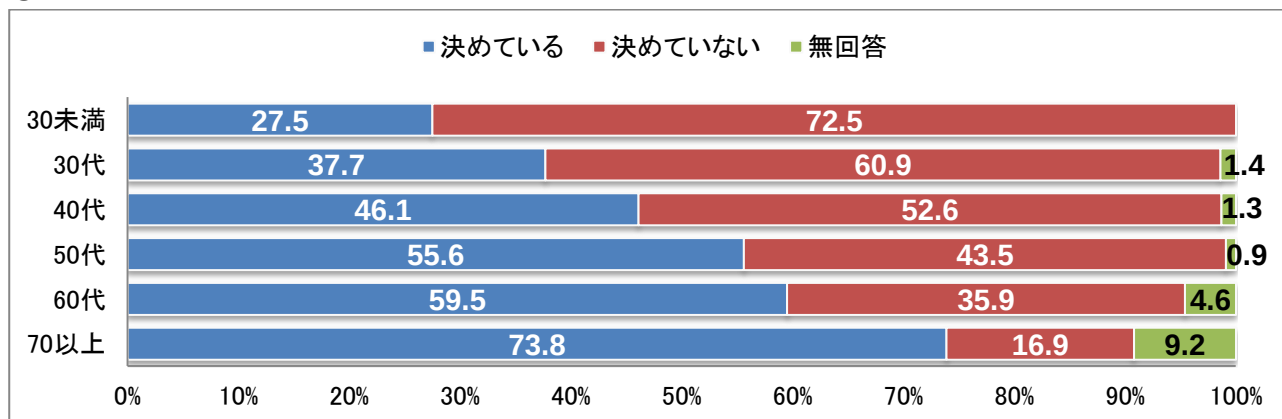
①全体／男女別

〔単位：％〕



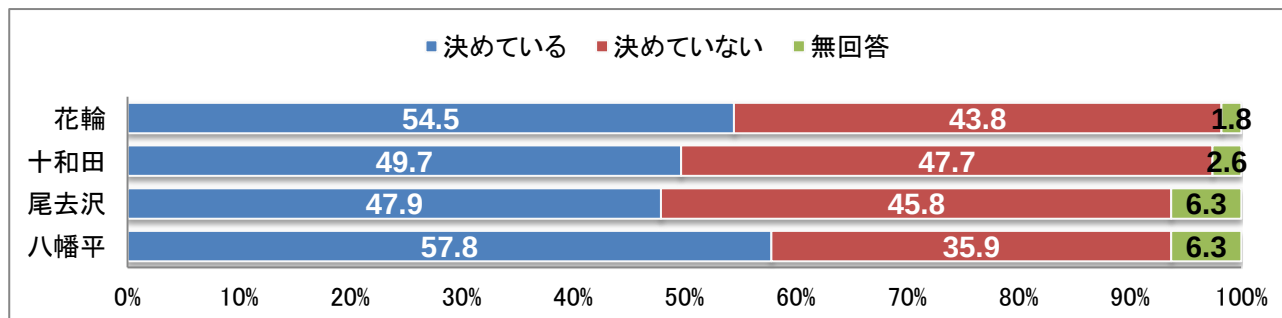
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

かかりつけ医を「決めている」と回答した方は 52.5%と過半数を超えており、ある程度浸透しているものの、前年より 13.3%減となりました。

男女別では、男性が 49.8%、女性が 57.8%となっており、女性の方がかかりつけ医を活用して健康管理をするという意識が高いものと考えられます。

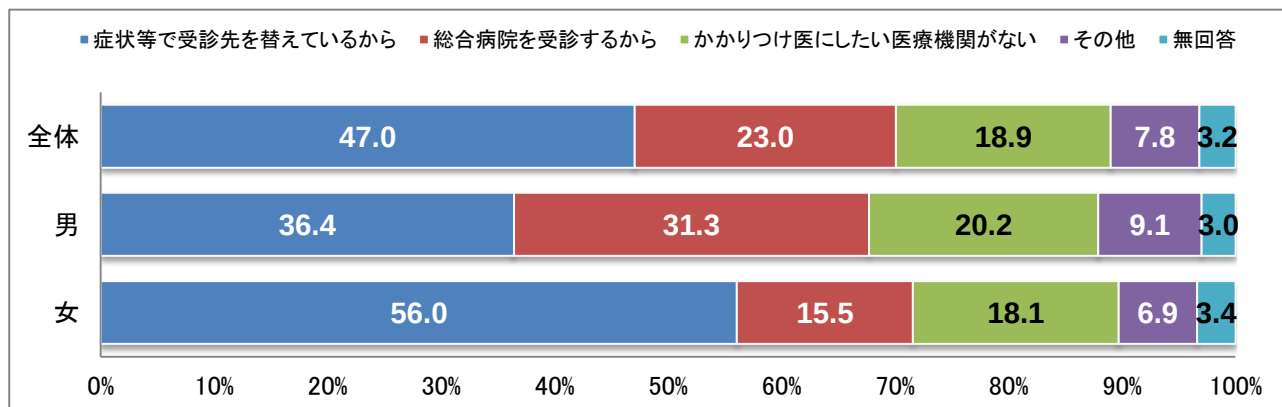
年代別では、加齢とともにかかりつけ医を決めている割合が高くなる傾向が見られ、70 歳以上では 73.8%、30 歳未満では 27.5%と、年代によって大きく差が出る結果となりました。

地域別では、最も低い地区（尾去沢 47.9%）と最も高い地区（八幡平 57.8%）の間では 10 ポイント以上の差がありました。

問15-2 問15-1で「2. 決めていない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。

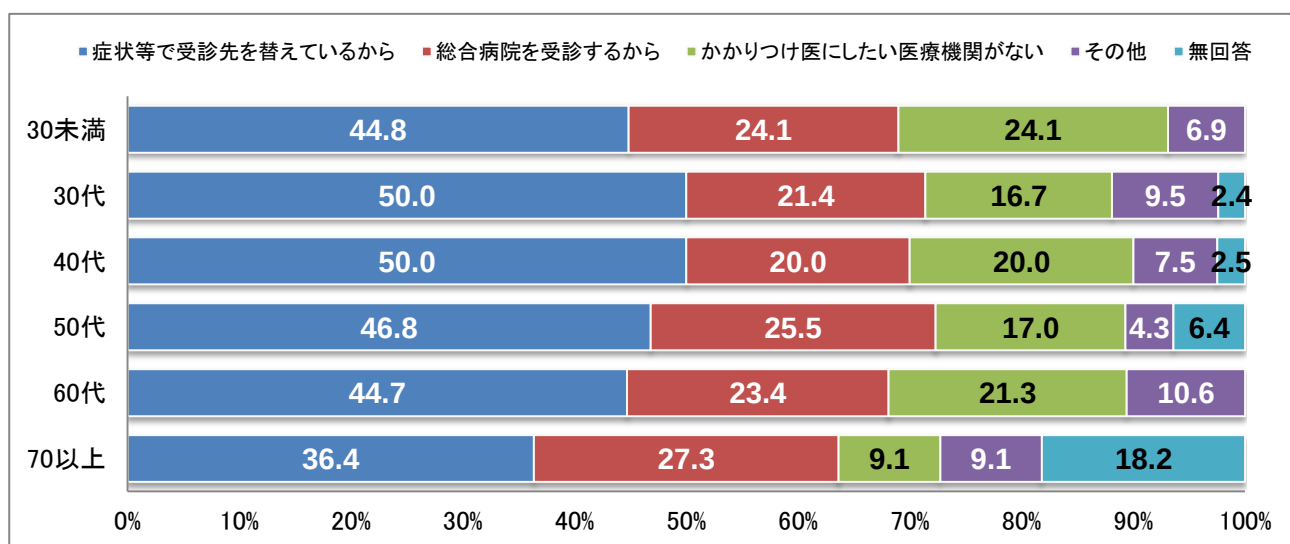
①全体／男女別

〔単位：％〕



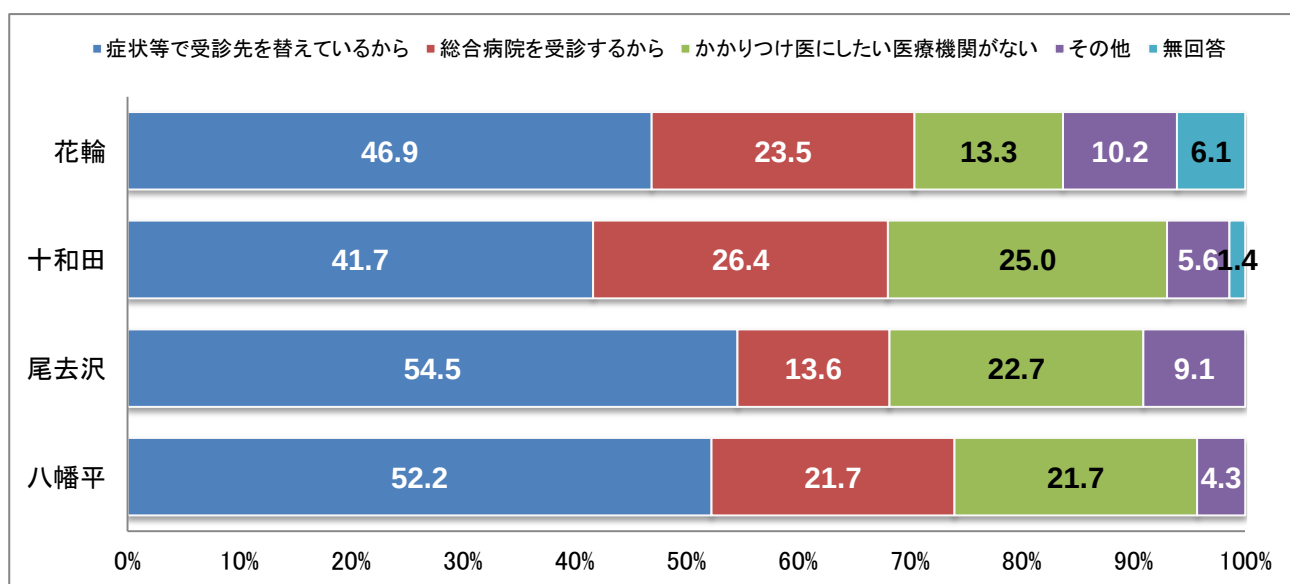
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

かかりつけ医を決めていない理由として、「症状等で受診先を替えている」と回答した方の割合が47.0%と最も高くなっています。女性は「症状等で受診先を替えている」と回答する方が56.0%と過半数を超えますが、男性は「症状等で受診先を替えている」(36.4%)と「病気になったら総合病院を受診する」(31.3%)という回答が拮抗するという結果になりました。

年代別では、70歳以上の方は「症状等で受診先を替えている」と回答する方の割合が低く(36.4%)なっていますが、その他の年代では大きな差は見られません。

その他の意見としては、「病気にならないので病院に行かない」という趣旨の意見が多くなっています。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

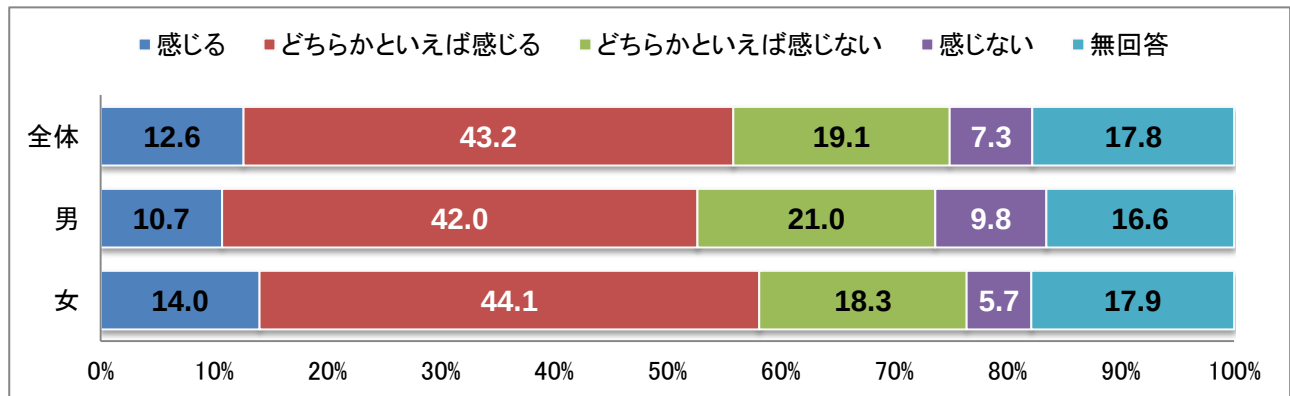
成果指標	基準値	実績値 (H27)	目標値 (H27)
かかりつけ医を持っている市民の割合	64.1%	52.5%	65.0%

15 子育て支援について

設問⑯-1 あなたは鹿角市が子育てしやすいまちだと感じますか。

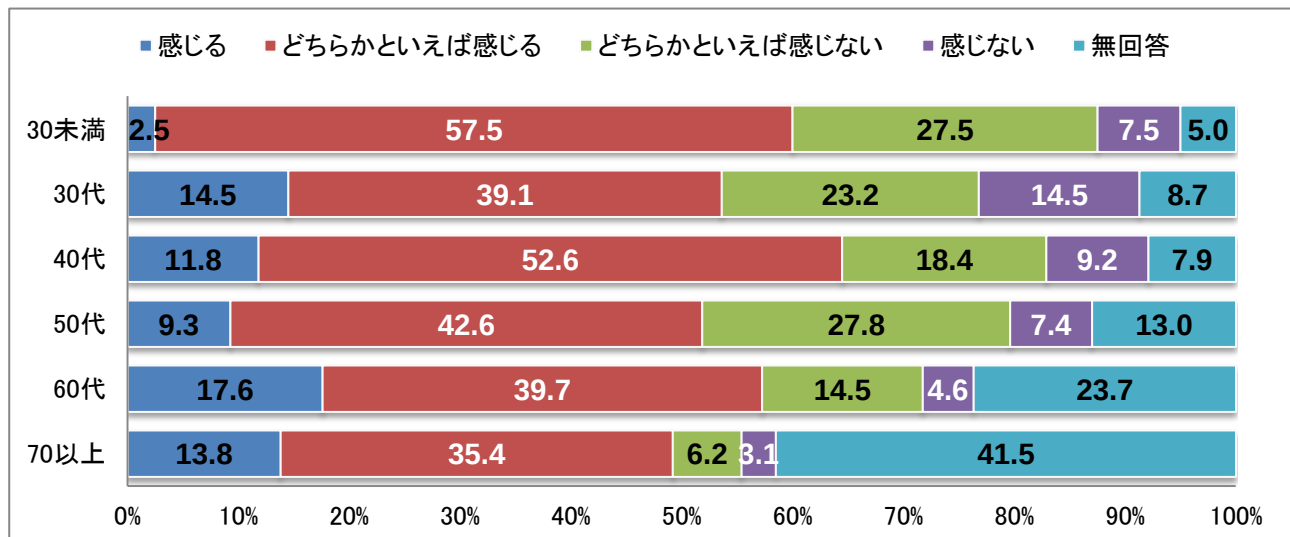
①全体／男女別

〔単位：％〕



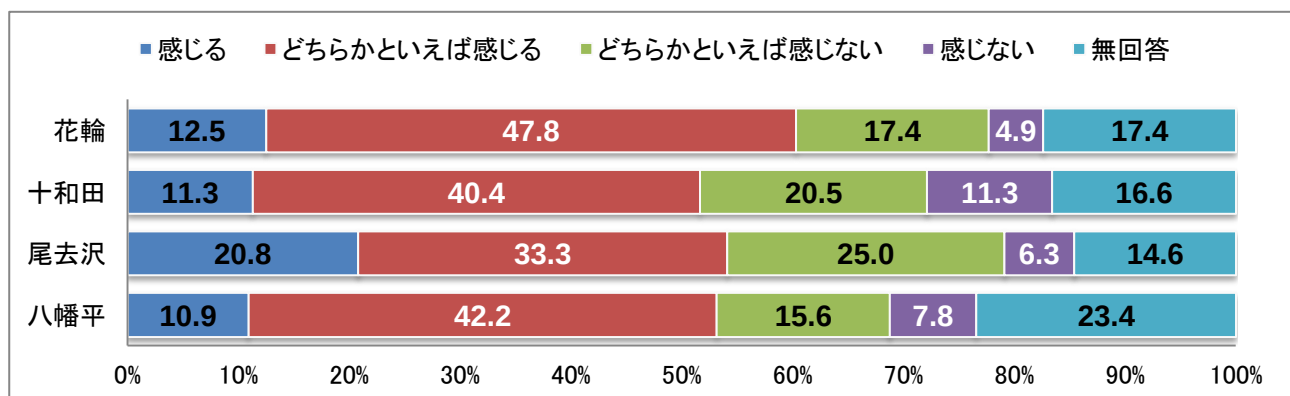
②年代別

〔単位：％〕



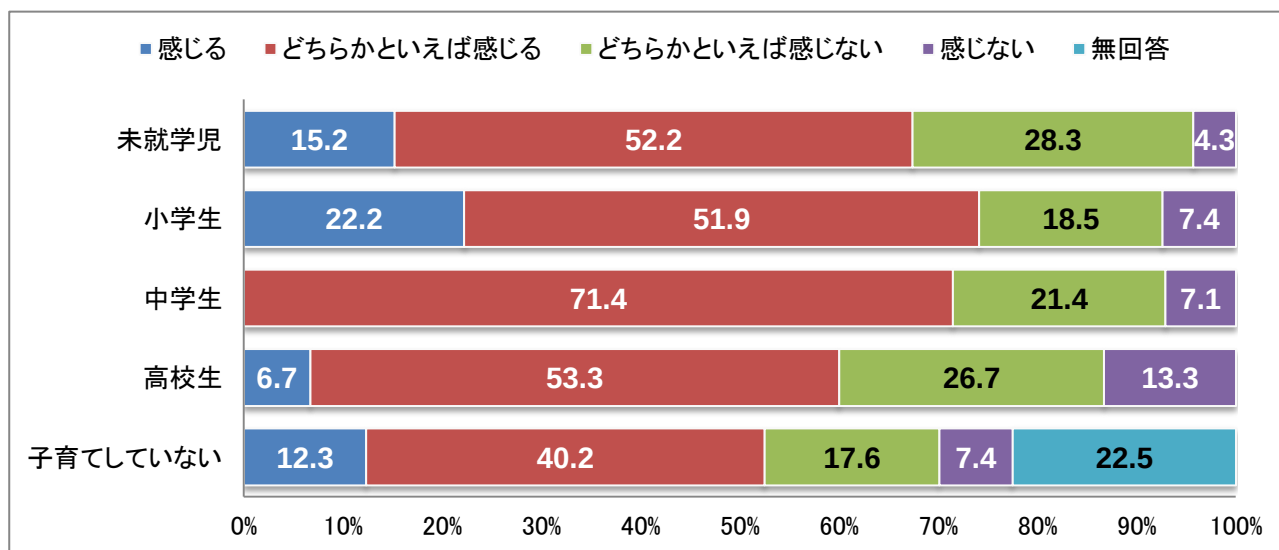
③地区別

〔単位：％〕



④子育て区分別

[単位：％]



⑤分析結果

子育てしやすいまちと「感じる」「どちらかといえば感じる」との肯定的な評価が 55.8%、否定的な評価となる「感じない」「どちらかといえば感じない」が 26.4%となり、肯定的評価が 29.4ポイント上回る結果となりました。

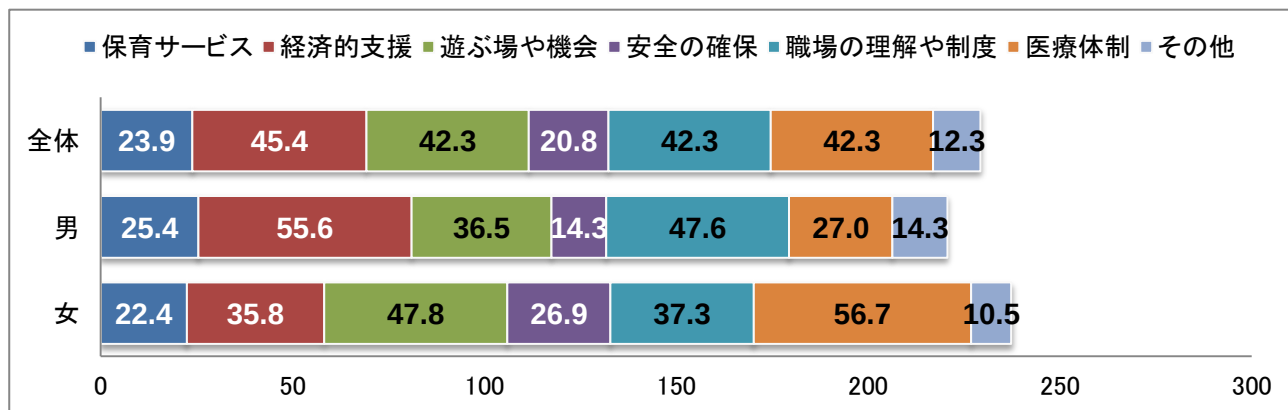
年代別では、70 歳以上を除く全ての年代から 50%を超える肯定的な評価を得ました。この他、男女別、地区別、子育て区分別でも子育てをしやすいとの評価が 50%を超えており、これまで行ってきた子育て支援策が着実に効果をあげてきたものと言えます。

子育て区分別では、未就学児・小学生・中学生の保護者の「子育てしやすいまちと感じる」と回答した割合が 7 割以上である一方、高校生ではこの割合が少し低い傾向を示しています。

設問⑩-2 設問⑩-1で「3. どちらかといえば感じない」、「4. 感じない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

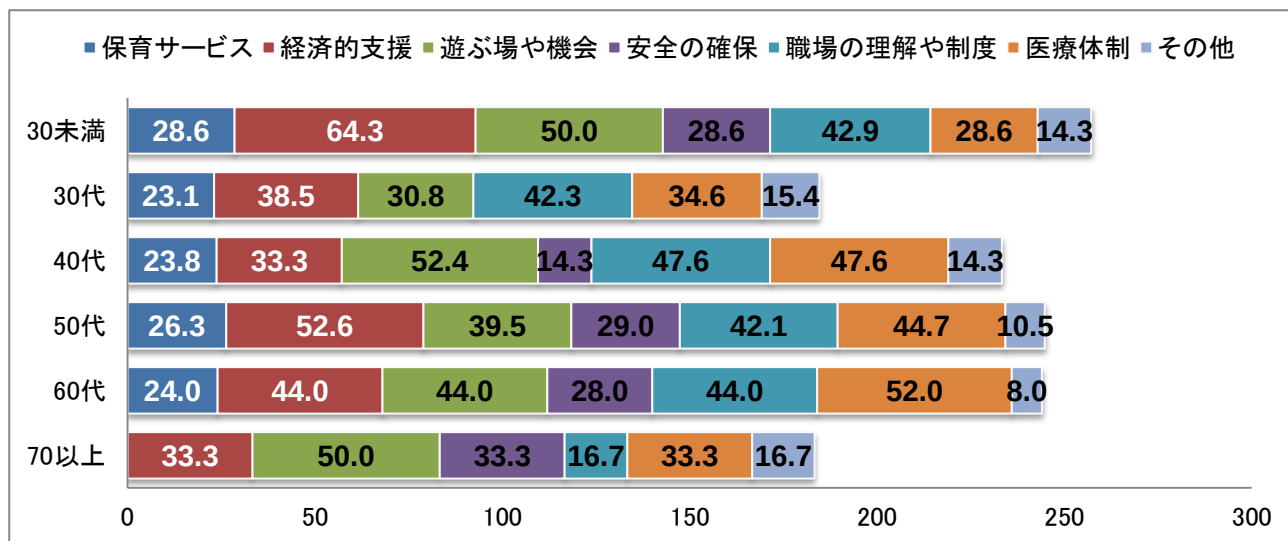
①全体／男女別

[単位：％]



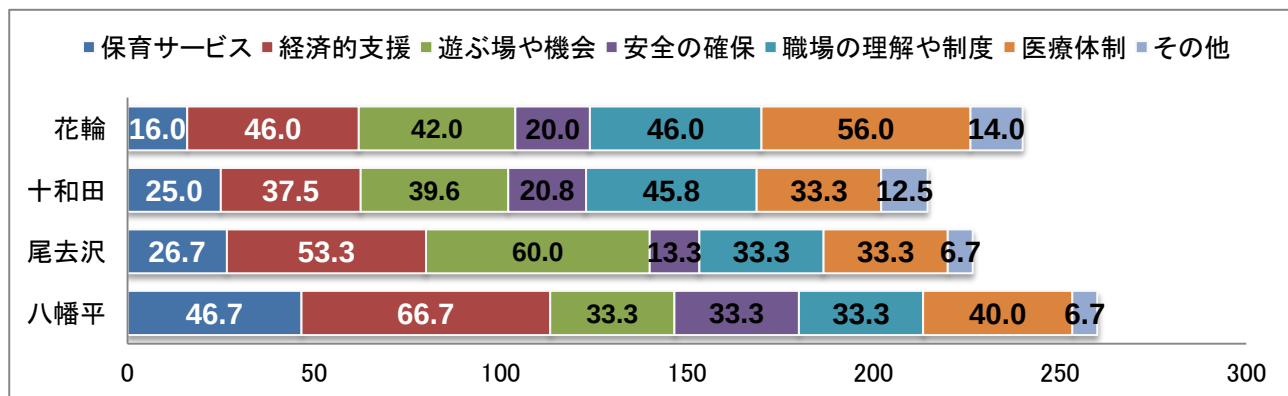
②年代別

[単位：％]



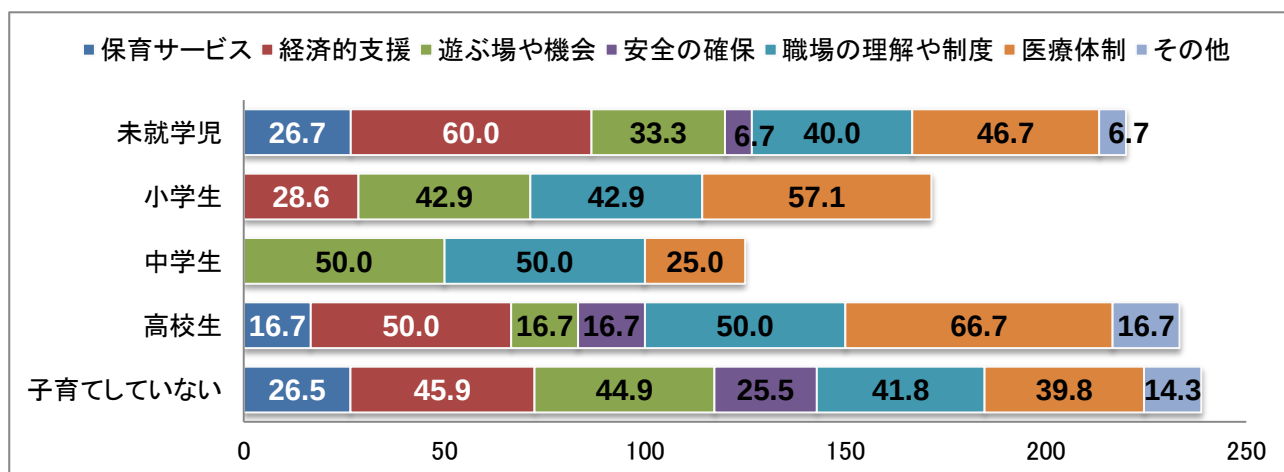
③地区別

[単位：％]



④子育て区分別

[単位：％]



⑤分析結果

子育てしやすいまちと「感じない」「どちらかと言えば感じない」と回答があった中で、その理由としては、多い順に「経済的支援」「遊ぶ場や機会」「職場の理解や制度」「医療体制」が挙げられています。

男女別でみると、男性では「経済的支援」「職場の理解や制度」が多く、女性では「医療体制」「遊ぶ場や機会」が多くなっています。

年代別でみると、「経済的支援」と答えた方の中では、子育て世代である30代、40代がそれほど高くない一方、30歳未満の割合が最も高く、結婚・出産に対する不安が表れているものと言えます。

地区別では尾去沢で「遊ぶ場や機会」、八幡平で「保育サービス」の割合が6割を超えており、地域で課題と思われているものがうかがえます。

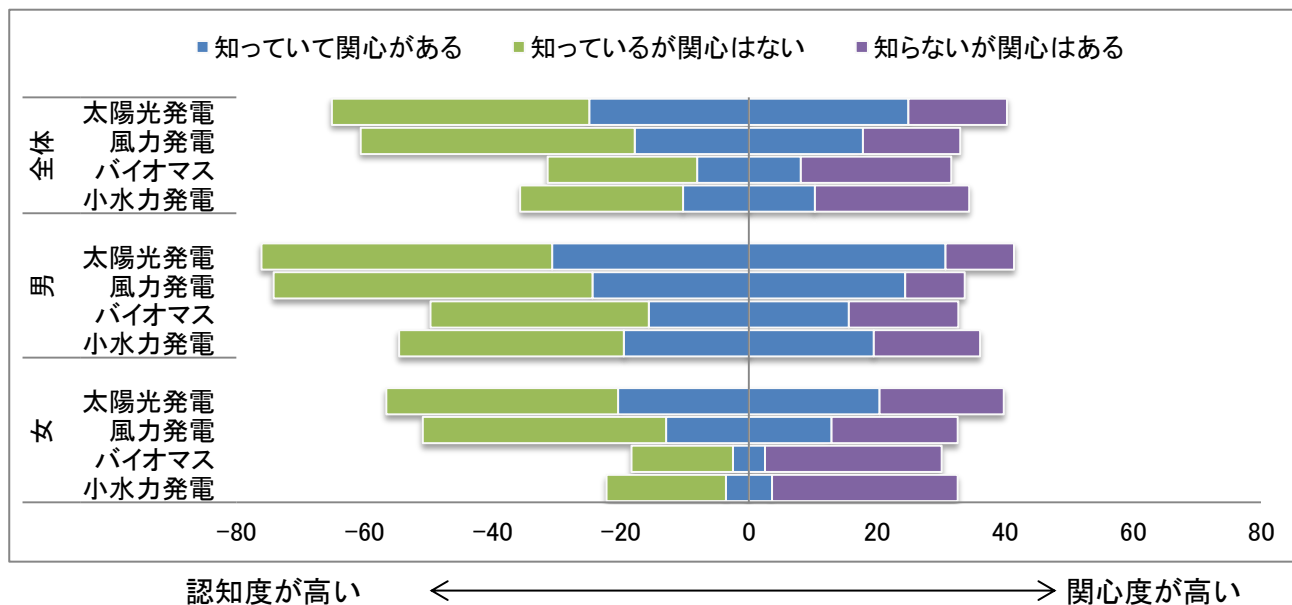
子育て支援については、子育て中の保護者から一定の評価はされているものの、子育てをしていない方々からも理解を得られるよう、結婚・子育て支援特別資金返済支援制度など、新たに拡充した各種子育て支援策のPRに努めていきます。

16 新エネルギーについて

問⑰-1 次の4つの新エネルギーについて、あなたはどの程度知っていますか、または関心がありますか。

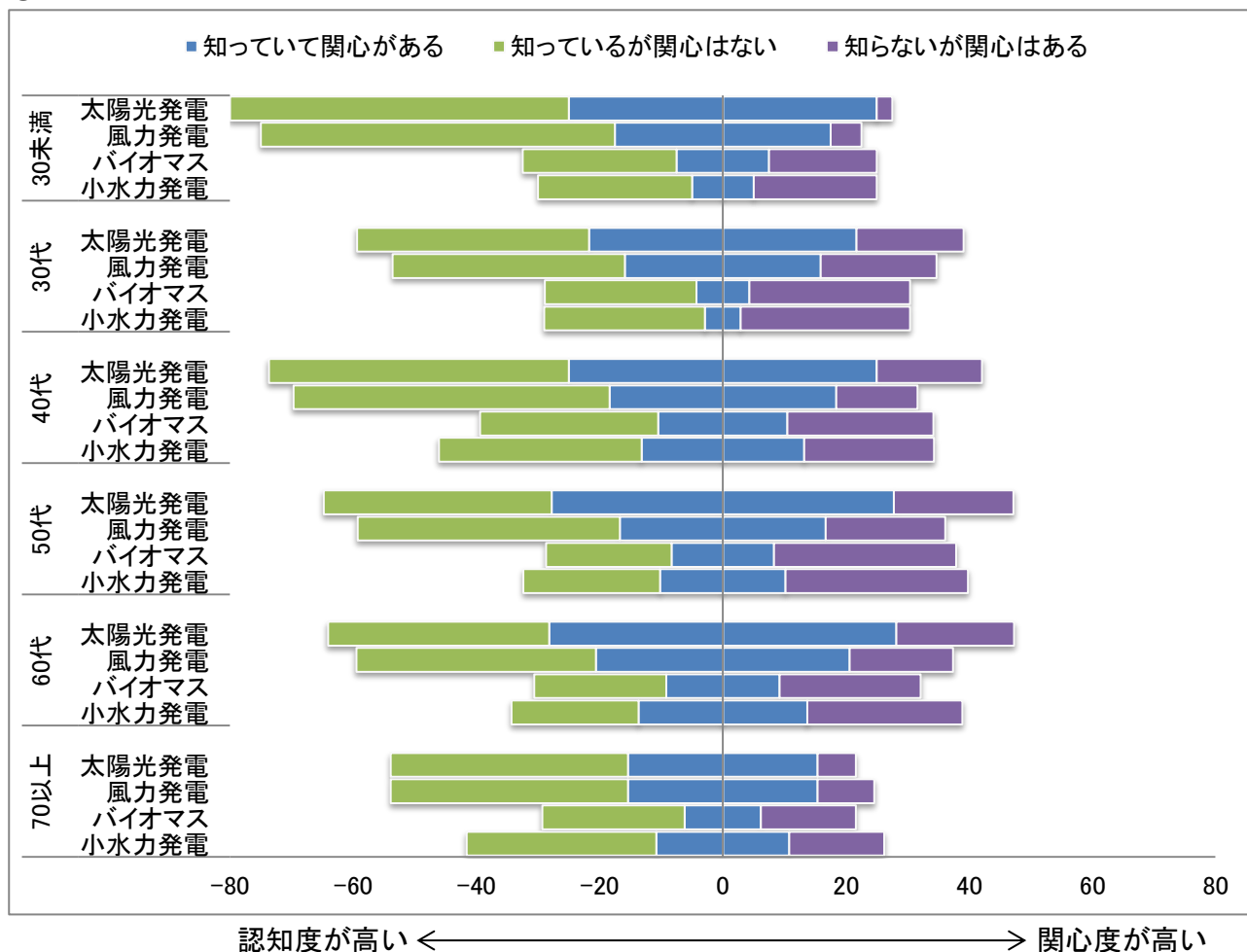
①全体/男女別

[単位：％]



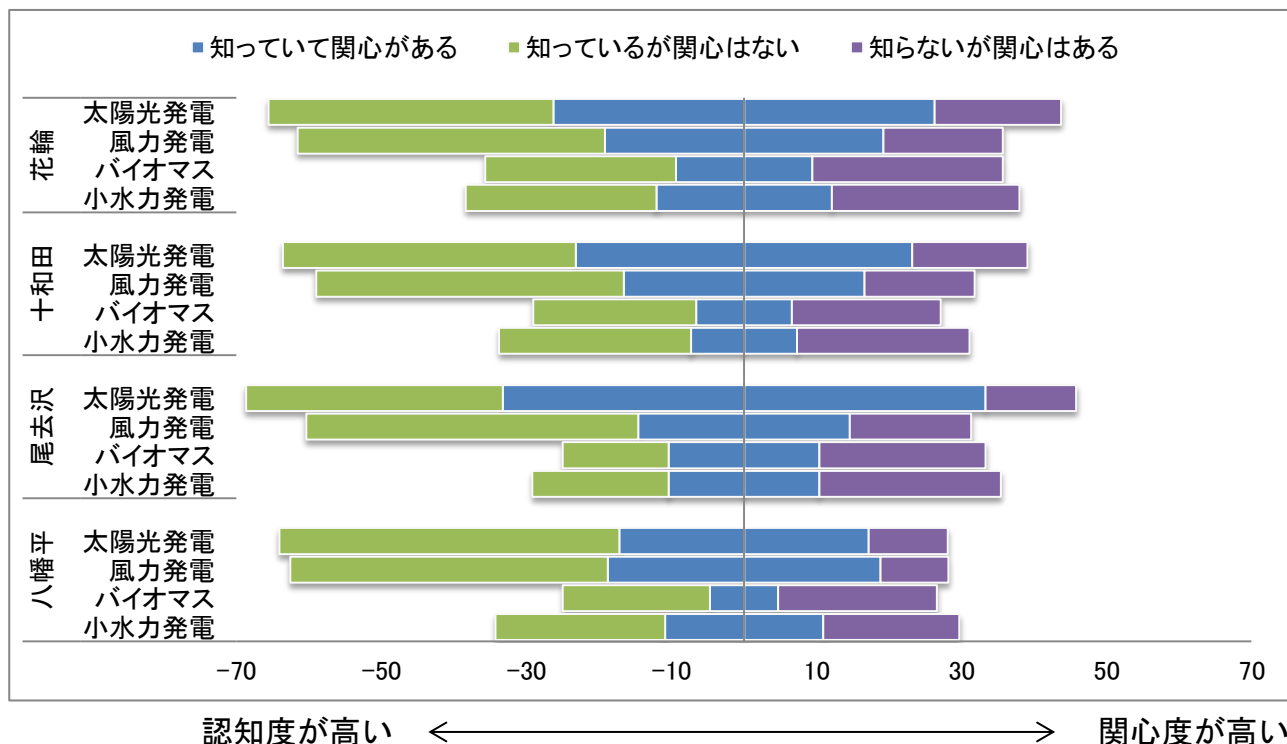
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

認知度、関心度ともに太陽光発電が高い割合を占め、風力、小水力と続き、バイオマスが最も低い割合となりました。また、太陽光と風力が6割超の認知度に対し、バイオマス、小水力は3割程度の認知度となりました。関心度は太陽光の4割を筆頭に3～4割となりました。

男女別では、どのエネルギーにおいても、男性の方が認知度が高い傾向となりましたが、関心度については、男女に差はありませんでした。

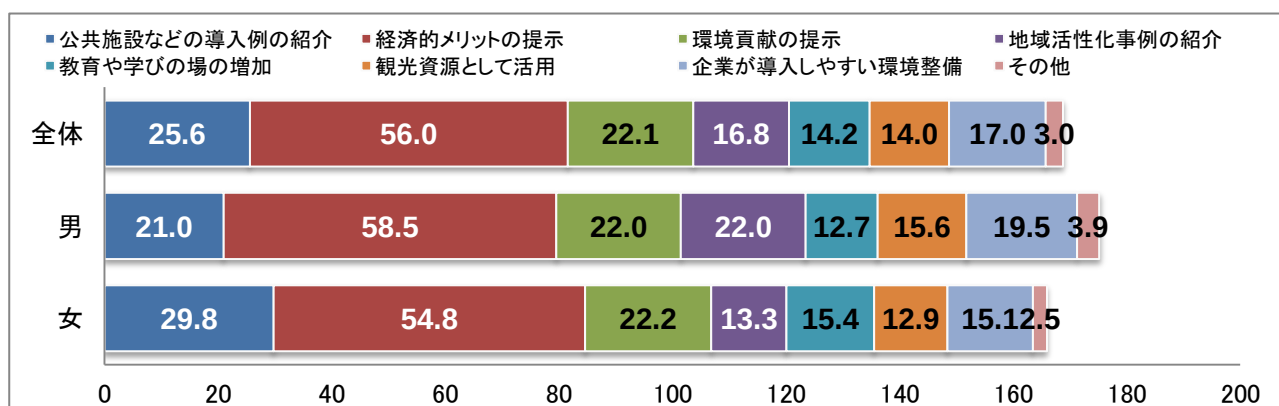
年代別には、40代が高い認知度を示しました。関心度は50代、60代に高い傾向が見られました。30歳以下については認知度は高いが関心度は低い傾向が見られました。

地区別では、大きな違いはありませんでした。

設問⑰-2 あなたは、今後どうすれば新エネルギーの普及が進むと思いますか。あてはまるもの2つに○をつけてください。

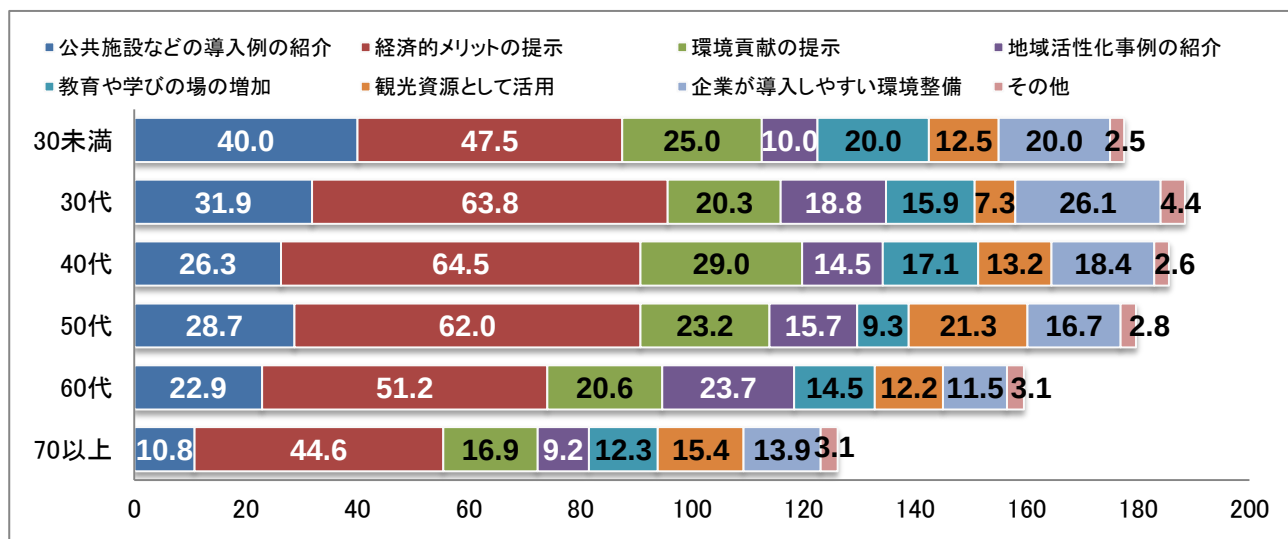
①全体／男女別

[単位：％]



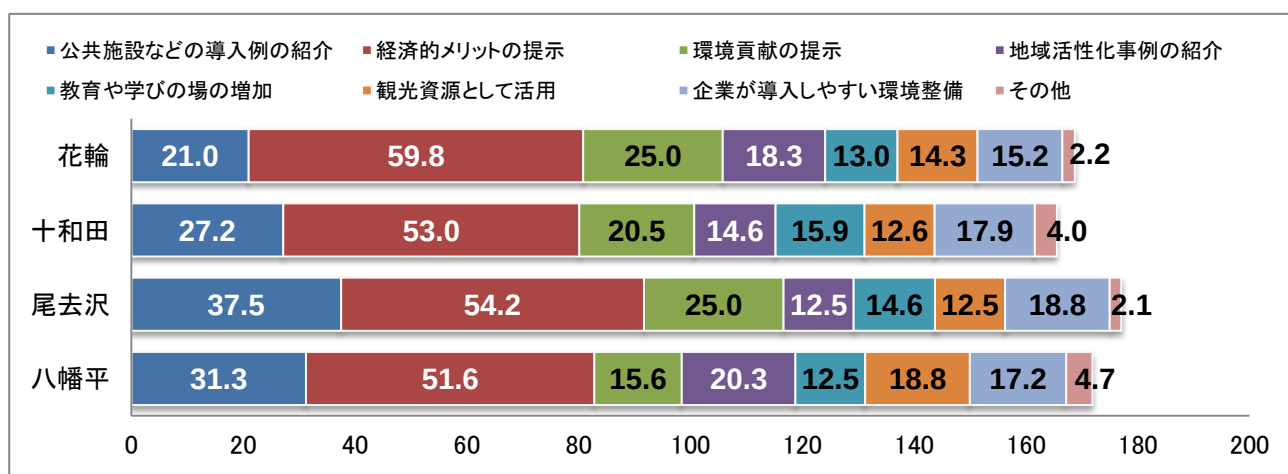
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

性別、年代、地区どの属性においても「経済的メリットの提示」が高い割合を占めました。

男女別では、男性が「地域活性化事例の紹介」が次点を占めたのに対し、女性は「公共施設などの導入例の紹介」が次点を占めました。

また、年代別では、30歳未満、30代において「公共施設などの導入例の紹介」「企業が導入しやすい環境整備」が多く選ばれているのに対し、40代は「環境貢献の提示」、50代は「観光資源として活用」、60代は「地域活性化事例の紹介」が多く選ばれていました。

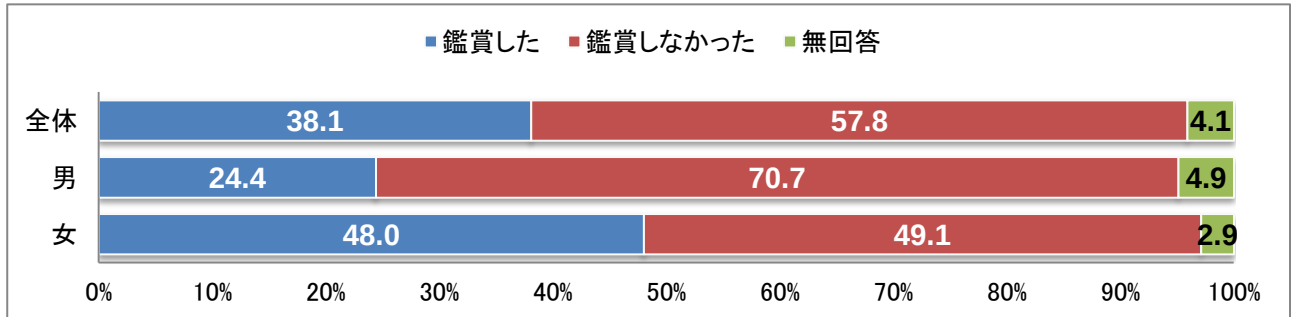
なお、「環境貢献の提示」についてはどの年代においても一定数（概ね20％）の支持を得ました。

17 コモッセの利用状況について

設問⑱-1 あなたは、昨年一年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

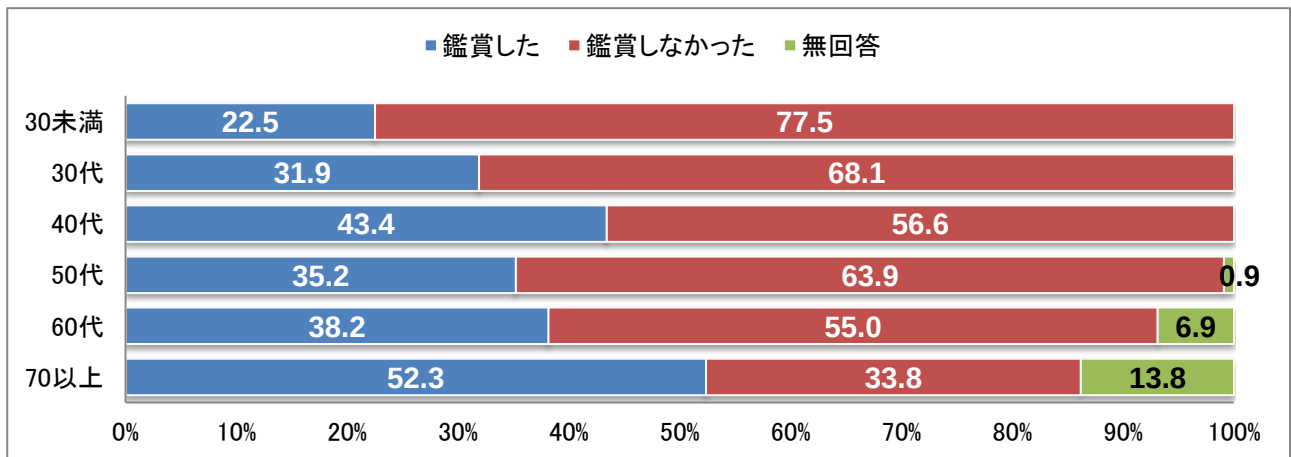
①全体／男女別

〔単位：％〕



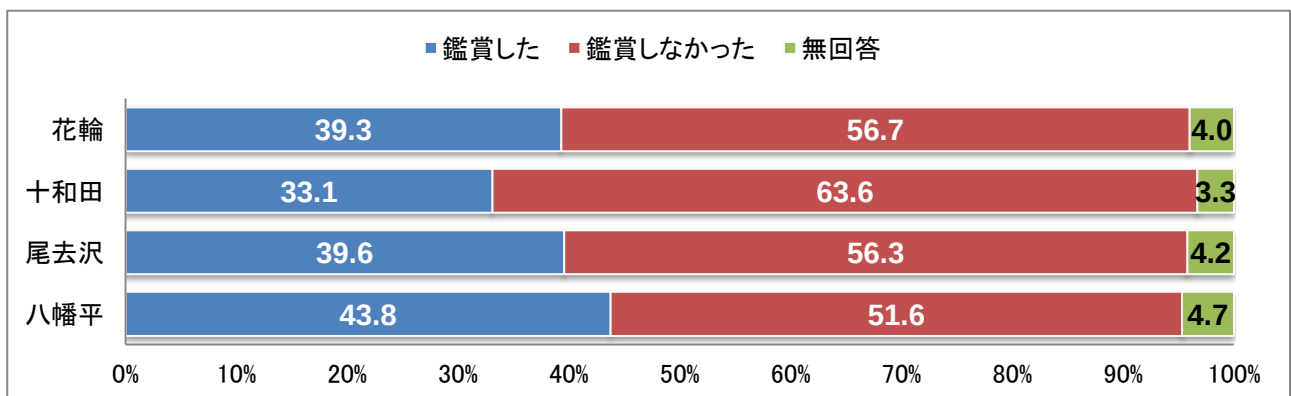
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

芸術鑑賞をした方が全体で 38.1％となっています。

男女別では、女性の鑑賞割合が男性を 23.6 ポイント上回っています。

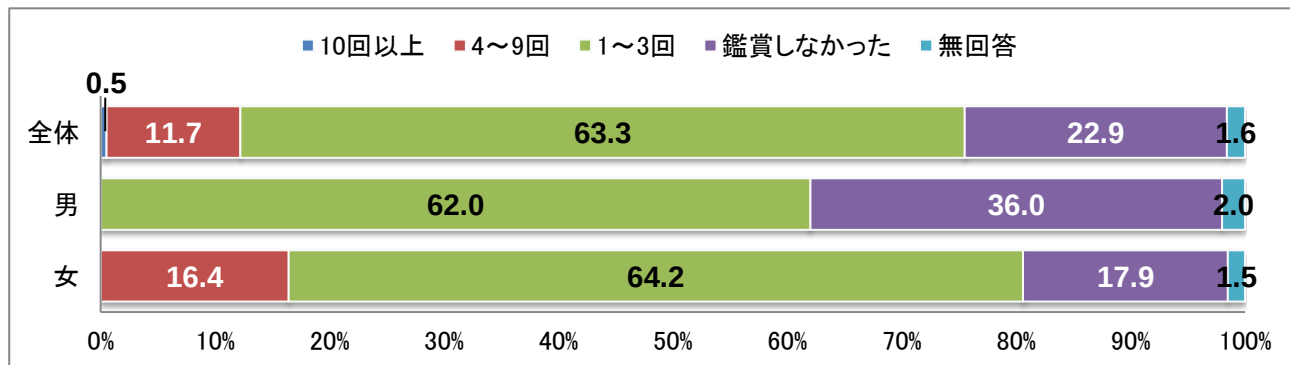
年代別では、70 歳以上の鑑賞割合が 52.3％と最も高くなっています。一方、60 代以下の鑑賞割合が概ね 30％台であり、特に 30 歳未満では 22.5％と 70 歳以上と比べ約 30 ポイント下回っています。

地区別では、他地区に比べ十和田地区が鑑賞した割合が若干低いものの、概ね近い割合で鑑賞されています。

設問⑱-2 設問⑱-1で「1. 鑑賞した」を選んだ方におたずねします。そのうちコモッセ文化ホールで開催されたコンサート等はどの程度鑑賞しましたか。

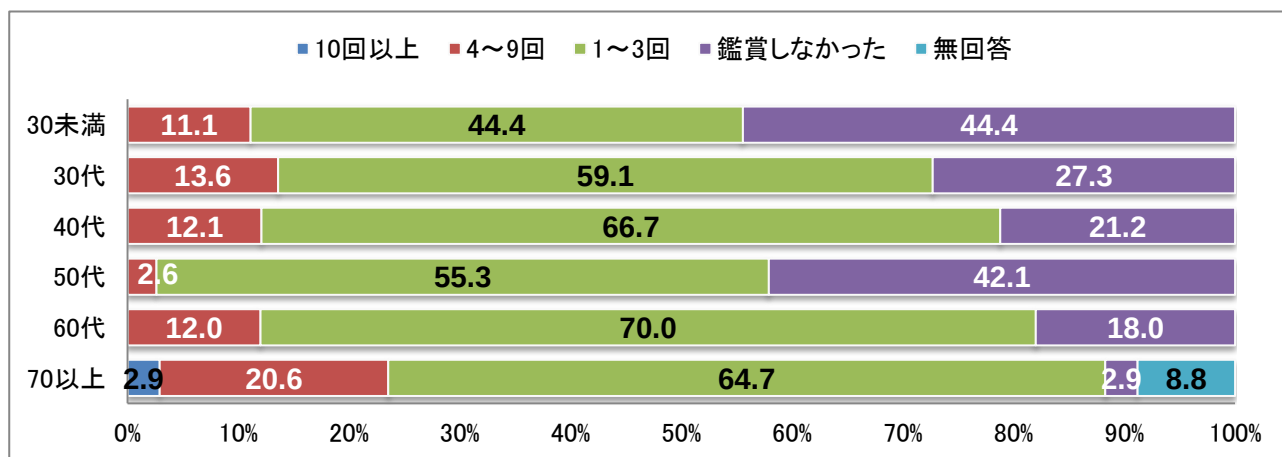
①全体／男女別

〔単位：％〕



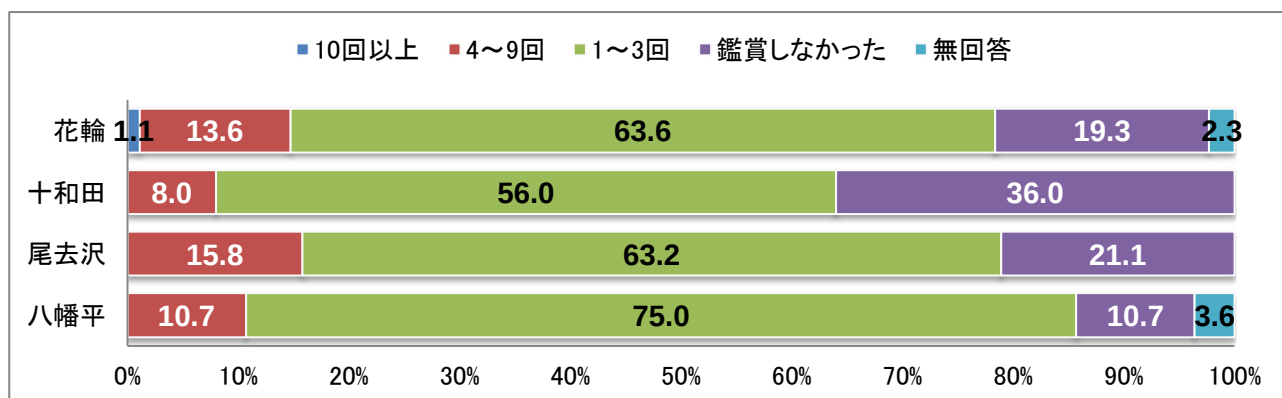
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

芸術鑑賞を行った方のうち、コモッセで1回以上鑑賞した方が75.5%となっており、コモッセの利用割合が高いことがわかります。

コモッセでの鑑賞回数は年3回までの割合が高くなっています。また、コモッセで鑑賞しなかった理由に、「見たいものがなかった」が多く挙げられています。

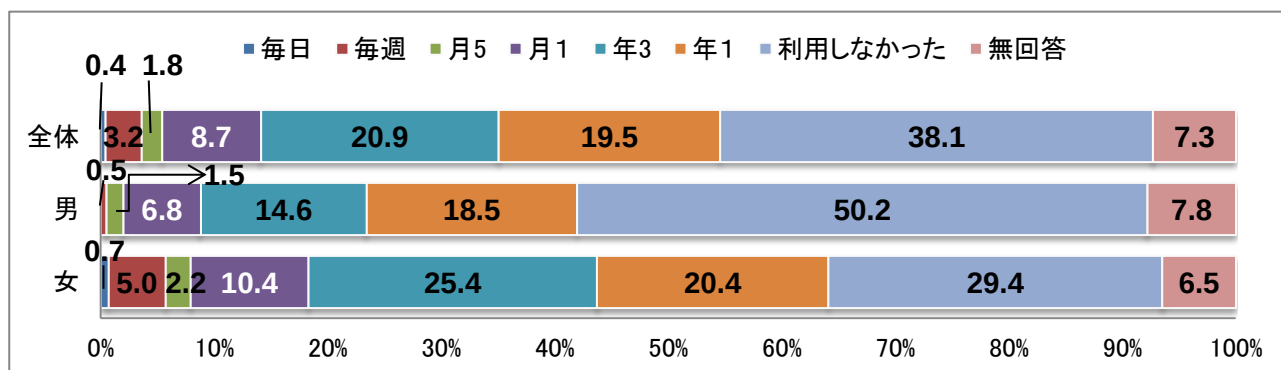
年代別では、コモッセで鑑賞しなかった割合は70歳以上の2.9%に対し、30歳未満では44.4%となっており、年代によって大きな差が見られます。

地区別では、十和田地区が他地区に比べコモッセで鑑賞しなかった割合が高くなっています。

設問⑱-3 あなたは昨年、コモッセをどの程度利用されましたか？

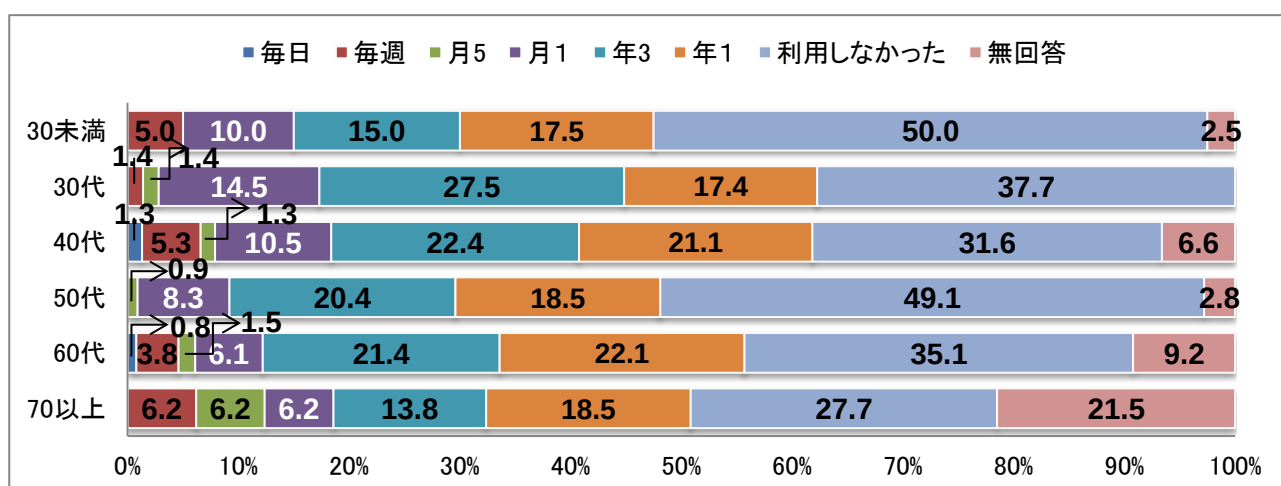
①全体／男女別

〔単位：％〕



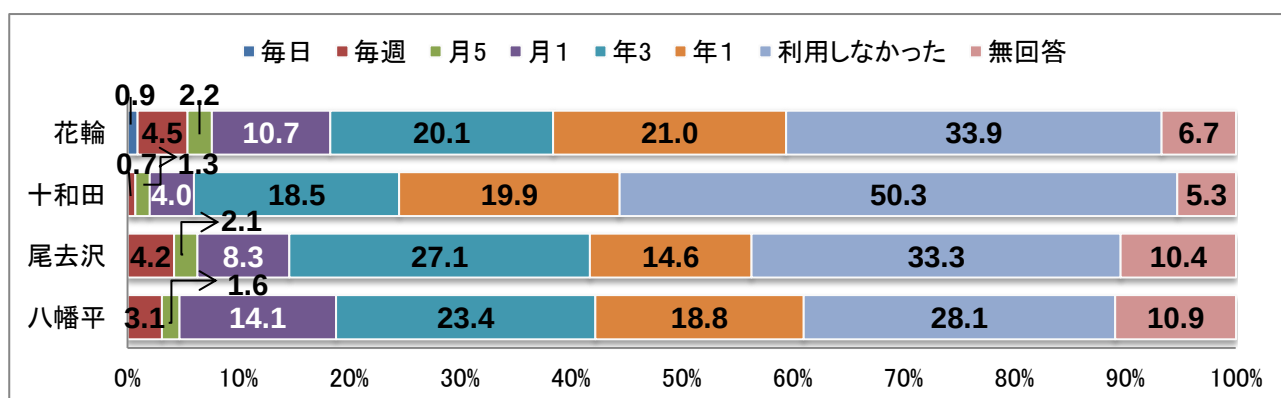
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

コモッセを利用した方の割合は54.5%で、利用回数は年3回未満の割合が19.5%となっています。

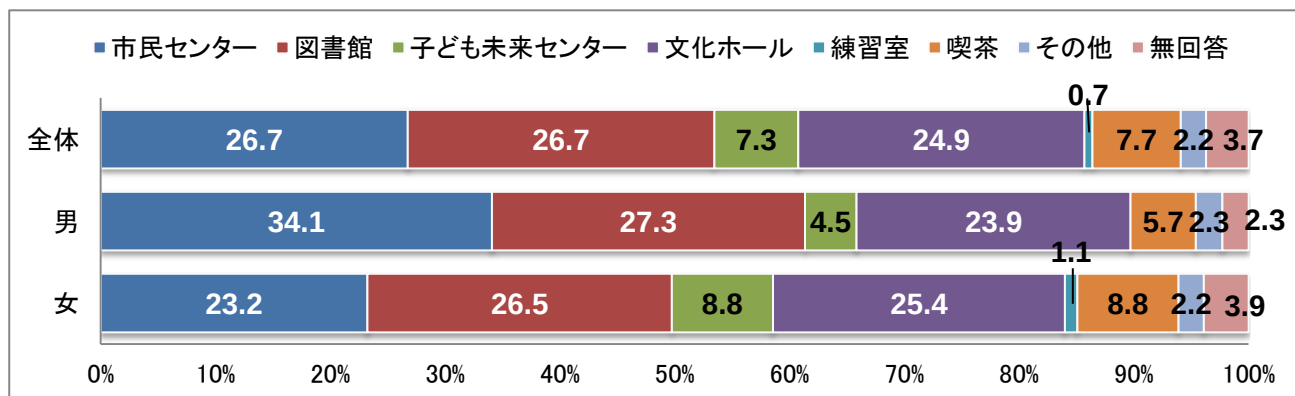
男女別では女性の利用割合が高く、定期的に利用しているグループなどでも女性団体が多い状況となっています。

地区別では、他地区に比べ十和田地区の利用割合が低くなっています。コモッセを利用しない理由として、「行く理由がない」が多く挙げられています。

設問⑱-4 設問⑱-3で1～6を選んだ方におたずねします。主な利用施設はなんですか。

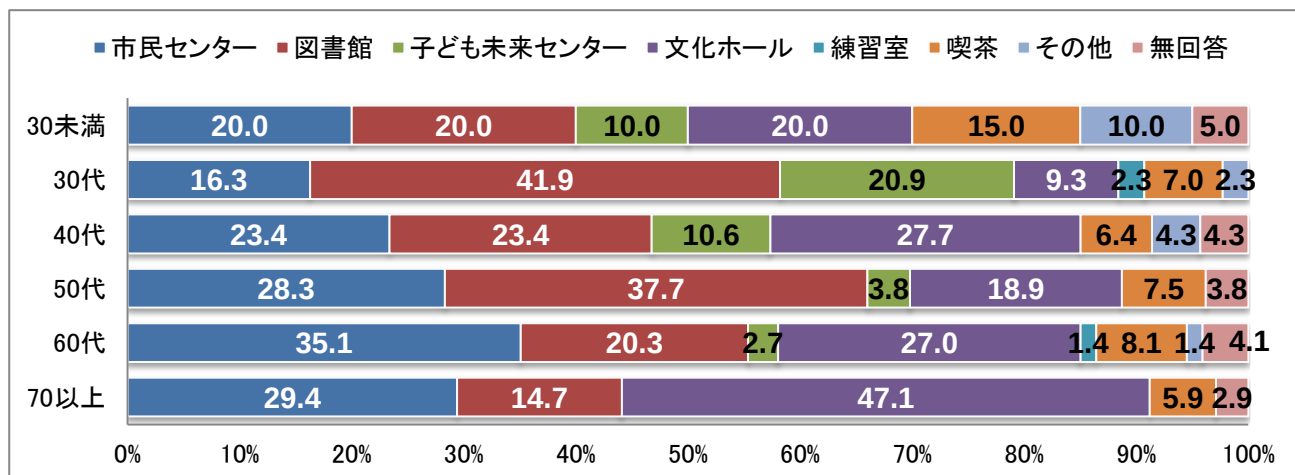
①全体/男女別

[単位：％]



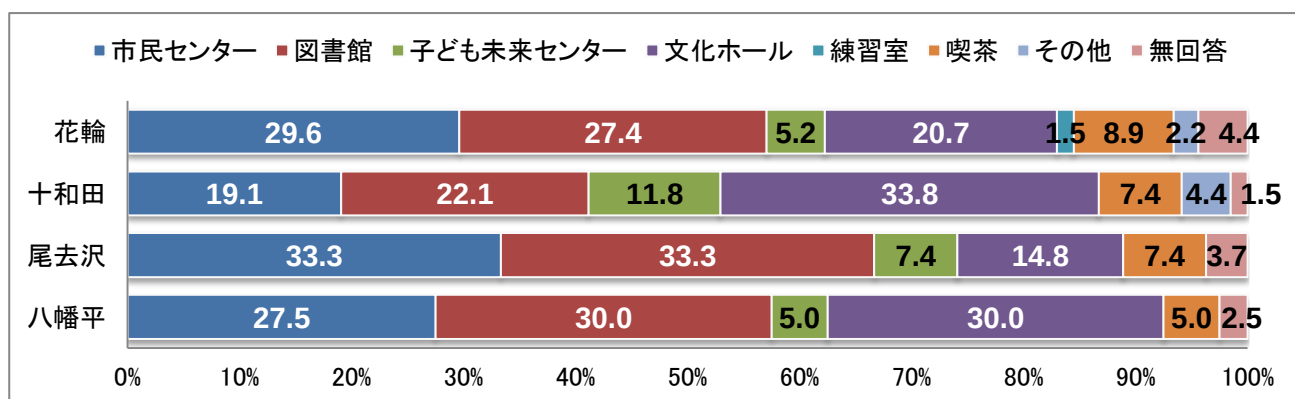
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

コモッセの主な利用施設の割合は、市民センターと図書館が 26.7%、文化ホールが 24.9%となっています。

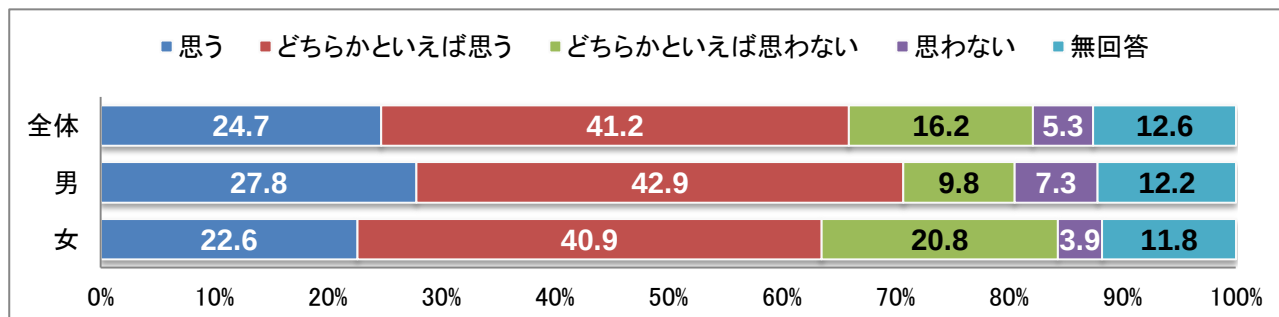
年代別では、30代で図書館と子ども未来センターの利用割合が高くなっています。また文化ホールの利用では、70歳以上の利用割合が高く、30代で低くなっています。年代により利用する施設に違いが見られますが、各年代から幅広く利用されていることから、様々な目的で利用される複合施設としての機能が発揮されていることがうかがえます。

18 移住について

設問⑱-1 あなたは、市外から来た移住者が地域活動に積極的に参加することで、地域は今より活性化すると思いますか。

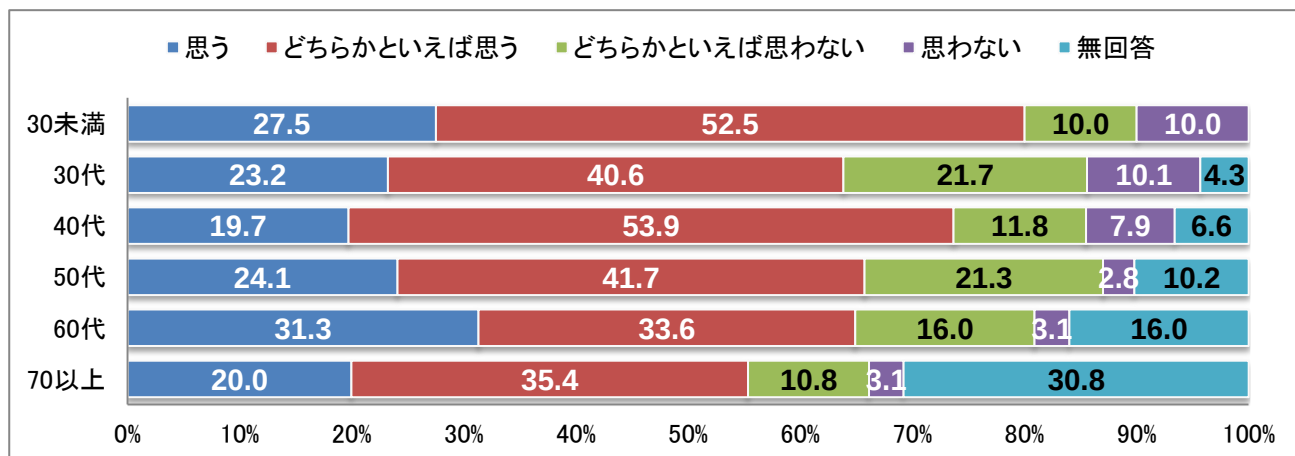
①全体／男女別

〔単位：％〕



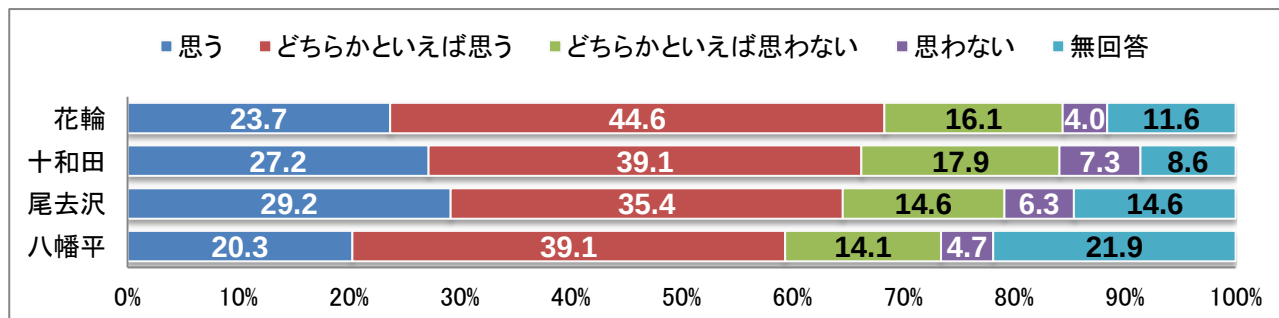
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

移住者との交流により新しい価値感や刺激が生まれるとして 65.9％の方が移住者が地域活動に参加することにより地域活性化が図られると考えていることがわかりました。

年代別にみると、30歳未満の 80.0％を筆頭に、若年層ほど好意的に捉えていることから、若者が移住してくることで新しい交流が生まれることを期待していると推測できます。

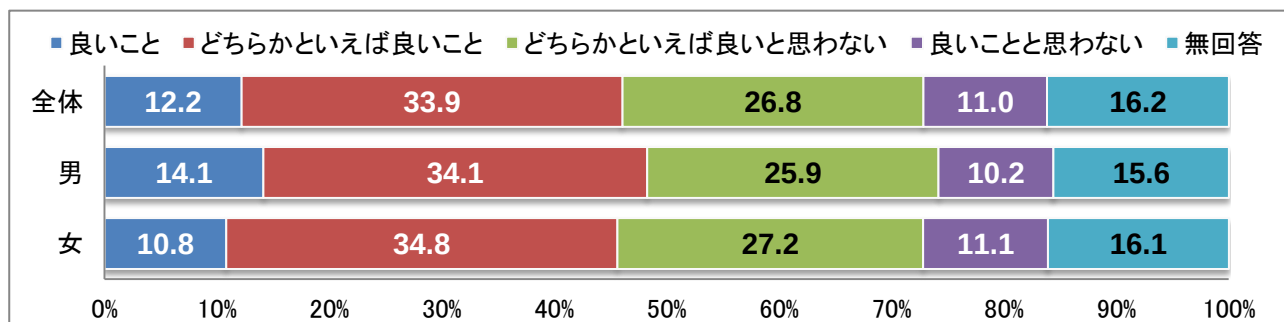
地区別にみると、「どちらかといえば思わない」「思わない」と答えた方は十和田地区が他地区と比べ若干多くなっています。

また、移住者が地域活動に参加しても地域活性化につながらない理由として、移住者との文化や価値観の違いや、少数では活性化につながらないなどが挙げられています。

設問⑨-2 あなたは、自分の地域に高齢者が移住してくることをどう思いますか。

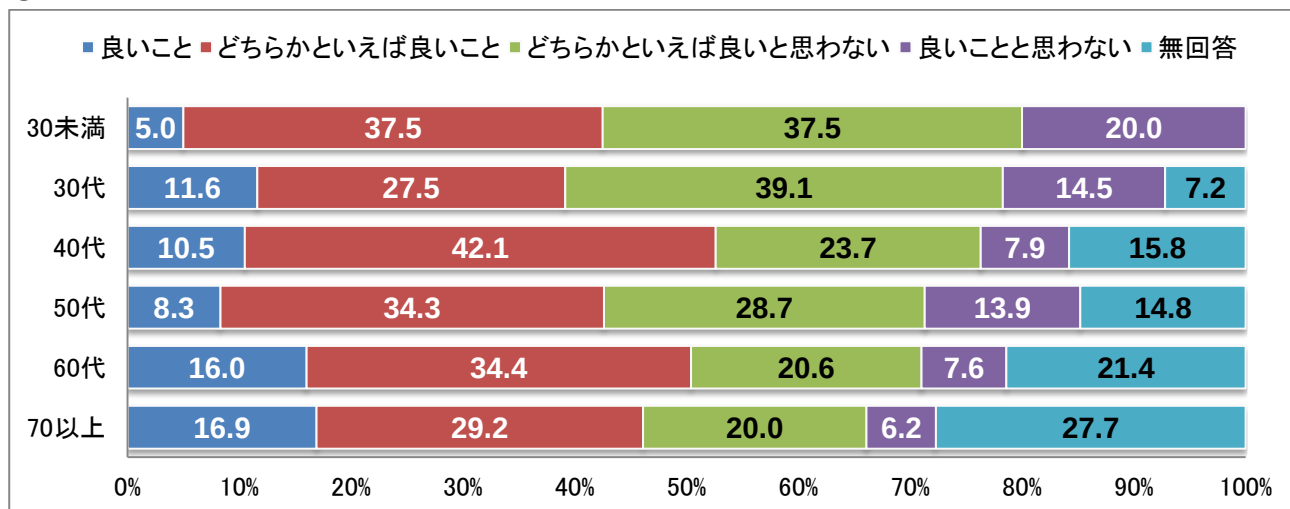
①全体／男女別

〔単位：％〕



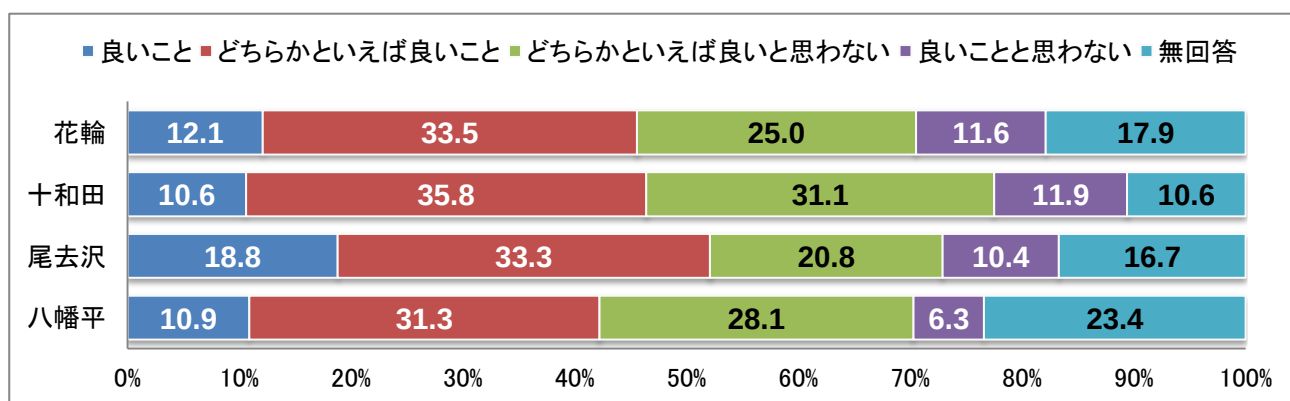
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

元気な高齢者が移住してくることは老人クラブへの参加やこれまでの経験を学べるものであるとして、好意的に捉えている方は46.0%となりました。

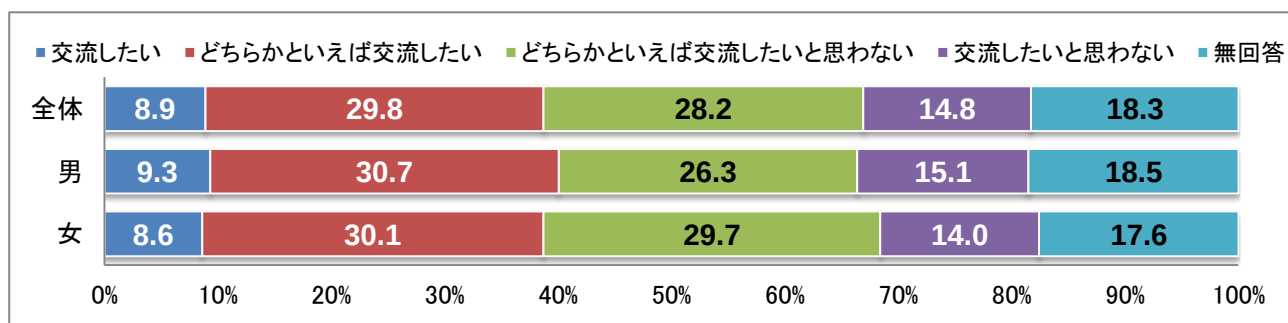
一方、否定的に捉えている方は、70歳以上の26.2%から年代が下がるにつれて増加傾向にあり、最も高い30代の53.6%と約27ポイントの差がありました。この理由として、社会保障費の負担増や将来の介護不足、高齢者が来ても効果が薄いのではないかなどが挙げられています。

地区別にみると、「どちらかといえば良いと思わない」「良いことと思わない」と答えた方は、十和田地区が他地区と比べ多くなっています。

設問⑱-3 あなたは、移住してくる高齢者と交流してみたいと思いますか。

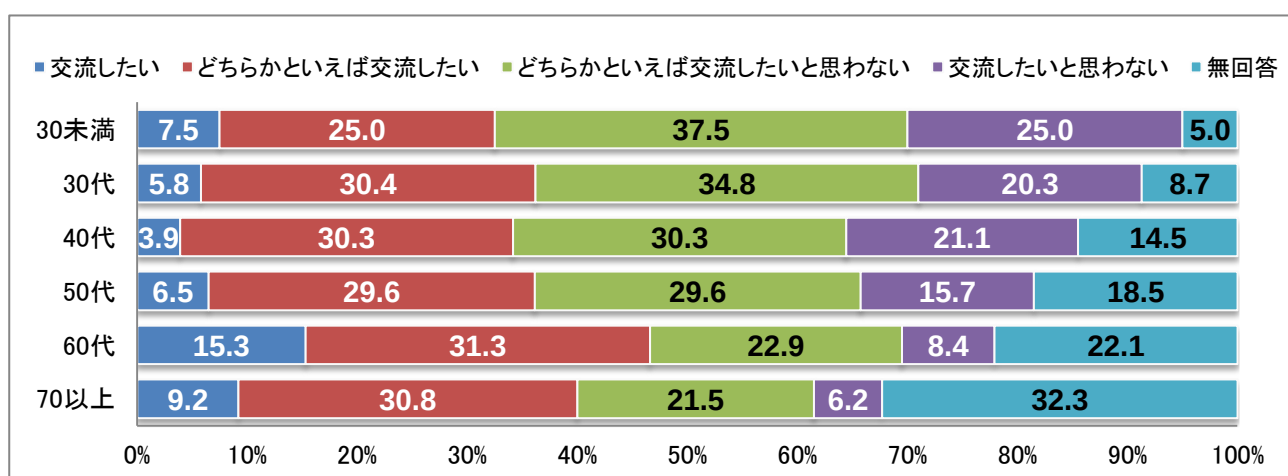
①全体／男女別

〔単位：％〕



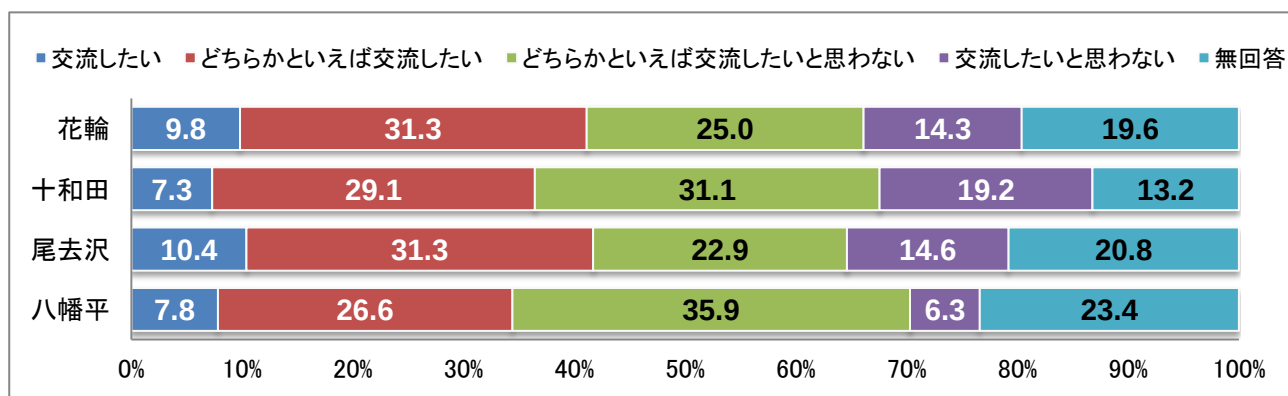
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

人生経験の享受や子供たちとの交流が図られるため、移住してくる高齢者との交流をしてみたいと答えた方は38.7%となりました。

年代が下がるほど高齢者との交流への関心は低い傾向にあり、その理由としては考え方の違いや若い人であれば交流したい、という理由が挙げられています。

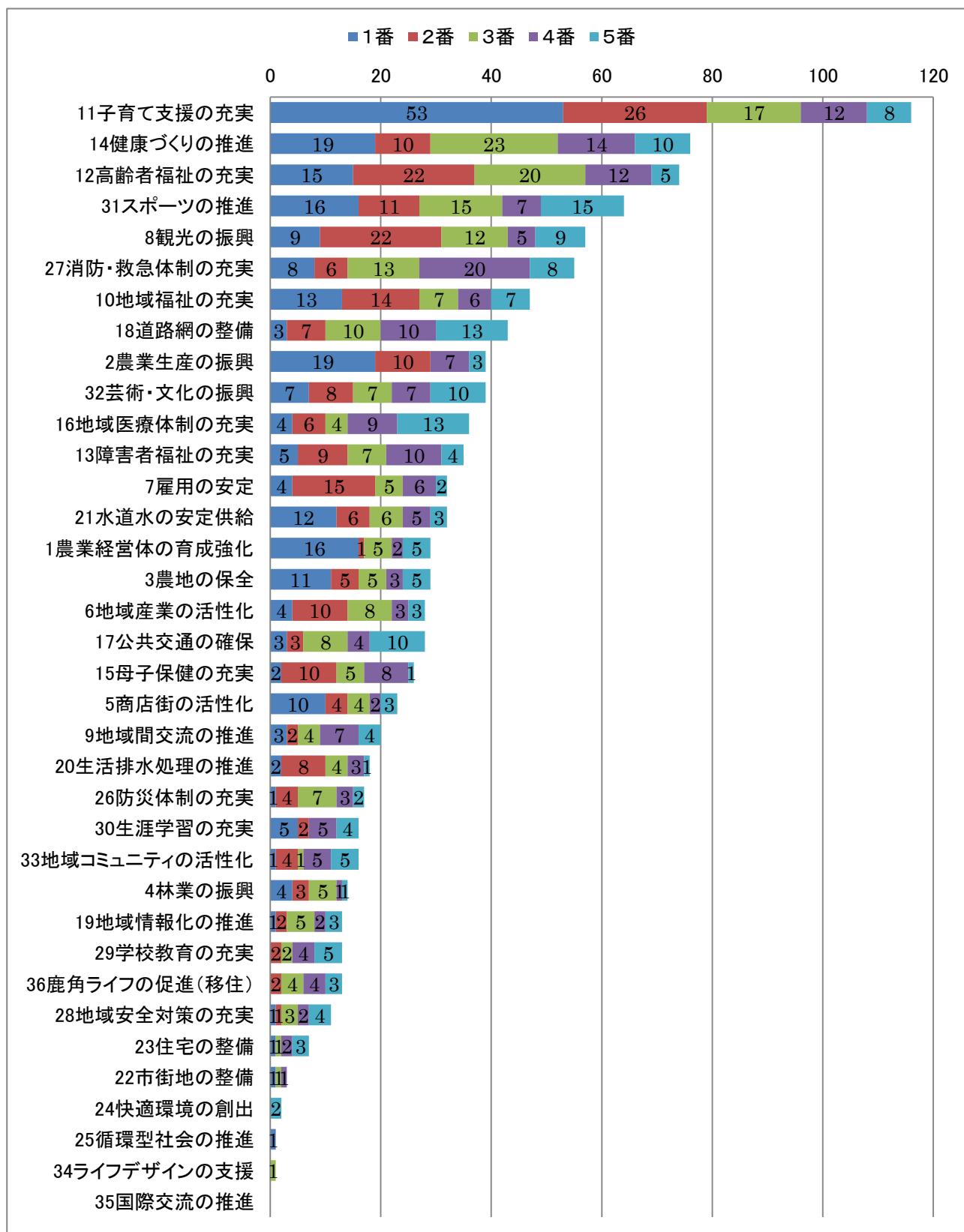
地区別に見ると、「どちらかといえば交流したいと思わない」「交流したいと思わない」と答えた方は、十和田地区が他地区と比べ多くなっています。

19 市の政策について

設問②-1 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを下表の36項目から順に5つ選んでください。

①全体（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



順位	No.	施策	1番	2番	3番	4番	5番	計
1	11	子育て支援の充実	53	26	17	12	8	116
2	14	健康づくりの推進	19	10	23	14	10	76
3	12	高齢者福祉の充実	15	22	20	12	5	74
4	31	スポーツの推進	16	11	15	7	15	64
5	8	観光の振興	9	22	12	5	9	57
6	27	消防・救急体制の充実	8	6	13	20	8	55
7	10	地域福祉の充実	13	14	7	6	7	47
8	18	道路網の整備	3	7	10	10	13	43
9	2	農業生産の振興	19	10		7	3	39
9	32	芸術・文化の振興	7	8	7	7	10	39
11	16	地域医療体制の充実	4	6	4	9	13	36
12	13	障害者福祉の充実	5	9	7	10	4	35
13	7	雇用の安定	4	15	5	6	2	32
13	21	水道水の安定供給	12	6	6	5	3	32
15	1	農業経営体の育成強化	16	1	5	2	5	29
15	3	農地の保全	11	5	5	3	5	29
17	6	地域産業の活性化	4	10	8	3	3	28
17	17	公共交通の確保	3	3	8	4	10	28
19	15	母子保健の充実	2	10	5	8	1	26
20	5	商店街の活性化	10	4	4	2	3	23
21	9	地域間交流の推進	3	2	4	7	4	20
22	20	生活排水処理の推進	2	8	4	3	1	18
23	26	防災体制の充実	1	4	7	3	2	17
24	30	生涯学習の充実	5	2		5	4	16
24	33	地域コミュニティの活性化	1	4	1	5	5	16
26	4	林業の振興	4	3	5	1	1	14
27	19	地域情報化の推進	1	2	5	2	3	13
27	29	学校教育の充実		2	2	4	5	13
27	36	鹿角ライフの促進(移住)		2	4	4	3	13
30	28	地域安全対策の充実	1	1	3	2	4	11
31	23	住宅の整備	1		1	2	3	7
32	22	市街地の整備	1		1	1		3
33	24	快適環境の創出					2	2
34	25	循環型社会の推進	1					1
34	34	ライフデザインの支援			1			1
36	35	国際交流の推進						0

②分析結果

効果が得られていると感じる施策として、最も多くの方に選択されたのは「子育て支援の充実」で 116 名が選択しています。保育料や医療費をはじめとした、各種助成などの経済的支援のほか、あおぞらこども園の新設や放課後児童クラブの開所時間延長など、さらなる対策への姿勢が評価されています。

2 番目に多く選択されたのは「健康づくりの推進」で、76 名が選択しています。がん検診など各種検診のきめ細やかな啓発と受診勧奨に対する評価のほか、脳ドックなど幅の広い支援に評価がありました。

3 番目に多く選択されたのは「高齢者福祉の充実」で、74 名が選択しています。特別養護老人ホームなどの施設整備や、高齢者福祉タクシーや介護用品クーポンなどの助成が評価されています。

4 番目には「スポーツの推進」が選択されました。「スキーと駅伝のまち」として、総合運動公園の施設充実に加え、国体やインカレなど全国規模の大会の開催が評価されています。

5 番目の「観光の振興」では、関係団体をはじめとした観光宣伝により、花輪ばやしや行楽シーズンに来市する方が多いと感じられていることから評価を得ています。

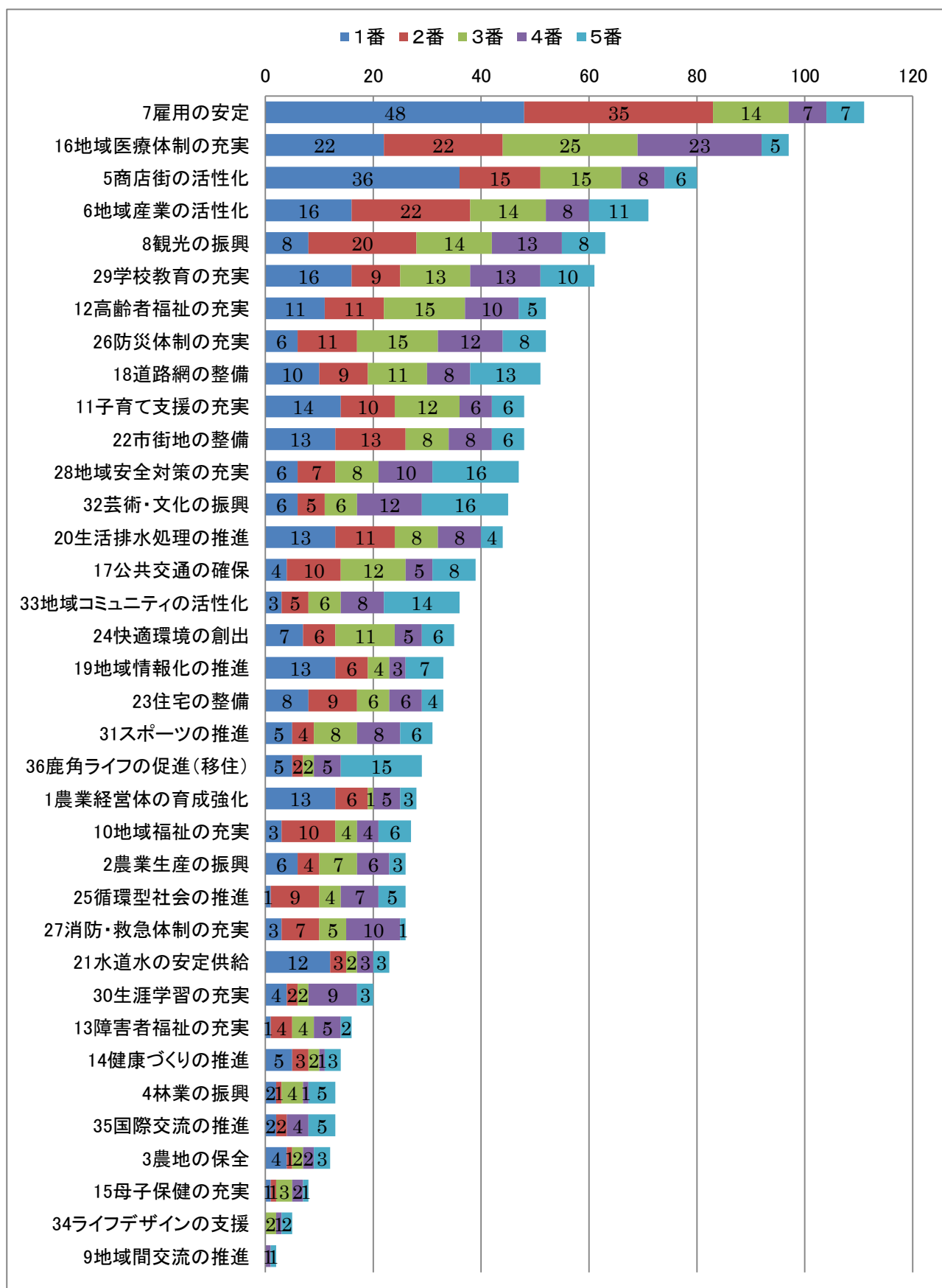
上位 5 位までは前年と同じ施策が選ばれており、これまで重点的に取り組んできたものが評価されたものと捉えています。

6 位以下については、「消防・救急体制の充実」「農業生産の振興」「芸術・文化の振興」が前年より多くの評価をいただいています。新消防庁舎への移転やコモッセの整備などが評価につながっていると推測します。

設問②-2 市が進めている取組の中で、もっと「力」を入れて欲しいと感じるものを下表の36項目から順に5つ選んでください。

①全体（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



順位	No.	施策	1番	2番	3番	4番	5番	計
1	7	雇用の安定	48	35	14	7	7	111
2	16	地域医療体制の充実	22	22	25	23	5	97
3	5	商店街の活性化	36	15	15	8	6	80
4	6	地域産業の活性化	16	22	14	8	11	71
5	8	観光の振興	8	20	14	13	8	63
6	29	学校教育の充実	16	9	13	13	10	61
7	12	高齢者福祉の充実	11	11	15	10	5	52
7	26	防災体制の充実	6	11	15	12	8	52
9	18	道路網の整備	10	9	11	8	13	51
10	11	子育て支援の充実	14	10	12	6	6	48
10	22	市街地の整備	13	13	8	8	6	48
12	28	地域安全対策の充実	6	7	8	10	16	47
13	32	芸術・文化の振興	6	5	6	12	16	45
14	20	生活排水処理の推進	13	11	8	8	4	44
15	17	公共交通の確保	4	10	12	5	8	39
16	33	地域コミュニティの活性化	3	5	6	8	14	36
17	24	快適環境の創出	7	6	11	5	6	35
18	19	地域情報化の推進	13	6	4	3	7	33
18	23	住宅の整備	8	9	6	6	4	33
20	31	スポーツの推進	5	4	8	8	6	31
21	36	鹿角ライフの促進(移住)	5	2	2	5	15	29
22	1	農業経営体の育成強化	13	6	1	5	3	28
23	10	地域福祉の充実	3	10	4	4	6	27
24	2	農業生産の振興	6	4	7	6	3	26
24	25	循環型社会の推進	1	9	4	7	5	26
24	27	消防・救急体制の充実	3	7	5	10	1	26
27	21	水道水の安定供給	12	3	2	3	3	23
28	30	生涯学習の充実	4	2	2	9	3	20
29	13	障害者福祉の充実	1	4	4	5	2	16
30	14	健康づくりの推進	5	3	2	1	3	14
31	4	林業の振興	2	1	4	1	5	13
31	35	国際交流の推進	2	2		4	5	13
33	3	農地の保全	4	1	2	2	3	12
34	15	母子保健の充実	1	1	3	2	1	8
35	34	ライフデザインの支援			2	1	2	5
36	9	地域間交流の推進				1	1	2

②分析結果

もっと力を入れて欲しいと感じる施策として、最も多くの方に選択されたのは「雇用の安定」で、111 名が選択しています。人口減少対策として、若い人が鹿角で暮らすことができるよう働く場の確保と、職場環境や雇用体制の改善を求める意見が多くありました。

2 番目に多く選択されたのは「地域医療体制の充実」で、97 名が選択しています。耳鼻科や小児科など診療科が少ないことから、受けたい時に受診できないといった不安を感じるといった声が多く聞かれました。

3 番目に多く選択されたのは「商店街の活性化」で、80 名が選択しています。空き店舗の多さや新しい店ができないなど、活気を感じられないといった意見がありました。

4 番目の「地域産業の活性化」では、雇用の場の創出を望む意見のほか、枝豆、北限の桃といった特産物の活用やPRの拡大を望む意見がありました。

5 番目の「観光の振興」では、観光資源に恵まれているもののPR不足との意見や十和田湖の活用による活性化を望む意見がありました。

上位 5 位については、例年ほぼ同じ施策が選ばれていることから、改善を図るため、さらに重点的に取り組んでいく必要があります。

6 位以下については、「高齢者福祉の充実」「防災体制の充実」が前年に比べ多く選択されており、高齢化の進展に伴う医療や介護の不安、熊本地震の発生が影響しているものと推測されますので、これらについても引き続き取り組んでいきます。

20 自由意見

設問②①において記述のあった自由意見は、72名の方から92件の意見や感想をいただきました。

自由意見については施策別に整理し（51件）、それ以外を①政策全般に関すること（16件）、②職員に関すること（15件）、③アンケートに関すること（2件）④その他（8件）に分類し下表に掲載しています。

施策1-2-1 商店街の活性化、1-2-2 地域産業の活性化、1-2-3 雇用の安定

地区	性別	年代	意見
十和田	男	30代	東北道(2か所)により流通には恵まれていると思います。他県より人を集めるには現状では厳しいと誰もが考えている中で、他の人が集まる地域を例にしてみるとやはり大規模な商業施設やチェーン店の集中だと思っています。大館、弘前、盛岡、五所川原、御所野、大仙など他県からのお客様だけでなく市内の雇用人数の増加も期待できます。さらに高齢者の雇用も見込めるのではないのでしょうか。イベントや特産品に力を入れるのも理解できますが、市内の消費者に必要なのは地元で欲しい物が早く確実に入手できることと考えます。今後の取組に期待します。
花輪	男	30未満	働く所がない。賃金が安い。税金が高いのでは。鹿角にいて暮らすことが出来ない。企業の招致等積極的にやってほしい。
花輪	女	50代	設問②①-2 もいいけど、とにかく若者の雇用の確保、そして子供を産んでもらうことしか鹿角の存続はない。
八幡平	女	50代	鹿角のおみやげは？特産は？食べ物は何と聞かれた時いくつか言えますか？私はおみやげにはいかにわうどんを送っています。りんご、もも、食べ物は聞かれればホルモン、ぱっと答えられるのはこうです。市の職員だったらもっと答えられますよね？鹿角がそばの里と看板がありますが何をしていますか？乾麺でそばを売って秋にはそばまつりをするだけですよね？そばのガレットをやっている店もあるわけでもなくそばの実饅頭とかそばを使ったおかしもあるわけではなく…りんごも桃だってもっと使いみちがあって果肉たっぷり桃ロールケーキとかりんごロールケーキとかもっと商品を開発をしてもらえたら…と思います。鹿角に来たら桃ロールケーキがあってどこのお店（おかし屋さん）にもあってそこそこのオリジナルがあって…みたいな。小坂にはカツラーメンがありますよね。鹿角オリジナルの食べ物や商品を考えてください。B1グランプリに出せるような…。

1-3-1 観光の振興

十和田	男	60代	湯の駅施設、何の特長も感じられず、オープン以降ほとんど集客も期待出来ず赤字は確実。まったくのムダ遣い。
花輪	女	50代	小坂町のように、観光にもっと力を入れてほしい。
八幡平	女	50代	夏に孫が来た時に遊びに連れて行く場所がありませんように思います。去夏、遊びに行けるような場所はどこ？と聞かれ悩みました。各地区ごとに1か所遊具をおいた公園あればいいなあー（そこそこ大きな）鹿角を良くするためにがんばってください。

花輪	女	60 代	鹿角は観光や文化財と恵まれている町ですが、他県から比べると看板等のPRが少ないのではないのでしょうか？（例えば「おいしいきりたんぼはいかが」とかののぼりを見たら食べに行きたくなりますよ）。又、アルパスでいろいろな催し物がある時、駐車場に入れないでせっかく遠くから出向いて来ても不愉快な思いをさせています。もう少し臨時の駐車場を確保しておいた方が良くと思います。又、横手のふるさと館みたいにおみやげ品を置いたらどうでしょうか。
花輪	男	50 代	今年は十和田八幡平国立公園60周年、鹿角は両方に囲まれ素晴らしい所なのでもっとPRしてもいいと思う。たんぽ小町ちゃん知名度はあるが一步足りないような気がする。
花輪	女	50 代	一昨年の花輪ばやしの時に、駅前に屋台が集合する所に雨が降ってきて、栈敷の前列にいた地元の人が傘を差し、後ろの人に当たったため、後ろの人が邪魔だし、見えないので傘を閉じてくれるように言ったが、謝りもせず、しかたね一べと言ったそうです。見かねた人が、自分の栈敷席と代わってあげたそうですが、観光客を受け入れようとする地元民の意識を改善すべきだと思います。
尾去沢	女	50 代	同じ鹿角でも小坂を真似して、観光や地域の活性化に力を入れた方がいいと思います。
八幡平	女	40 代	十和田八幡平国立公園の景観を工夫してほしい。民間の建物ですが、志張温泉の跡地、熊牧場の跡地など、イメージダウンにつながる。アスパ等施設があのままではもったいない。八幡平 IC の秋田美人跡も。費用もかかるが、観光地として自助努力がみられればいいです。
花輪	男	70 以上	観光地のど真ん中にありながら、その利点を生かせないもどかしさをも感じている。
花輪	女	30 代	アルパスやゆたろうなど鹿角大館の温泉地の地図と洗い場の数、料金、シャンプー、ソープの有無の一覧があれば欲しいです。

1-3-2 地域間交流の推進

尾去沢	男	50 代	スポーツ施設の充実で他県から利用を増やし、財源として活用できたらいいのではないのでしょうか。例えば大学チームの合宿や東北6県（特に北3県）の交流の場として立地条件に関しては特出していると考えます。それによって商店やホテル（宿泊施設）等にもいい影響が与えられたら市全体の活性化になると思います。
-----	---	------	--

2-1-1 地域福祉の充実

花輪	男	50 代	生活保護をなんとかしてください。働けるのに遊んでいる。国民年金者より良い生活をしている。それはおかしいと思う。年金すら支払っていないのだから、手や足がないのなら文句も言わないがとにかくひどすぎる。
----	---	------	--

2-1-2 子育て支援の充実

十和田	男	40 代	認定こども園をもっと増やしていただきたい。子供(小学生以下)に対して、経済支援(給付金増額等)をさらに充実していただきたい。
十和田	女	50 代	保育園などの対応が、預ける親達が満足して頼める保育園、施設にしてほしい。花輪にはあるが十和田地区にはなく、わざわざ花輪まで行かなければならない不便な状況ではなく、地域にも子育て施設をお願いしたいです。
八幡平	女	30 未満	八幡平なかよしセンターの件は、決定する前にお知らせが必要だった。大人の事情で環境が変わり、リズムが崩れたり、できていたことができないのは子ども達。子どもたちに負担がかかりすぎです。先生達に慣れていた子もたくさんいたはず。子どもたちのことをもっと考えてほしい。もっと公園などの整備、数を増やしてほしい。場所が少ないので、集まる人数が多すぎて遊ぶときに危ないと思うことが多々あります。女性・子ども目線でもっとお願いします。女性にはまだ優しくない部分もあります。
花輪	男	30 未満	子育て支援の向上。

2-1-3 高齢者福祉の充実

尾去沢	女	70 以上	高齢化が進み、車で行けない人も増えております。イベント、行事がある時など地域とかで車を準備していただき、高齢者も参加しやすいようにしていただけたらと思います。
十和田	女	60 代	財政難、利用者数など考えると無理だろうと思いますが年配でも楽しめるイベント、鑑賞会などあれば参加したいと思いますが交通の便が悪いですね。なんともならないでしょうね。デマンド乗合タクシーはまだ利用したことはないですが年寄りはとても助かっていると思います。
花輪	女	70 以上	ゆとりランドのプールが使用できなくなり、水中運動や水泳ができず、身体を動かすのが難しくなりました。少しぐらい膝や足の動きが悪くても水中ではスムーズにできるのです。これからますますお年寄りが増える中、歩くのが困難になる人が多くなるのではないのでしょうか。できればプールでの運動、水中リハビリ等できるよう検討してください。
花輪	男	50 代	身体障害者であり介護保険を使用している。デイサービス、ショートステイを利用しているが、利用しない時、外に出て対人と触れ合う機会があったらと思うのですが、移動手段がなく、また事業所(場所)がわからない。
尾去沢	女	50 代	尾去沢は特に過疎化が進んでいるせいか、一人暮らしや高齢者だけの世帯が年々多くなり、誰も住んでいない家も多くなっています。もう少し福祉の充実をしてほしい。
花輪	男	70 代	緊急時の支援体制の調査依頼は、自治会長以外に実際調査した民生委員との合同会議とし、協議する時間を取って欲しい。自治会で推薦している福祉委員等も同時に招集してもらいたい。

2-2-1 健康づくりの推進

花輪	女	30 未満	乳がんや胃がんなどガン検診の対象年齢を下げしてほしいです。
----	---	-------	-------------------------------

2-2-3 地域医療体制の充実

花輪	女	60 代	医療に関して、個々の受診歴、病歴、検診歴など一か所ですべて分かるようになっていれば便利だと思うのですが、むずかしいのでしょうか。
花輪	女	60 代	厚生病院での人工透析患者の新規受け入れをしてほしい。生活習慣病により患者が増加し高齢化が進む中で地元の病院を利用できないのは、病院に負担が伴い合併症につながると思う。それにより更なる医療費が発生すると思うから。
花輪	男	40 代	鹿角市の厚生病院でドクターヘリを活用しているが三県(秋田県、青森県、岩手県)が協力してやろうと協定を結んでいるが岩手県は協力しているが青森県がなかなか協力してくれないとのこと。人命がかかっているのに青森県にも協力してくれるよう何とかならないのだろうか。

3-1-1 公共交通の確保

花輪	女	30 代	みちのく号へつながるタクシーを割安or定額にしてほしい。
----	---	------	------------------------------

3-2-1 地域情報化の推進

十和田	女	40 代	光回線を通してほしい。インターネットを見るのに非常に不便で困っています。
十和田	女	50 代	インターネットの光回線が通っていないので通してほしいです。
十和田	男	50 代	ネット配信の充実

3-2-2 生活排水処理の推進

花輪	女	50 代	今のところに引っ越しをして 20 年以上。いったいいつになったら下水道が来るのか。
----	---	------	---

3-2-4 市街地の整備

十和田	男	30 代	コモッセの駐車場が少ないし、旧マックスバリュの土地などをもっと有効に使ってほしい(イベントがある時だけでも)それかバスの本数やバス停の場所の見直しが必要だと思う。
花輪	男	40 代	市街地に駐車場を作った方がよい。(祭り等)
花輪	女	50 代	電車、高速バスを利用する人のために駐車場を駅前につくってほしい。
花輪	女	40 代	希望です。市内の公園(アルパス等)の広い場所に夏場に子供を遊ばせる事のできるような水場を作ってもらいたい。プールには行けないが、足を入れてジャブジャブ歩けたり、噴水のように気持ちいい程度の水を浴びれる所があると子供たちの利用ももっと増えると思う。

3-4-3 地域安全対策の充実

花輪	女	60 代	外灯を充実してほしい。(住宅地)
花輪	女	50 代	通学路に街灯を増やして欲しいです(明かりが少ない気がする)農村部の方です。

花輪	女	30 未満	高齢者ドライバーの運転徹底指導。高齢者（歩行者）マナー。
----	---	-------	------------------------------

4-1-1 学校教育の推進

十和田	女	40 代	中学校のスクールバスの交通費補助の件ですが、kmで全額負担にするのではなく、バス通学全生徒一律半額補助にしてほしいです。不平等さを感じています。隣のバス停から乗車する生徒さんは全額補助。うちは全額負担です。どうかご検討ください。
-----	---	------	--

4-2-2 スポーツ環境の充実

花輪	女	60 代	アメニティも無料だともっと利用しやすいのですが…。
----	---	------	---------------------------

4-2-3 芸術・文化の振興

八幡平	女	60 代	文化ホールでの映画（昭和や昔のものでよい）をもっと増やしてほしい。
十和田	男	50 代	コモッセ前の駐車場を平日の朝から占領しているのは誰の車ですか。職員以外に考えられません。あそこは市民の使うスペースではないのですか。民間では一番使いやすいスペースはお客様のものなのがつうです。こんなことから市職員の教育の程度が知れます。

5-1-1 地域コミュニティの活性化

花輪	女	50 代	地域的なつながりが強すぎてなかなか地域の人達の中に入っていけない。
八幡平	女	40 代	市民運動会をなくして欲しいです。せっかくの休みを運動会でつぶされてしまっています。（スキー大会もありますが八幡平だけでしょうか？なくして欲しいです。）行きたくなくても行かなければなりません。なくして欲しいです。

5-1-2 ライフデザインの支援

十和田	男	30 代	職場で子育て世代に対する意識がうすい。セミナー等を開催してもらっても、そういう企業は参加しない。子育て世代を支援する取り組みをしている企業を優遇する等のメリットをもっと提示して意識を高めてもらえるとうち少し働きやすくなる。男性が子育てのために職場を離れても白目で見られないような社会を望みます（もちろん女性もですが）。
花輪	女	30 未満	出会いパーティー的なものがあるが、ほとんど「サクラ」が混じるのはよくない。人数合わせしないでほしい。人数が足りない時は開催しない方がいいと思う。

5-1-3 国際交流の推進

花輪	女	30 代	国際交流の英会話講座（初級）となっていますが、レベルが初級でなく、まったくわからない人にもきちんと教えてほしい。
----	---	------	--

①政策全般に関すること

八幡平	男	60 代	若い世代の人々が鹿角に残れるような施策を進めてほしい。
十和田	男	60 代	今の市の政策等を見れば、3～5年後に良くする可能性が無く思えます。一つ一つの政策がもっと徹底的に行動してほしい。確かに無難にはいるが、他地域と違いが無い。もっと思い切った政策をしてほしい。今のままでは 10 年後は見えて来ました。
花輪	男	50 代	全ての項目、政策に対応することは無理と思われるため、まずは一つ、二つ、目標を定めて達成することが近道。
花輪	女	50 代	若い人達は賃金が安いため、結婚もできないし年寄りでは年金だけでは生活ができない。低所得者は切り詰めて生活しろ、公務員だけが豊かであれば良いと思っている市としか思えない。年を取るたびに住みにくくなると強く感じる。
花輪	男	60 代	諸手続き等であらゆる施設をたらい回しにされる。もっと市民にわかりやすく記載すべきだと思う。各施設の名称が似ており、どこの事かわかりづらい。〇〇センターとかわからない。行政は女性の活躍をうたっているが、負荷は女性にばかり掛かってきます。世間の考え方が男尊女卑のすりこみ、女性にばかり働かせるつもりなのか？たしかに女性の進出は必要だがかなり子育て世代にはキツイ事だと思います。
尾去沢	男	60 代	鹿角といえばこれ、という実感が無い。
花輪	女	70 以上	大湯ゆとりランドを中心とした活性化。ゆとりランドの運営について、市や事業者の運営は無理と思う。地域住民の地域活性の気持ちが必要と思う。*NPO法人形式 *当初の運営資金は住民の投資→市や事業者の運営は無理と思う。 *主なるスタッフは若者(最小限)、現役を退いても元気な高齢者を中心に、ボランティア的働き、役割を分担する。 *賃金はボランティア精神で、ゆとりランドマネー(入浴料、食事などに使用。) *道の駅？予定地はグランドゴルフなどに整備、スポーツとゆとりランド一体化。 *交通手段、食事、直売、プール、情報等検討による素晴らしいアイデアが出ると思う。 *黒森山、ストーンサークル、滝巡り、十和田湖などスポーツと観光を結びつける。 もちろん、地域住民の利用と圏外の宿泊来訪者を期待する。
花輪	男	30 未満	高齢者のための社会福祉にばかり力を入れているように感じます。しかし、鹿角を創り、支えていくのは今の子どもたちです。学校教育への予算も少ないし、子どものことを後回しにしているように見えざるを得ません。教育に対する保障、援助にもっと力を入れてほしいと思います。
八幡平	男	50 代	市民が安全な生活ができるように。
十和田	男	60 代	事業が市の経済に役に立つように進めてもらいたいです。大湯の方はあまり良くないです。大きな建物をお金をかけて建てても、市民に役に立たないものは作らないほうがいいです。そして、市の職員には責任感を持ってほしいです。

花輪	男	40 代	町が活性化するのは若い人たちが、多く生活している街です。若い人たちに移住してきてもらうには、専門学校、大学の誘致、若い人たちが増えると自然と企業も鹿角に進出してきます。交通の便が悪い所ではないので。
花輪	男	30 代	市が進めている取組に効果が全く感じられないでいます。所詮役所仕事なんだろうなと思ってしまう。市役所の職員に全く好感が持てない。
尾去沢	女	40 代	市全体の未来像があまりよくわからない。何となく空き地が出来たから、建物が古くなったからと新しいものができているが、その建物単体でみると素晴らしいとは思うのだが、市全体としてのバランスを考えると、未来像といえるものがないように感じる。 これから小中高校の合併が進むことになると思うが、今あるものとのバランスを考えてほしい。例えば今は中高生が勉強をしたり、健全に集う場としてもコモッセは賑わっているが、これが再編により、使いづらい場所に学校が移転したりすると、せっかくのコモッセが宝の持ち腐れにならないか心配である。
花輪	女	60 代	若者が定住できる鹿角にしてほしい。
十和田	女	60 代	若い男女が安心して働ける場所、雇用の安定化、子育てが安心してできるような鹿角市を希望します。男女の出会いの場が少ない。
十和田	女	50 代	使われていない農地、空き地の利用の推進。

②職員に関すること

八幡平	女	40 代	鹿角市役所は、大きな市に比べると混んでいるわけではないのに、手続きに時間がかかりすぎるように思います。空いているからといって、ゆっくりやらずにテキパキと処理してほしいです。
花輪	男	60 代	不正会計などなくしてほしい。テキトーな市というイメージを持たれているようだ(他の市民の声)。いろいろ大変だろうが、市役所の方々、頑張ってください。
八幡平	女	60 代	市役所に入りづらい、また相談しづらい。職員の人達の態度が気になる。近寄りがたい感じをうける。
花輪	男	70 以上	市長をはじめ、市の職員は各部署で大変良く公務員として働いていると思います。
花輪	男	70 以上	市職員の不祥事で、謝罪や処分より、このような人物はしっかり指導できる部署への配置と教育、監査体制の確立等改善できる点はいくらでも工夫すべき点があると思う。
十和田	女	50 代	鹿角市のために日々がんばってくださりありがとうございます。
尾去沢	女	30 代	手続等で保健センターや市役所の窓口等へ行くが、「すみません」と声を掛けても顔すら上げず、聞こえていないのか見て見ぬふりという対応をされることがある。
花輪	女	50 代	市で決定したことは、市の職員が手本になれるよう行動してほしいと思う。悪く利用している人がいるので。
花輪	女	30 未満	市役所の窓口対応の悪さ(態度が悪い)。

花輪	女	50 代	農協、市役所、警察、かづの厚生病院等の接遇が悪い。特にえらい人達。接していて何様？？と思う時がある。
八幡平	男	50 代	職員の意識に問題あり。要望事項、提案に対して、予算がない、前例がないなど、断る理由ばかりで、前向きな姿勢が見られない。
花輪	男	60 代	市役所内の不祥事を組織ぐるみで隠すのはやめてほしい。
十和田	女	30 代	市役所の市民課等は行きやすいが、2階は行きにくい。行っても挨拶もないし、すぐ来てくれない。
十和田	男	50 代	いろいろな不祥事ばかりありますので、市民としてはうんざりです。もっとしっかりしてください。
花輪	男	70 以上	各事業の住民説明会では、若い職員が詳しく、資料を出して説明しますが、用語が難しかったり長すぎて、聞く方が疲れる。要点を説明する能力をつけてほしい。質問やグループで話し合うなどの時間が欲しい。

③アンケートに関すること

花輪	女	70 以上	アンケートの件について。個人的な意見ですが後半のアンケートでは難しい設問が多く、できれば無作為ではなく例えば地域や団体等で活躍している方々のアンケートにした方がよいと思います。
花輪	男	70 以上	この種のアンケートにおいては、職員及び市民協力者数十名による記入体験を経て、より書きやすく内容のあるものにブラッシュアップしてから実施すべきものと思う。形式的にはでき上がっているように見えて、観念的且つ網羅的で中身が判然としないものが見られた。解答に要した時間は2時間を超えた。

④その他

花輪	男	60 代	市県民税がよそより高いような気がする。
十和田	男	30 代	手続する場所があちこちに多く場所が分かりづらい。
尾去沢	女	30 代	鹿角市にドッグランを作してほしい。市内にないので大館まで出かけている人もたぶん多いと思う。市内にあれば、使用する人もそれなりにいると思う。管理や整備のために料金が発生しても利用客はいると思われる。
花輪	男	50 代	補助金、補助制度減免など充実している様ですが、個人が思っているほど利用できないことが多々ある。
花輪	女	50 代	いとかにある出張所がとても使いやすいと思うので、もっと駅のそば、施設の中にもあると便利だと思う。
花輪	女	30 未満	若者の娯楽施設の少なさ。
八幡平	女	70 以上	マイナンバーカードについて、手続きが面倒である。
尾去沢	女	50 代	若い人たちが流出しないよう、もう少し商業施設、娯楽施設等があればいいと思います。

資 料

平成28年度
市民アンケート 回答票

はじめに、あなた自身についておたずねします。

設問① あなたの住んでいる地区、性別、年代等について、あてはまるものの□に○を記入してください。

・住んでいる地区	☐ 花輪	☐ 十和田
	☐ 尾去沢	☐ 八幡平

・性 別	☐ 男性	☐ 女性
------	-----------------------------	-----------------------------

・年 代	☐ 30歳未満	☐ 30代	☐ 40代
	☐ 50代	☐ 60代	☐ 70歳以上

・世帯構成	☐ 一人暮らし	☐ 夫婦のみ	☐ 夫婦と子
	☐ 夫婦のいずれかと子	☐ 夫婦とその親	☐ 三世代
	☐ その他 ()		

・鹿角市に住んでいる期間	☐ 出生時から	☐ 1年未満	☐ 1～5年未満
	☐ 5～10年未満	☐ 10～20年未満	☐ 20年以上

・お住まいの種類	☐ 持家（土地も所有）	☐ 持家（土地は借地）	☐ 借家
	☐ 民間賃借アパート・マンション	☐ その他 ()	

※現在、ご自分が子育てをされている方はご記入をお願いします。

・子どもの成長段階（複数いらっしゃる方は下の子）	☐ 未就学児	☐ 小学生
	☐ 中学生	☐ 高校生

共動についておたずねします。

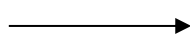
設問② 市が提唱している共動について、あなたは共感できますか。

市では“市民、団体及び企業と市が、相互に良好な関係のもとで理念と情報を共有し、同じ視点で共に活動を進めていくこと”を「共動（きょうどう）」と表し、推進しています。

市が目指す共動は、市民と市が協力し合うだけではなく、市民同士や地域の力で支え合うことによって、理想の地域社会を実現することを目的としています。

1. 共感できる

2. 共感できない



理由がありましたらお書きください

地域コミュニティについておたずねします。

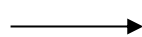
設問③ あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動など）にどの程度参加しましたか。

1. 10回以上

2. 4回～9回

3. 3回以下

4. 参加しなかった



理由がありましたらお書きください

公共交通についておたずねします。

設問④-1 バス（予約型乗合タクシー含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度として当てはまるものを**1つに○**をつけてください。

1. 週2回以上利用

2. 週1回程度利用

3. 月に1回以上利用

4. 年に数回程度利用

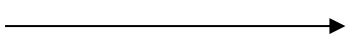
5. 数年間利用したことがない

設問④-2 あなたは、普段の生活の中で、公共交通機関による移動に**不便**を感じていますか。

1. 感じる

2. 感じない

3. あまり利用しないのでわからない



不便を感じる理由

公園の環境についておたずねします。

設問⑤ あなたは、市内の公園の整備状況に満足していますか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| 3. やや不満である | 4. 不満である |

住みごごちについておたずねします。

設問⑥ あなたにとって、鹿角市の住みごごちはどうですか。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 住みよい | 2. まあ住みよい | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり住みよくない | 5. 住みにくい | 6. わからない |

愛着についておたずねします。

設問⑦ あなたは、鹿角市に愛着を持っていますか。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 愛着がある | 2. 愛着はない |
|----------|----------|

中心市街地についておたずねします。

設問⑧ あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満である
4. 不満である

不満と感じる理由

設問⑨-1 あなたは将来、「まちなか」に住み替えたいと思いますか。ここでいう「まちなか」とは花輪市街地をいいます。

1. 今も「まちなか」に住んでいる
2. 住み替えたい → **設問⑨-2 へ**
3. 住み替えたいとは思わない → **設問⑨-5 へ**

設問⑨-2 設問⑨-1 で「2. 住み替えたい」を選んだ方におたずねします。住み替えたいと思う理由は何ですか。下表の1～10 から順に3つまで選び、□に番号を記入してください。

1 番

2 番

3 番

1. 「まちなか」に不動産を所有しているから	2. 「まちなか」のほうが買い物・病院通いなどに便利だから
3. 「まちなか」のほうが就労に便利だから	4. 「まちなか」のほうが子育てしやすいから
5. 除雪が大変だ（困難になった）から	6. 家屋・敷地の手入れが困難になったから
7. 家屋が老朽化しているから	8. 友人・知り合いが転居したから
9. 集落の人間関係が悪化したから	10. その他（ ）

場合、下表の1と2についてあてはまるものそれぞれ1つに○をつけてください。また、希望する家賃や価格を記入ください。

1. 種類	① アパート ② 一戸建て（貸家） ③ 一戸建て（持ち家） ④ その他（ ） ⑤ いずれでも構わない
2. 家賃・価格	①（アパート、貸家の場合） 家賃（ 万円／月程度） ②（持ち家の場合） 購入価格（ 万円程度）

設問⑨-4 設問⑨-1で「2. 住み替えたい」を選んだ方におたずねします。「まちなか」への住み替えの希望は実現できそうですか。

1. できる
2. できない

できない理由

設問⑨-5 設問⑨-1 で「3. 住み替えたいとは思わない」を選んだ方におたずねします。住み替えたいとは思わない理由は何ですか。下表の1～10 から順に3つまで選び、□に番号を記入してください。

1 番 ☐ 2 番 ☐ 3 番 ☐

1. 生まれ育った土地だから	2. 集落を今後も維持し、守りたいから
3. 友人・知り合いと離れたくないから	4. 集落の人間関係が良好だから
5. 自然環境が良いから	6. 農地があるから（農作業などを行うのに便利だから）
7. 転居が面倒だから	8. 住み替えるための資金がないから
9. 「まちなか」のほうが生活費がかかりそうだから	10. その他（ ）

設問⑩ あなたは、コンパクトなまちづくりを進めることについてどう思いますか。

コンパクトなまちづくりとは、一定の都市機能がコンパクトに集積した中心市街地を維持し、中心市街地以外に住む市民もその機能を享受できるようなまちづくりのことをいいます。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 必要である | |
| 2. どちらかといえば必要である | |
| 3. あまり必要でない | → |
| 4. 必要でない | → |
- {

必要でない理由

運動の実施状況についておたずねします。

設問⑪ あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。
また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

- | | | | |
|---------------|---|---|---------------------|
| 1. ほぼ毎日 | → | { | 主にやっている運動や活動： _____ |
| 2. 週に1回程度 | → | | |
| 3. 月に1回程度 | → | | |
| 4. ほとんど行っていない | | | |
| | | | 1回あたりの時間： 約 _____ 分 |

スポーツツーリズムについておたずねします。

「スポーツツーリズム」とは、本市の恵まれたスポーツ環境を活用したスポーツ大会や合宿等の開催によって、市外からスポーツを「する」「観る」人が数多く鹿角を訪れて宿泊・飲食や買い物、また、そのついでに市内外で観光などを行い、さらにはスポーツを「支える」市民と交流することで市外の人々に鹿角の魅力をお伝えし、そして市内も活性化するという、新しい旅行・地域活性化のスタイルのことをいいます。

設問⑫-1 あなたは、市外から参加者が集まるスポーツ大会が開催されたとき、主にどのように関わっていますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

1. 観戦者、応援者である
2. 一度でも競技役員として関わったことがある
3. ボランティアで関わったことがある
4. 関わったことはない

設問⑫-2 次の①～⑧に対するあなたのお考えについて、**下記1～5からあてはまるものを選び、それぞれ□に番号を記入**してください。

- | | | |
|------------|---------------|------------|
| 1. とてもそう思う | 2. そう思う | 3. どちらでもない |
| 4. そう思わない | 5. まったくそう思わない | |

- | | 1～5を記入 |
|--|------------------------|
| ① 全国からスポーツ大会等の参加者や関係者、応援者が来ることは鹿角にメリットがあると思う | → <input type="text"/> |
| ② 全国から訪れるスポーツ選手や関係者、応援者に対して好感を持っている | → <input type="text"/> |
| ③ 訪れるスポーツ選手等と交流することは、市民にとって市外の文化や社会に触れることができる貴重な経験であると思う | → <input type="text"/> |
| ④ スポーツツーリズムは、地域の住みやすさを損なうと思う | → <input type="text"/> |
| ⑤ スポーツツーリズムは、都市としての環境の水準を維持すると思う | → <input type="text"/> |
| ⑥ スポーツツーリズムは、鹿角市のイメージを向上させると思う | → <input type="text"/> |
| ⑦ スポーツツーリズムは、地域のもめごとにつながると思う | → <input type="text"/> |
| ⑧ 鹿角市がスポーツツーリズムを推進することを支持する | → <input type="text"/> |

地域医療についておたずねします。

設問⑮-1 あなたは、「かかりつけ医（歯科医を除く、検診及び予防接種を含む）」を決めていますか。

「かかりつけ医」とは、特定の病気の専門医ではなく、日頃からちょっとした病気のときに、決まって診てもらっているお医者さんのことです。

1. 決めている → 問⑩-1へ

設問⑮-2 設問⑮-1 で「2. 決めていない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 症状等で診療科ごとに受診先を替えているから
2. 病気になったら総合病院を受診するから
3. 「かかりつけ医」にしたいような医療機関がないから
4. その他（ ）

子育てについておたずねします。

設問⑯-1 あなたは鹿角市が子育てしやすいまちだと感じますか。

1. 感じる _____ → 問⑰-1へ
2. どちらかといえば感じる _____
3. どちらかといえば感じない _____ → 問⑰-2へ
4. 感じない _____

設問⑬-2 設問⑬-1で「3. どちらかといえば感じない」、「4. 感じない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 保育サービスが不十分
2. 子育てに対する経済的支援（保育料等の軽減や医療費助成など）が不十分
3. 子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分
4. 子どもの安全を確保する取組が不十分
5. 職場の子育てに対する理解や制度が不十分
6. 小児科医の不足など、子どもの医療体制が不十分
7. その他（ ）

新エネルギーについておたずねします。

設問⑰-1 下表の①～④の新エネルギーについて、あなたはどの程度知っていますか、または関心がありますか。下表①～④それぞれについて、次のア～エの中であてはまるものの1つに○をつけてください。また、ア、ウを選んだ項目については、知りたい情報がありましたらお書きください。

ア. ある程度知っており、関心がある	イ. ある程度知っているが、関心はない
ウ. よく知らないが、関心はある	エ. よく知らないし、関心もない

項目	①～④それぞれについて、ア～エの1つに○	ア、ウを選んだ場合、知りたい情報について（自由記述）
①太陽光発電	ア イ ウ エ	
②風力発電	ア イ ウ エ	
③バイオマス	ア イ ウ エ	
④小水力発電	ア イ ウ エ	

設問⑰-2 あなたは、今後どうすれば新エネルギーの普及が進むと思いますか。あてはまるもの**2つ**に○をつけてください。

1. 公共施設など身近な場所で新エネルギー導入例が見られればよい
2. 新エネルギーを導入することによる経済的なメリットが示されればよい
3. 新エネルギーを導入することによる環境貢献が明確に示されればよい
4. 新エネルギーを導入することによる地域活性化事例を知ることができればよい
5. 新エネルギーについての教育や学びの場が増えればよい
6. 新エネルギー設備を観光資源として活かすことができればよい
7. 企業による新エネルギー導入がしやすい環境が整えばよい
8. その他（ ）

コモッセの利用状況についておたずねします。

設問⑱-1 あなたは、昨年1年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

1. 鑑賞した → **設問⑱-2** へ

2. 鑑賞しなかった → **設問⑱-3** へ

設問⑱-2 設問⑱-1 で「1. 鑑賞した」を選んだ方におたずねします。そのうち、コモッセ文化ホールで開催されたコンサート等はどの程度鑑賞しましたか。

1. 10回以上鑑賞した

2. 4～9回鑑賞した

3. 1回～3回鑑賞した

4. 鑑賞しなかった →

鑑賞しなかった理由

設問⑱-3 あなたは昨年、コモッセをどの程度利用されましたか？

1. 毎日

2. 毎週

3. 月1回程度

4. 月5回程度

5. 年3回以上

6. 年1回

7. 利用しなかった →

利用しなかった理由

設問⑱-4 設問⑱-3 で1～6を選んだ方におたずねします。主な利用施設はなんですか。
あてはまるもの 1つに○ をつけてください。

1. 市民センター（講堂・和室・会議室等）

2. 図書館

3. 子ども未来センター

4. 文化ホール

5. 練習室

6. 喫茶

7. その他（

）

移住についておたずねします。

国では東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方に移り住み、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送ることができるとする「生涯活躍のまち」構想を推進しています。

このため、本市でも今後の取組について調査しています。

設問⑱-1 あなたは、市外から来た移住者が地域活動に積極的に参加することで、地域は今よりも活性化すると思いますか。

- | | | |
|-------------------|---|------|
| 1. そう思う | → | その理由 |
| 2. どちらかといえばそう思う | → | |
| 3. どちらかといえばそう思わない | → | |
| 4. そう思わない | → | |

設問⑱-2 あなたは、自分の地域に高齢者が移住してくることをどう思いますか。

- | | | |
|-----------------------|---|------|
| 1. 良いことである | → | その理由 |
| 2. どちらかといえば良いことである | → | |
| 3. どちらかといえば良いことだと思わない | → | |
| 4. 良いことだと思わない | → | |

設問⑱-3 あなたは、移住してくる高齢者と交流してみたいと思いますか。

- | | | |
|-----------------------|---|------|
| 1. 交流してみたい | → | その理由 |
| 2. どちらかといえば交流してみたい | → | |
| 3. どちらかといえば交流したいと思わない | → | |
| 4. 交流したいと思わない | → | |

市の政策についておたずねします。

設問②-1 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを下表の 36 項目(①～⑳)から順に5つ選んでください。(理由がありましたらその記入をお願いします)

1 番. 理由

2 番. 理由

3 番. 理由

4 番. 理由

5 番. 理由

農林業の振興

- | | |
|---|------------|
| ① | 農業経営体の育成強化 |
| ② | 農業生産の振興 |
| ③ | 農地の保全 |
| ④ | 林業の振興 |

福祉の充実

- | | |
|---|-----------|
| ⑩ | 地域福祉の充実 |
| ⑪ | 子育て支援の充実 |
| ⑫ | 高齢者福祉の充実 |
| ⑬ | 障がい者福祉の充実 |

商工業の振興

- | | |
|---|----------|
| ⑤ | 商店街の活性化 |
| ⑥ | 地域産業の活性化 |
| ⑦ | 雇用の安定 |

保健・医療の充実

- | | |
|---|-----------|
| ⑭ | 健康づくりの推進 |
| ⑮ | 母子保健の充実 |
| ⑯ | 地域医療体制の充実 |

観光業の振興

- | | |
|---|----------|
| ⑧ | 観光の振興 |
| ⑨ | 地域間交流の推進 |

交通基盤の整備

- | | |
|---|---------|
| ⑰ | 公共交通の確保 |
| ⑱ | 道路網の整備 |

設問②-2 市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるものを
下表の36項目(①～③⑥)から順に5つ選んでください。(理由がありましたらその記入をお願いします)

1 番. 理由

2 番. 理由

3 番. 理由

4 番. 理由

5 番. 理由

住環境の整備	
①⑨	地域情報化の推進
②⑩	生活排水処理の推進
③⑪	水道水の安定供給
④⑫	市街地の整備
⑤⑬	住宅の整備

環境づくり	
⑥⑭	快適環境の創出
⑦⑮	循環型社会の推進

市民生活の安全	
⑧⑯	防災体制の充実
⑨⑰	消防・救急体制の充実
⑩⑱	地域安全対策の充実

学校教育の推進	
⑪⑲	学校教育の充実

生涯学習・スポーツ・文化の推進	
⑫⑳	生涯学習の推進
⑬㉑	スポーツの推進
⑭㉒	芸術・文化の振興

市民参加と地域づくりの推進	
⑮㉓	地域コミュニティの活性化
⑯㉔	ライフデザインの支援
⑰㉕	国際交流の推進
⑱㉖	鹿角ライフの促進（移住）

設問⑳ 市の政策・事業・各種の手続き等について知りたい点、提言、改善要望等がありましたらご自由にお書きください。

以上で「市民アンケート」は終わりです。ご協力ありがとうございました。

平成28年度
市民アンケート実施結果報告書

平成28年8月
鹿角市総務部政策企画課総合戦略室
電話：0186-30-0201